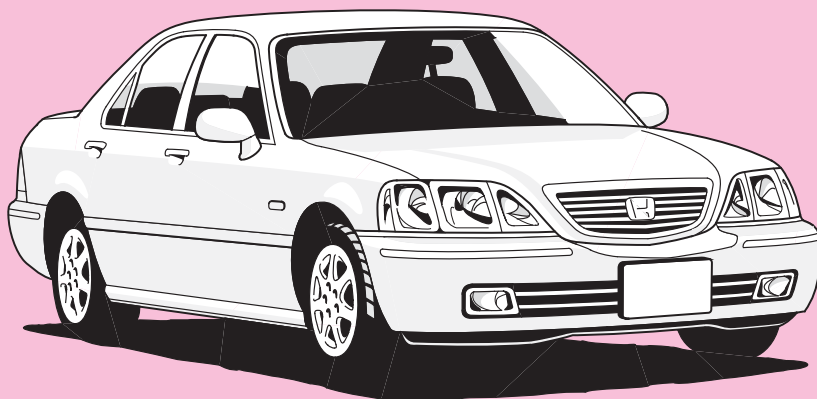


このたびはHonda車をお買い上げいただき、 ありがとうございます。

この本は **LEGEND** の取り扱いについて
必要事項を説明しています。
安全で快適なドライブをお楽しみいただくために、
ご使用前に必ずお読みください。



● 運転はルールを守り、マナーよく。 ・ シートベルトを着用しましょう。 ・ 法定速度を守りましょう。 ・ 子供や年寄りをいたわりましょう。 ・ 駐停車は、ルールに従いましょう。 ・ 迷惑運転はやめましょう。 ・ 自然環境保護に気をくばりましょう。	● 取扱説明書はメンテナンスノートと共に、 いつもお車に保管してください。 ● お車をゆずられるときは、つぎに所有さ れるかたのためにこの取扱説明書および メンテナンスノートを車につけておいて ください。
● 保証や点検整備に関することはメンテナ ンスノートに記載しておりますので、ご 使用前に必ずお読みください。	● ご不明な点は、担当セールスマンにおた ずねください。

車の仕様などの変更により、この本の内容と実車が一致しない場合がありますのでご了承
承ください。

本書の読みかた

この本はドライバーの動作に沿って各部の取り扱いを説明しています。
また、装備、万一のときの応急処置、お車の手入れなど、必要な情報を説明しています。

「安全ドライブのための必読 6 ポイント」

重要ですので、しっかりお読みください。

安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を回避方法と共に、下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。

危険

指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至るもの

警告

指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの

注意

指示に従わないと、傷害を受ける可能性があるもの

その他の表示

お車に関することや、その他のアドバイスは下記の表示を使って記載しています。

アドバイス

お車のために守っていただきたいこと
(車が故障・破損するのを防ぐためのアドバイス、異常事態の処置方法を記載しています)

知識

知っておいていただきたいこと
知っておくと便利なこと

タイトル

階層ごとにデザインを
変えてあります

ヘッダー

ページの内容を
示しています

ページ

インデックス
(→5ページ)

7. 車との上手なつきあい方

積雪・寒冷時の取り扱い



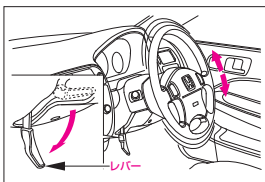
ハンドル・バックミラーの調節

チルトステアリング

ハンドルの高さを適切な位置に変えることができます。



レバーを押し下げ、ハンドルの高さを適切な位置にして、レバーを元の位置まで確実に引き上げて固定します。



△注意

- 走行中に調節するとハンドルが必要以上に動くことがあり、思わぬ事故につながるおそれがあります。調節は走行する前に行い、ハンドルに上下方向の力を加え固定されていることを確認してください。

ルームミラー

知 識

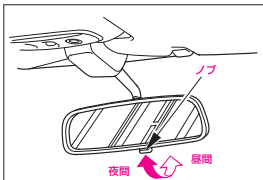
- 走行中はミラーの調節を行わないでください。

●防眩式ルームミラー

夜間走行時、後続車のライトがまぶしいときにライトの反射を弱くできます。



ノブを動かして切り換えます。



角度調節はノブを昼間の位置にして行ってください。

●長期間使わないで 屋外におくとき

塗装面の保護とドアまわりの凍結を防ぐために、ボディカバーを使ってください。

△注意

- 格納するとき、エンジン部を毛布で覆ったり、ラジエーターのまわりに段ボールや新聞紙をはさみ込んだりしないでください。そのまま走行すると、火災のおそれがあります。

193

説明文

装置／機構について

解説



操作方法

に分けて記載しています。

安全に関する表示

※このページはサンプルページですので、記載されている内容と実車は異なります。

本書の上手な使いかた

知りたい項目の説明がすぐ探せるように、いろいろな引きかたが用意されています。



タイトルから探すとき



目次(P.5)

ページインデックス:

目次に対応しているので、目的のページが辞書を引くように探せます。



スイッチ類などの名称が
わからないとき



ビジュアル目次
(P.6～9)



名称から探すとき



さくいん
(P.290～P.300)

目 次

◆安全ドライブのための必読 6 ポイント

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| 1. お出かけまえに 12 | 2. お子さまに思いやりを 14 |
| 3. 正しい知識で最速運転 18 | 4. オートマチック車の注意ポイント 20 |
| 5. 駐車や停車はしっかりと 24 | 6. こんなことにも注意をしよう 26 |

11

1. 車を運転する前に

- | | |
|--------------------|------------|
| ・各部の開閉 32 | ・シートの調節 52 |
| ・ハンドル・バックミラーの調節 58 | ・シートベルト 66 |

31



2. 車を運転するときに

- | | | |
|---------------|-------------|---------|
| ・メーター 78 | ・表示灯 82 | ・警告灯 86 |
| ・スイッチの使いかた 94 | ・運転のしかた 106 | |

77



3. 安全装備

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| ・SRSエアバッグシステム 128 | ・サイドエアバッグシステム 136 |
| ・シートベルトプリテンショナー 146 | ・アンチロックブレーキシステム(ABS) 148 |
| ・ビークルスタビリティアシスト(VSA) 150 | ・その他の安全装備 154 |

127



4. ドライブを快適にする装備

- | | | |
|-----------|------------|-----------------|
| ・エアコン 156 | ・オーディオ 174 | ・セキュリティシステム 200 |
| ・室内照明 202 | ・室内装備品 204 | |

155



5. 万一のとき

- | | | |
|--------------------|--------------|------------------|
| ・工具・スペアタイヤ・発炎筒 214 | ・故障したとき 216 | ・事故が起きたとき 218 |
| ・けん引 220 | ・パンクしたとき 224 | ・オーバーヒートしたとき 232 |
| ・電気系統が異常のとき 234 | | |

213



6. 車の手入れ

- | | | |
|----------------|-------------|-----------------|
| ・点検・整備について 252 | ・日常の手入れ 254 | ・車にあった部品の使用 266 |
|----------------|-------------|-----------------|

251



7. 車との上手なつきあいかた

- | | |
|------------------|-------------|
| ・積雪・寒冷時の取り扱い 268 | ・こんなときは 278 |
|------------------|-------------|

267



・サービスデータ

282

・さくいん

290

・こんなことでお困りのとき

巻末

ビジュアル目次

クルーズコントロールメインスイッチ 123

ビークルスタビリティアシスト(VSA)OFFスイッチ タイプ別装備 150

イルミネーションコントロール 105

ライト／方向指示器スイッチ 96、98

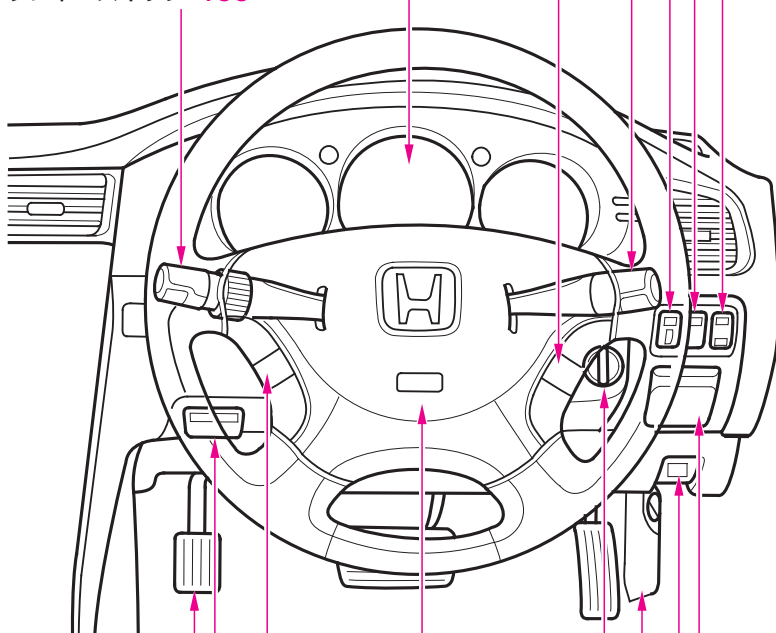
クルーズコントロールスイッチ 123

メーター 78

表示灯 82

警告灯 86

ワイパー／ウォッシャースイッチ 100



パーキングブレーキ 108

パーキングブレーキ解除レバー 108

オーディオリモートコントロールスイッチ

タイプ別装備 196

SRSエアバッグシステム(運転席用) 128

エンジンスイッチ 94

ヒューズボックス 237

ボンネット解錠ノブ 42

コインボックス 210

ナビゲーションシステム装備車

フォグライト
スイッチ 98

非常点滅表示灯
スイッチ 99



時計 ナビゲーションシステム非装備車 204

エアコン 156

非常点滅表示灯スイッチ 99

ナビゲーションシステム非装備車

ホーンスイッチ 105

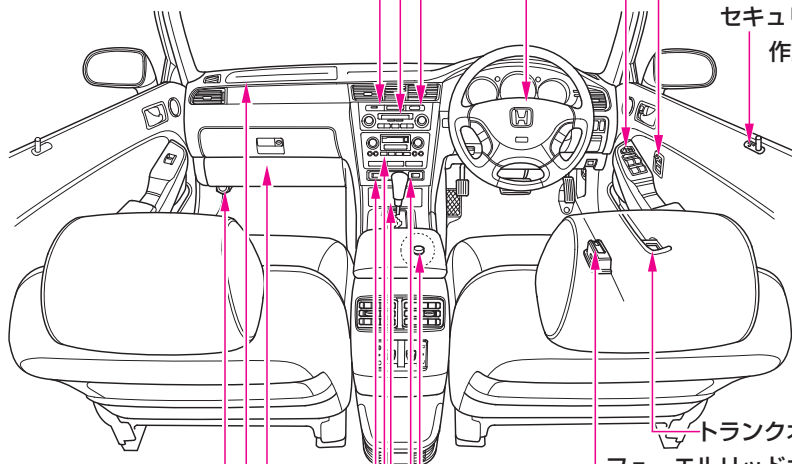
ドアミラー調節スイッチ 64

パワーウィンドウスイッチ 48

ドライビングポジション
メモリースwitch 60

タイプ別装備

セキュリティ
作動表示灯 201



トランクオープナー 44

フューエルリッドオープナー 47

アクセサリソケット 212

フォグライトスイッチ 98

ナビゲーションシステム非装備車

シガレットライター 205

灰皿 206

オーディオ 178、187

リヤデフロスタースイッチ ナビゲーションシステム非装備車 104

グローブボックス 208

SRSエアバッグシステム(助手席用) 128

発炎筒 214

※：ナビゲーションシステム装備車については、
別冊のナビゲーションシステム取扱説明書をご覧ください。

ビジュアル目次

ナビゲーションシステムユニット※

リヤシート 56

シートベルト(チャイルドシート固定機構付) 74

後席室内灯/後席スポットランプ 203

灰皿 206

シートベルト 66

サンルーフ 注文装備 50

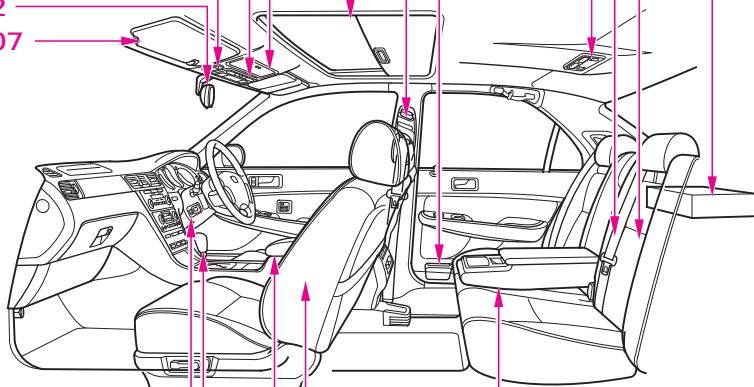
サングラスホルダー 207

前席室内灯/前席スポットランプ 203

サンルーフスイッチ 注文装備 50

ルームミラー 62

サンバイザー 207



電動チルト/テレスコピック

ステアリングスイッチ 58
(電動上下/前後調整式ハンドル)

セレクトレバー 110

アームレスト 208

コンソールボックス 209

カップホルダー 210

アクセサリースOCKET 212

フロントシート 54

サイドエアバッグシステム 136

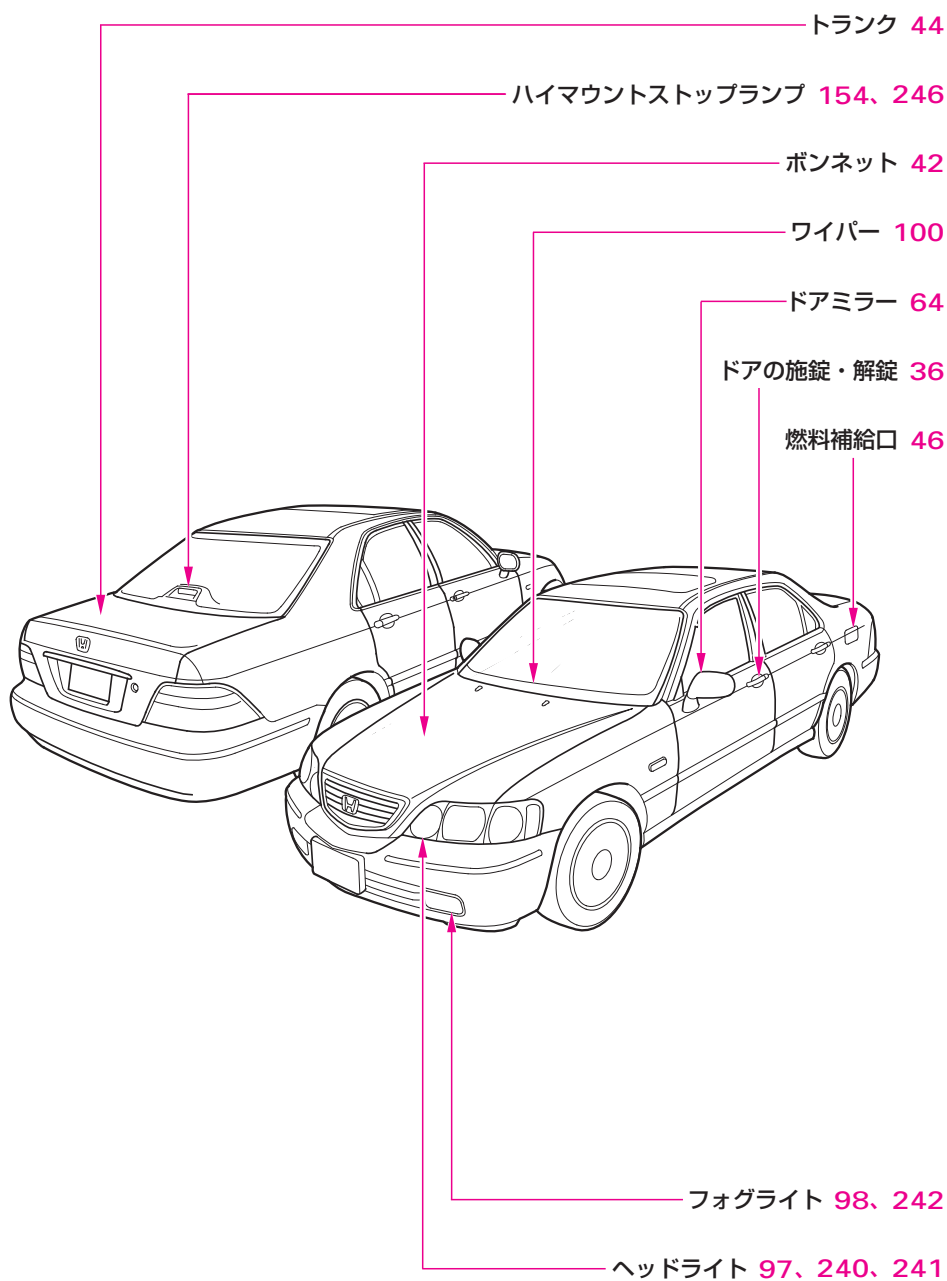
アームレスト(リヤシート) 208、209

カップホルダー 210

オーディオリモートコントロールスイッチ タイプ別装備 196

※：ナビゲーションシステム装備車については、

別冊のナビゲーションシステム取扱説明書をご覧ください。



安全ドライブのための 必読6ポイント

ご使用の前に知っておいていただきたいこと、
守っていただきたいことをまとめてあります。



- お出かけまえに…………… 12
- お子さまに思いやりを…………… 14
- 正しい知識で最適運転…………… 18
- オートマチック車の注意ポイント… 20
- 駐車や停車はしっかりと…………… 24
- こんなことにも注意をしよう…………… 26

1 お出かけまえに…

点検をわすれずに。 ＜メンテナンスノート参照＞

- 道路運送車両法により、法定定期点検と日常点検が義務づけられています。

安全・快適にお使いいただくために、Hondaの点検要領に従って必ず点検してください。

日常点検は車の使用状況に応じて、お客様の判断で適時行う点検で、お客様自身で実施が可能な項目となっています。

- 普段と違う点に気づいたら、ホンダクリオ店で点検を受けてください。（音、におい、ブレーキ液の不足、地面に油のあとが残っている時…）
- 走行中も車の状態に気を配り、いつもと違う音やにおい、運転感覚などを感じたら早めに点検しましょう。

シートベルトを正しく着用。

＜66ページ参照＞

- 運転する人はもちろん、同乗する人にも必ず着用させてください。
- シートに深く腰かけ、背もたれは必要以上に倒さないでください。
- 腰骨のできるだけ低い位置に着用してください。



- ベルトにねじれがないか確かめてください。



- ベルトがくび、あご、顔などに当たらないようにしてください。



- 一本のベルトを二人以上で使用しないでください。



燃料の入った容器やスプレー缶などはのせないで。

引火、爆発のおそれがあります。



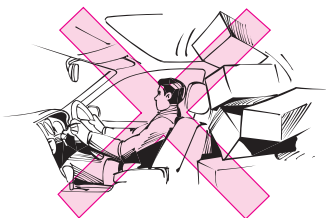
運転のさまたげになるものには注意を。

- 運転者の足もとに、物を置かないでください。
- フロアマットが、ペダルに引っかからないように注意してください。
ブレーキやアクセルのペダル操作が、確実にできないおそれがあります。



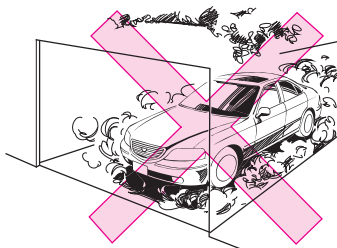
- 手荷物はシートの高さを越えないようにしましょう。

後方視界をさまたげたり、急ブレーキのときなどに荷物がとび出すおそれがあります。



排気ガスには十分に気をつけて。

- 排気ガスには無色・無臭で有害な一酸化炭素が含まれているため、吸い込むと一酸化炭素中毒のおそれがあります。
- 車庫や屋内などの換気の悪いところでは、エンジンをかけたままにしないでください。
車内や屋内などに排気ガスが充満し一酸化炭素中毒のおそれがあります。



- 排気管に穴や亀裂があったり、排気音の異常に気づいたらホンダクリオ店で点検を受けてください。
車内に排気ガスが侵入するおそれがあります。

お子さまに思いやりを

お子さまは、うしろの席に。

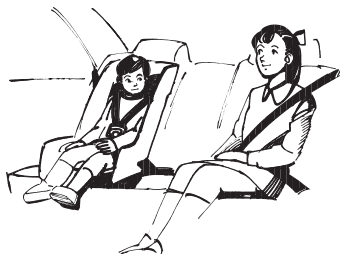
- 助手席にのせるのは避けましょう。
 - ・不意の動作が気になったり、スイッチ・レバー類のいたずらなど運転のさまたげになるおそれがあります。また、事故が起きた場合、後席のほうが安全といわれています。
 - ・インストルメントパネルに手をついたり、顔や胸を近づけた状態での乗車は、SRSエアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受けるおそれがあります。
 - ・フロントドアに寄りかかった状態での乗車は、サイドエアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受けるおそれがあります。
 - ・お子さまを後席に乗せることができなく、やむをえず助手席に乗せるときは、一番大きなお子さまを乗せてください。

- チャイルドブーフをお使いください。＜41ページ参照＞

お子さまにもシートベルトを。

- お子さまにも必ずシートベルトを着用させるか、チャイルドシート※をお使いください。

お子さまを抱いていても、衝突したときなどに支えることができず危険です。



- ※：乳児用シート、幼児用シート、学童用シートをまとめた総称として「チャイルドシート」と呼んでいます。

●お子さまのくびやあごにシートベルトが当たる場合や腰骨にかからない場合は、幼児用シートや学童用シートを使用してください。

- シートベルトをそのまま使うと衝突のときに腹部などに強い圧迫を受けるおそれがあります。
また、ひとりですわることのできない小さなお子さまは乳児用シートを使用してください。
- チャイルドシートは安全装備です。国土交通大臣が型式を指定または認定したマークが付いているもの、もしくはアメリカやヨーロッパなどの安全基準に合格しているものを必ず選んでください。
- シート形状などにより、チャイルドシートを正しく取り付けできない席があります。このようなときは、他の席で試してください。または、この車に合ったチャイルドシートを使用してください。
- **Honda**純正品をご用意しています。ご購入、ご使用に際してはホンダクリオ店にご相談ください。

《選択の目安》

詳しくはチャイルドシートに付属の取扱説明書をご覧ください。

	体重(kg)	身長(cm)	参考年令
乳児用 (ベビー) シート	～10	～75	～12か月
幼児用 (チャイルド)シート	7～18	65～100	4か月～4才
学童用 (ジュニア) シート	15～32	100～135	4才～10才

安全ドライブのための必読6ポイント

●チャイルドシートは確実に取り付けてください。

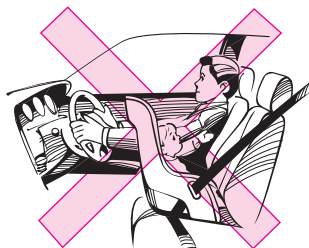
お子さまを乗せるときは、チャイルドシートが車に確実に取り付けられていることを確認してください。

また、お子さまの体をチャイルドシートにきちんと固定してください。シートベルトの種類やチャイルドシートの種類と取り付けの向きによっては、固定金具(ロッキングクリップ)が必要になることがあります。

シートベルトの種類 →68ページ
詳しくはチャイルドシートに付属の取扱説明書をご覧ください。

●助手席には乳児用シートを取り付け ないでください。また、幼児用シートを 後ろ向きに取り付けしないでくだ さい。

- ・SRSエアバッグが膨らむ際、乳児用シートや、幼児用シートの背面に強い衝撃を受け危険です。
- ・やむをえず幼児用シートを前向きに取り付ける場合は、SRSエアバッグから遠ざけるため、シートを一番後ろに下げてください。



●チャイルドシートを取り外したまま 車内に放置しないでください。

ブレーキや衝突のときなどにチャイルドシートがとび出し傷害を受けるおそれがあります。

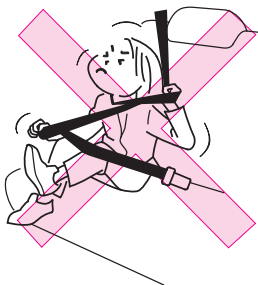
お子さまを乗せないときでも確実に取り付けるか、家などに保管してください。

ドア、ウィンドー、サンルーフ、シートは必ず大人が。

- 手、足、くびなどをはさまないよう、気をつけてください。
- パワーウィンドーのメインスイッチは、“OFF”にしておきましょう。
＜48ページ参照＞
- 走行中、一時停止のときなど、窓やサンルーフから手や頭、物などを出さないよう、注意してください。
思わぬ障害物で事故のおそれがあります。

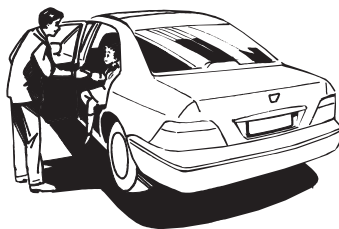
お子さまをシートベルトで遊ばせないで。

- チャイルドシート固定機構付きシートベルトでは、ベルトをすべて引き出すと完全にベルトを戻すまでは引き出し方向には動きません。
ベルトを身体に巻きつけたりして遊んでいると、固定機構が作動してベルトがゆるまなくなり、窒息などの重大な傷害を受けるおそれがあります。
万一ベルトをゆるめることができなくなった場合は、はさみなどでベルトを切断してください。



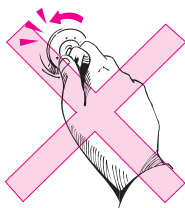
車から離れるときは、お子さまも一緒に連れて。

- お子さまだけを車内に残さないでください。
 - ・炎天下の車内は、高温になり危険です。
 - ・お子さまのいたずらにより車の発進、火災などの思わぬ事故につながるおそれがあります。



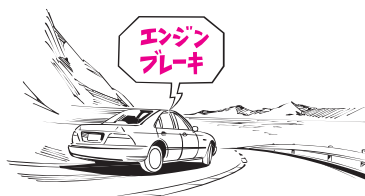
正しい知識で最適運転

- 走行中ハンドルの中に手を入れて、スイッチを操作しないでください。ハンドル操作のさまたげになり大変危険です。
- 走行中はエンジンを止めないでください。
 - ・ ブレーキ倍力装置が作用しないため、ブレーキのききが悪くなります。
 - ・ パワーステアリングのパワー装置がはたらかなくなり、ハンドル操作が重くなります。



長い下り坂ではエンジンブレーキを。

- ブレーキペダルを踏み続けて走行するとブレーキが過熱して、ききが悪くなることがあります。
- 長い下り坂では、走行速度に合わせ、**①**または**②**を使って、エンジンブレーキを併用してください。
特に強いブレーキ力が必要なときは、**①**を使ってください。

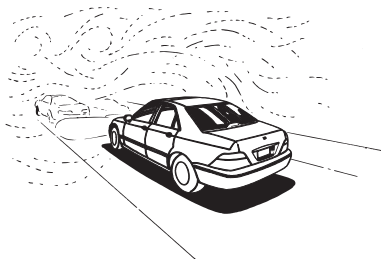


エンジンブレーキ：

走行中アクセルペダルを戻したときにかかるブレーキ力のことで、低速ギヤほどよくききます。

霧が出たときは。

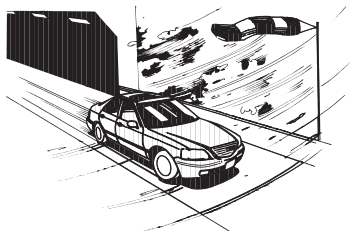
- 霧が出たときは、視界が悪くなります。昼間でもヘッドライトを下向きで点灯し、中央線、ガードレールや前の車の尾灯などをめやすにして、速度を落として運転してください。



横風の強い日は。

- 横風を受け、車が横に流されるようなときは、ハンドルをしっかり握り、スピードを徐々に下げて進路を立て直してください。

トンネルの出口、橋・土手の上、山を削った切り通し、大型トラックを追い越したり、追い越されたりするときなどには、特に横風の影響を受けやすいので十分注意してください。



雨天時の走行には注意を。

- 雨天時やぬれた道路では、路面が滑りやすくなっておりタイヤのグリップ力が低下するため、通常より注意深い運転が必要です。

急加速、急ブレーキや急ハンドルを避け、スピードを落として安全運転に心がけてください。

- わだちなどの水のたまりやすい場所では、ハイドロプレーニング現象を起こしやすくなります。

ハイドロプレーニング現象とは

→278ページ

- 冠水路などの深い水たまりは走行しないでください。

エンジンの破損や電装品の故障および車両故障につながるおそれがあります。

水たまりに入ったあとはブレーキのきき具合を確認。

- 水たまり走行後や洗車後は、低速で走行しながらブレーキペダルを軽く踏んできき具合を確認してください。ぬれたブレーキはききが悪かったり、ぬれていない片側だけがきいてハンドルをとられることがあります。
- ブレーキのききが悪いときは、前後の車に十分注意しながら低速で走行し、ブレーキのききが回復するまで、繰り返しブレーキペダルを踏んでください。

走行中異常があったら。

- 警告灯が点灯したら、ただちに安全な場所に停車し処置をしてください。
＜86ページ参照＞

点灯したまま走行を続けると、思わぬ事故のもとになったり、エンジンなどを損傷するおそれがあります。

- 走行中にタイヤがパンクやバースト（破裂）してもあわてずに、ハンドルをしっかり握り、徐々にブレーキをかけてスピードを落とし、安全な場所に停車してください。

急ブレーキや急ハンドルは車のコントロールを失うことがあり危険です。

- 床下に強い衝撃を受けたときは、ただちに車を止めて、ブレーキ液や燃料の漏れ、各部に損傷がないかを確認してください。

ブレーキ液や燃料の漏れ、損傷などにより思わぬ事故につながるおそれがあります。

オートマチック車の 注意ポイント

オートマチック車は、その特性や操作上の注意をよく理解することが大切です。

「オートマチック車の運転のしかた」もあわせてお読みください。

<114ページ参照>

オートマチック車の特性を正しく理解。

クリープ現象とは

- エンジンがかかっているとき、セレクタレバーがP/N以外に入っていると、動力がつながった状態になり、アクセルペダルを踏まなくても車がゆっくりと動き出します。これをクリープ現象といいます。

キックダウンとは

- **D₄**または**D₃**で走行中にアクセルペダルをいっぱい踏み込むと、自動的に低速ギヤに切り換わり、エンジンの回転数が上がって、力強い加速を得ることができます。これをキックダウンといいます。

1 ブレーキは右足で。

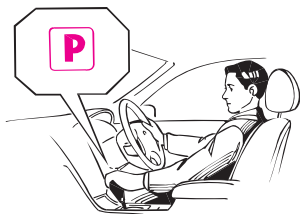
- ブレーキペダルは右足で踏む習慣をつけましょう。
不慣れな左足では、適切なブレーキ操作ができません。

2 エンジンをかけるまえに。

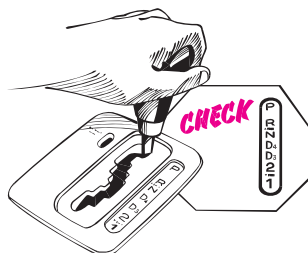
- ペダルの踏みまちがいのないよう、右足でペダルの位置を確認しておきましょう。

**3 エンジンをかけるとき。**

- 安全のため、セレクトレバーは駆動輪が固定されるPでエンジンをかけましょう。

**4 スタートするとき。**

- 思いちがいを防ぐため、セレクトレバーの位置を目で確認しましょう。
- 発進時のセレクトレバーの操作は、右足でブレーキペダルをしっかりと踏み、車が動かないようにして行いましょう。
- アクセルペダルを踏んだまま、セレクトレバーを操作しないでください。急発進して思わぬ事故のもとになります。



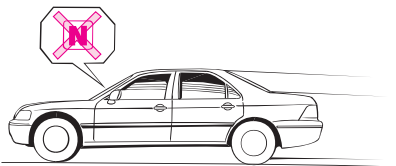
- エンジン始動直後は、自動的にエンジンの回転が上がり、クリーブ現象が強くなりますので、ブレーキペダルはしっかりと踏んでいてください。エアコン作動時も同じです。
- 坂道での発進は車が後退しないように必ずパーキングブレーキを併用し、先にブレーキペダルを離してアクセルペダルに踏みかえてから、パーキングブレーキを解除してください。

安全ドライブのための必読6ポイント

5 走行しているとき。

- 走行中は、セレクトレバーをNにしないでください。

エンジンブレーキが全くきかず、思わぬ事故のもとになります。



- 上り坂で、速度を保とうとしてアクセルペダルを踏み込んだとき、キックダウンにより、急にエンジン回転が上がり、思ったより速度が出てしまうことがあります。

アクセルペダルは、慎重に操作してください。

また、すべりやすい路面やカーブでは、急激なアクセルペダル操作は避けてください。

- 下り坂では、エンジンブレーキも使いましょう。

フットブレーキを使いすぎると、ブレーキが過熱して、ブレーキのききが悪くなるおそれがあります。

エンジンブレーキ →18ページ

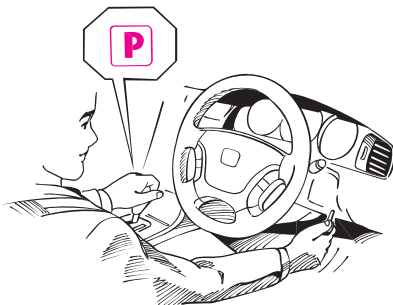
6 停車しているとき。

- 車が動かないようにブレーキペダルをしっかりと踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけましょう。
- 停車中の空ぶかしは、やめましょう。万一、セレクトレバーがR/N以外の場合、思わぬ急発進のもとになります。

7 駐車するとき。

- 駐車するときは、パーキングブレーキをかけてセレクトレバーをRに入れた後、エンジンを止めましょう。

万一、セレクトレバーがR/N以外に入っていると、クリープ現象で車が動き出したり、乗り込むときに、誤ってアクセルペダルを踏み込んで急発進したりするおそれがあります。



ほかに気をつけたいこと。

- セレクトレバーは正しい位置で使用してください。

坂道などで、前進(Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ)の位置にしたまま惰性で後退したり、後退(Ⅰ)の位置にしたまま前進したりすると、エンジンが停止してブレーキの効きが悪くなったり、ハンドル操作が重くなり、思わぬ事故の原因となるおそれがあります。

- 後退したあとは、すぐⅡからⅢにもどす習慣をつけましょう。

ちょっと後退したときなど、Ⅱに入れたことを忘れてしまうことがあります。

- 前進から後退、後退から前進するときは車を完全に止め、ブレーキペダルを踏んだままセレクトレバーを操作してください。

車が完全に止まらないうちにレバーを操作すると、トランスミッション破損のおそれがあります。

- 車が完全に止まらないうちに、Ⅱに入れないでください。

急停止して危険であるばかりでなく、トランスミッション破損のもとになります。

シフトロック装置の正しい理解を。

- ブレーキペダルを踏んでいないと、Ⅱからのセレクトレバー操作はできません。

- ・エンジンスイッチが、“1”または“0”のときには、ブレーキペダルを踏んでも、レバーは操作できません。
- ・セレクトレバーを助手席側に動かしたままブレーキペダルを踏んだ場合、レバーの操作ができないことがあります。先にブレーキペダルを踏んでください。

- Ⅱ以外では、エンジンスイッチからキーは抜けません。

Ⅱ以外では、キーが“1”から“0”に回りません。

- Ⅱに入るとチャイムが鳴ります。

- ・セレクトレバーがⅡのときにチャイムが鳴り、Ⅱに入っていることを運転者に知らせます。
- ・車外の人には音が聞こえないので、ご注意ください。

- 万一、Ⅱからセレクトレバーが操作できないときは：

- ・エンジンスイッチからキーを抜き、
- ・キーをシフトロック解除穴に差し込み、
- ・キーを押しながら、セレクトレバーを操作します。



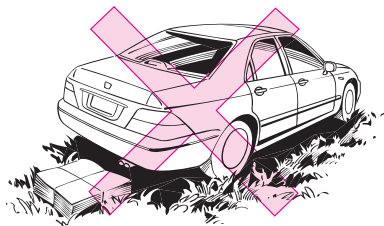
シフトロック
解除穴

5 駐車や停車は しっかりと

可燃物には注意を。

- 枯草や紙、油、木材など燃えやすいものがあるところには、駐停車しないでください。

排気管や排気ガスの熱により、着火するおそれがあります。



植込みなどにも注意して。

- 植込みなどの近くに駐停車するときには、排気ガスが当たらないように、車の向きを決めましょう。



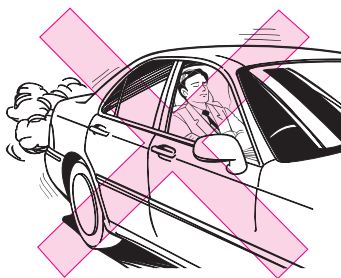
仮眠するときはエンジンを止める。

●エンジンを必ず止めてください。

無意識にセレクトレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込んだりして、思わぬ事故を起こすおそれがあります。

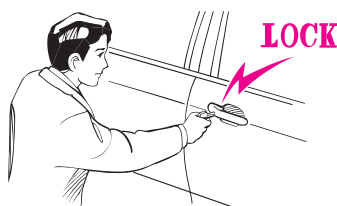
また、無意識にアクセルペダルを踏み続けたりした場合、オーバーヒートなどを起こしたり、エンジンや排気管などの異常過熱による火災事故が発生するおそれがあります。

さらに風向や周囲の状況等によっては、車内に排気ガスが侵入し一酸化炭素中毒のおそれもあります。



車から離れるときには施錠を。

- 必ずパーキングブレーキをかけ、エンジンを止め、ドアを施錠してください。
- 車内の見えるところに、貴重品などを置かないようにしましょう。
- お子さまも連れていきましょう。



車の移動はエンジンをかけて。

- 車を移動するときは、必ずエンジンをかけてください。

下り坂を利用した移動などは、思わぬ事故を招くことがあります。

坂道での駐車は。

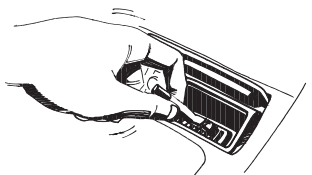
- パーキングブレーキをかけ、セレクトレバーをPに入れてください。
- さらに、タイヤに輪止めをすると効果があります。

安全ドライブのための必読6ポイント

こんなことにも 注意しよう

タバコの吸いがらは火を消して。

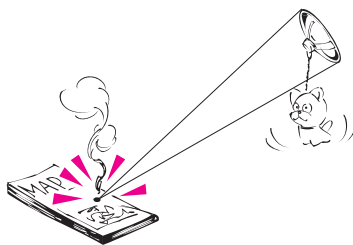
- タバコ、マッチなどは、確実に火を消してから灰皿に捨て、灰皿は必ず閉めてください。
- 灰皿の中に吸いがらをため過ぎたり、燃えやすいものを入れたりしないでください。



アクセサリーの取り付けには注意を。

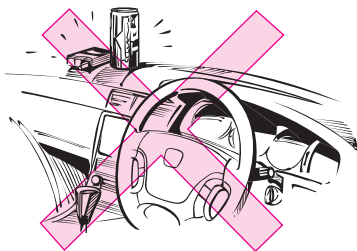
- ガラス面にアクセサリーなどを取り付けないでください。

視界をさまたげたり、吸盤がレンズのはたらきをして火災を起こしたり、思わぬ事故のもとになります。



車内にライターや炭酸飲料缶などを放置しないで。

炎天下での駐車などで車内温度が上昇すると、ライターなどの可燃物は自然発火したり、缶などは破裂したりするおそれがあります。



ラジエーターキャップに気をつけて。

- ラジエーターキャップが熱いときは、外さないでください。

蒸気や熱湯が吹き出し危険です。



ハンドルをいっぱい回した状態をつづけない。

- ハンドルをいっぱい回した状態から、さらに回そうとする力をかけつづけないでください。

パワーステアリングポンプがオイル潤滑不良をおこし、損傷することがあります。

動物を乗せるときは、動きまわらないように注意して。

運転のさまたげになったり、急ブレーキのときなどに思わぬ事故につながるおそれがあります。

携帯電話の使用は停車中に。

- 運転者は、携帯電話を走行中に使用しないでください。

運転中の使用により周囲の状況に対する注意が不十分になると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

改造はしない。

- Honda純正部品以外の、車の性能や機能に適さない部品を、使用しないでください。

・適正な性能や機能を発揮しなかったり、思わぬ事故のもとになったりすることがあります。

・Hondaが国土交通省に届け出をした部品以外のものを装着すると、違反になることがあります。

- ホイールは、LEGEND専用品をご使用ください。

専用品以外のホイールを使うと、走行装置やブレーキ装置に支障をきたすことがあります。

ホンダクリオ店にご相談ください。

- 無線装置や自動車電話などの取り付けの際には、必ずホンダクリオ店にご相談ください。

装置や取り付け方法が適切でない場合、電子機器部品に悪影響をおよぼすことがあります。



安全ドライブのための必読6ポイント

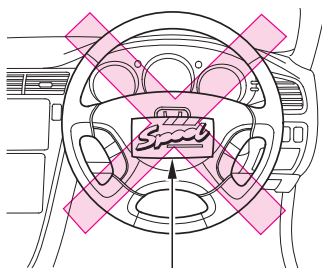
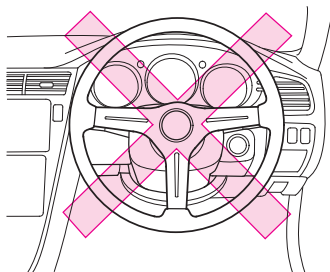
- 運転席および助手席に、SRSエアバッグシステムが装備されています。ハンドルを交換したり、パッドにステッカー類を貼ったりしないでください。

インストルメントパネル上面には、ステッカー類を貼ったり、アクセサリや芳香剤など物を置かないでください。

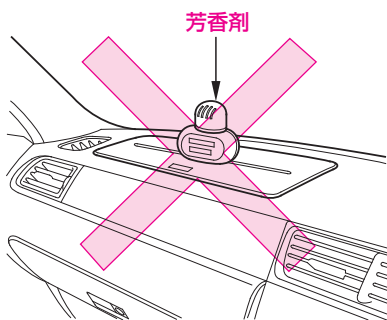
また、フロントガラスにアクセサリなどを取り付けたり、ルームミラーにワイドミラーを取り付けたりしないでください。

- ・SRSエアバッグが正常に機能しなくなります。
- ・作動時にこれらの物が飛ぶことがあります危険です。
- ・次の場合は、必ず、ホンダクリオ店にご相談ください。

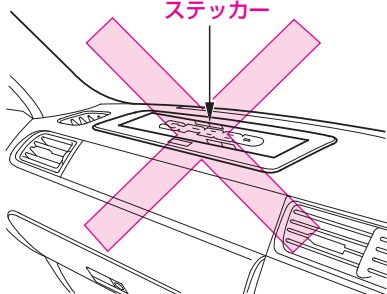
- ①ハンドルまわりの修理
- ②センターコンソール付近の修理
- ③カーステレオ等用品の取り付け
- ④ダッシュボード周辺の板金塗装および修理
- ⑤インストルメントパネルまわりの修理



ステッカー



芳香剤



ステッカー

●運転席および助手席に、サイドエアバッグシステムが装備されています。フロントドアやその周辺にカップホルダーなどの用品を取り付けたりしないでください。

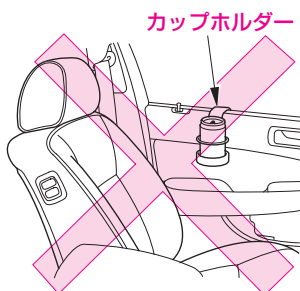
フロントシートとドアの間付近に傘などの物を置かないでください。

フロントシートにこの車専用のHonda純正用品(シートカバーなど)以外を取り付けしないでください。

また、新車時についているビニールのシートカバーは、必ず外してください。

- ・サイドエアバッグが正常に機能しなくなります。
- ・作動時にこれらの物が飛ぶことがあります。
- ・次の場合は、必ず、ホンダクリオ店にご相談ください。

- ①フロントシートまわりの修理
- ②センターコンソール付近の修理
- ③カーステレオ等用品の取り付け
- ④センターピラーまわりの修理



カップホルダー



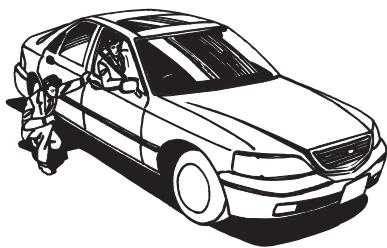
サイドエアバッグ(ドア側)

安全ドライブのための必読6ポイント

発進するときは、まわりの状況に十分注意して。

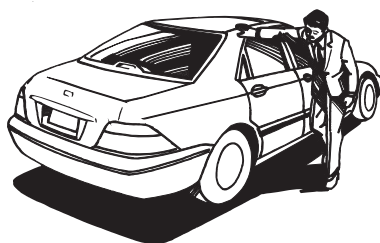
車の周りには運転席から見えなところ(死角)があります。発進するときは子供や障害物など車のまわりの状況に十分注意してください。

- 駐車後に発進するときは、車のまわりの安全確認を十分に行ってください。

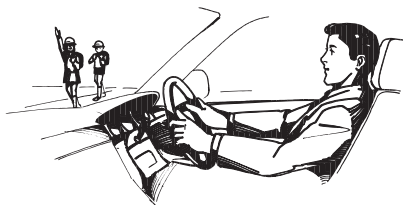


- 後退するときに十分な視界が得られない場合は、車から降りて後方を確認してください。

バックミラーでは確認しきれない死角(車の直後など)があります。



- 信号待ちなどの停車後に発進するときは、つねにまわりの状況に目を配り、安全確認を十分に行ってください。





車を運転する前に

●各部の開閉

キー	32
ドアの施錠・解錠	36
ボンネット	42
トランク	44
燃料補給口	46
パワーウィンドー	48
サンルーフ	50

●シートの調節

正しい運転姿勢	52
フロントシート	54
リヤシート	56

●ハンドル・バックミラーの調節

電動チルト／テレスコピック ステアリング(電動上下／ 前後調整式ハンドル)	58
ドライビングポジション システム	60
ルームミラー	62
ドアミラー	64

●シートベルト

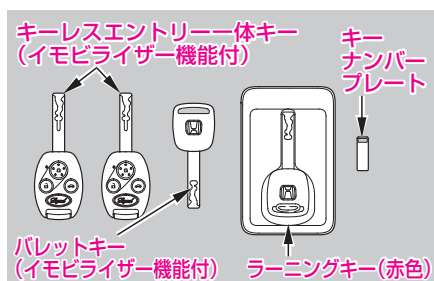
シートベルト	66
着用のしかた	72
チャイルドシート固定機構付き シートベルト(後席)	74

各部の開閉

キー

この車には、以下のキーが付いています。キーレスエントリー一体キーおよびパレットキーには、イモビライザー機能(車両盗難防止装置)が付いています。

イモビライザーシステム →34ページ



車両の盗難を防止するため、キー以外でのドアの解錠が困難な構造となっています。また、キーも特殊なキー(内溝タイプ)を使用しており、複製しにくくなっています。

キーの紛失・閉じ込みには十分な注意をしてください。

知 識

- 作動不良を防ぐため、必ずキー溝のゴミなどを取り除いてからお使いください。

●キーレスエントリー一体キー (イモビライザー機能付き)

キーレスエントリー用発信器がついています。キーはエンジンの始動、停止のほかにはドア、グローブボックス、トランクの施錠・解錠に使えます。

キーレスエントリー用発信器はドアの施錠・解錠、トランクオープンがキーを使わずにできます。

キーレスエントリー →39ページ

キーレストランクオープナー →44ページ

●パレットキー (イモビライザー機能付き)

パレットキーはエンジンの始動、停止のほかにはドアの施錠・解錠に使えます。駐車場などで車を預けるときにお使いください。

●ラーニングキー

キーの紛失などでキーレスエントリー一体キーを追加するときなどに、ホンダクリオ店で新しいキーの信号をお車のイモビライザーシステムに登録するために使用します。

ラーニングキーではエンジンの始動ができません。車両以外の場所に大切に保管してください。



知識

- キーには信号を発信するための精密な電子部品が組み込まれています。電子部品の故障を防ぐため、次のことをお守りください。
 - ・直射日光が当たるところやインストルメントパネルの上など、高温、多湿になるところに置かないでください。
 - ・衝撃を与えないでください。
 - ・水にぬらさないでください。
 - ・分解しないでください。
 - ・火であぶったりしないでください。

電子部品が故障すると、イモビライザーシステムがキーの信号を正しく受信できないためエンジンの始動ができなくなります。

エンジンが始動できないときは、ホンダクリオ店にご連絡ください。

- ラーニングキーでエンジンの始動をしないでください。キーレスエントリー一体キーおよびバレットキーが使用できなくなります。エンジンが始動できなくなったときは、ホンダクリオ店へご連絡ください。
 - キーナンバープレートにはキーナンバーが表示してあります。ラーニングキーと一緒に、紛失しないように、キーとは別に車両以外の場所に大切に保管してください。キーを紛失したときは、キーナンバーをホンダクリオ店へご連絡ください。キーを紛失したときは、盗難などを防ぐため、ホンダクリオ店にご相談ください。
 - キーを追加するときは、キーレスエントリー一体キー、バレットキー、ラーニングキー、キーナンバープレートをご持参のうえ、ホンダクリオ店にご相談ください。
- キーレスエントリー一体キーとバレットキー合わせて5本まで(但しキーレスエントリー一体キーは3本まで)登録できます。

●イモビライザーシステム

イモビライザーシステムはお車を盗難から守るための装置です。

キーに信号を発信する電子部品があり、あらかじめ登録されたキーでないとエンジンの始動ができないようにしたシステムです。



エンジンを始動するときは、登録されたキーをエンジンスイッチに差し込んでください。

エンジンスイッチを“II”にすると、イモビライザーシステム表示灯が数秒間点灯してから消灯し、エンジンの始動ができるようになります。

表示灯が点滅したときは、システムが登録されたキーの信号を認識していないので、エンジンを始動することはできません。

- ・エンジンスイッチを“0”へ回しキーを抜いてから、もう一度エンジンスイッチに差し込み“II”にしてください。

エンジンスイッチを“II”から“I”または“0”へ回したときにも、イモビライザーシステム表示灯が数回点滅します。

イモビライザーシステム表示灯

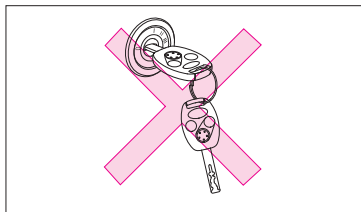
→85ページ

 **アドバイス**

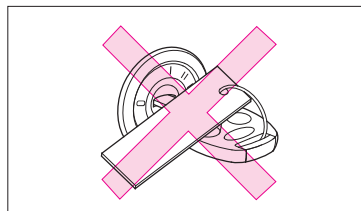
- システムを改造したりしないでください。
エンジンシステムが故障するおそれがあります。
- エンジンスイッチを“II”にしても表示灯が点灯しないときは、システムの異常が考えられますので、ホンダクリオ店で点検を受けてください。

 知識

- エンジンスイッチとキーの部分に、別のイモビライザーシステム用のキーや金属物を近づけたり接触させたりすると、登録されたキーの信号をシステムが認識できなくなりエンジンの始動ができないことがあります。
 - ・他のイモビライザーシステム用のキーを取り付けないでください。



- ・金属製のキーホルダーを使わないでください。



ドアの施錠・解錠

⚠ 注意

- ドアは確実に閉めてください。半ドアでは、走行中にドアが開き思わぬ事故の原因になるおそれがあります。

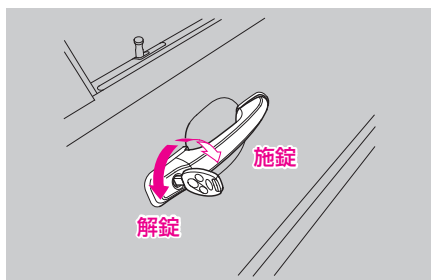
🎓 知識

- ドアは不用意に開けると後続車などがぶつかることがあるので周囲の安全を確認してから開けてください。
- 強風時にドアを開閉するときは、風にあおられないよう注意してください。
- 車から離れるときは、エンジンを止めドアを必ず施錠してください。また、車内の見えるところに、貴重品などを置かないようにしましょう。
- 運転席ドアの解錠・施錠に連動して、室内灯が点灯・消灯します。

室内灯 →203ページ

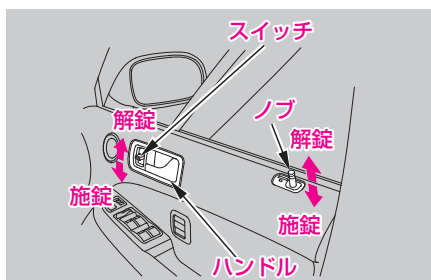
●車外から行う場合

キーを確実に差し込んで回します。運転席ドアを施錠(解錠)すると、他のすべてのドアも同時に施錠(解錠)します。



●車内から行う場合

ノブを矢印の方向に動かします。運転席ドア部のスイッチを操作すればすべてのドアの施錠(解錠)ができ、ノブの操作では施錠のみ連動します。



運転席ドアは内側のハンドルを引くと解錠されます。



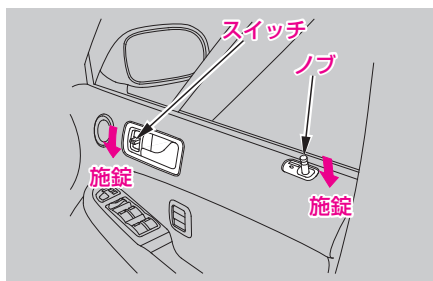
●キーを使わないで施錠する場合

知 識

- キー閉じ込み防止のため、キーを持っていることを確認してから施錠しましょう。

運転席ドア

- ①ノブまたはスイッチを施錠の方向に動かします。



- ②ドアを閉めます。

運転席ドアを施錠(解錠)すると、他のすべてのドアも同時に施錠(解錠)します。

・キー閉じ込み防止装置

キーがエンジンスイッチに差し込まれたままだと施錠できません。

その他のドア

ノブを施錠の方向に動かしてドアを閉めます。

●車速連動オートドアロック

車速が約15km/h以上になると運転席以外のドアは自動的に施錠されます。

知 識

- 車速連動オートドアロック機能が不要な場合は、その機能を解除できますのでホンダクリオ店にご相談ください。(バッテリーを外した場合は解除がキャンセルされ、機能が復帰します。)

●衝撃感知ドアロック解除システム

車両に衝撃が加わったときに、自動的に全てのドアを解錠します。

作動するとき

正面、側面からの衝撃では、エアバッグが作動したときにドアを解錠します。
エアバッグが作動しない後面からの衝撃では、衝撃が大きいとドアを解錠します。
安全性を考慮して、衝撃が加わってから約10秒後にドアを解錠します。

知 識

- 衝撃感知ドアロック解除システムが作動した場合は、パワードアロックの施錠が作動しなくなります。その場合、バッテリーをリセット（バッテリーの⊖端子を外して再び⊖端子を接続）すると復帰します。



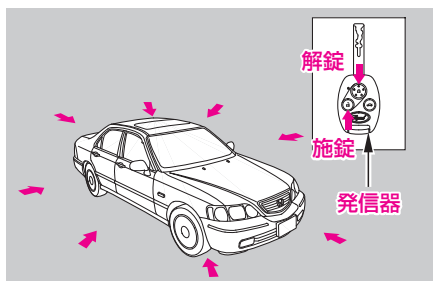
●キーレスエントリー

ドアの施錠・解錠がキーを差し込まずにできます。



発信器の施錠ボタンを押すとすべてのドアが施錠され、解錠ボタンを押すと解錠されます。

キーレスエントリーで施錠・解錠を行うと非常点滅表示灯が施錠時は1回、解錠時は2回点滅します。



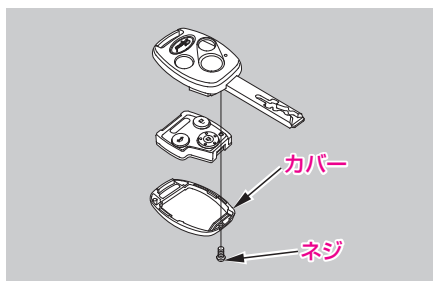
◆知識

- 発信器には、精密な電子部品が組み込まれています。発信器の故障を防ぐため、次のことをお守りください。
 - ・直射日光が当たるところやインストルメントパネルの上など、高温になるところに置かないでください。
 - ・衝撃を与えないでください。
 - ・水にぬらさないでください。
- 微弱電波を使用しているため、周囲の状況により作動範囲が変化することがあります。
- キーレスエントリー用発信器で解錠してから約30秒以内にドアを開けなかった場合は、自動的に再度施錠されます。
- エンジンスイッチにキーが差し込まれているときやドアが開いているときは、キーレスエントリーは作動しません。
- 車を離れるときは、ドアハンドルを引いて施錠されていることを確認してください。

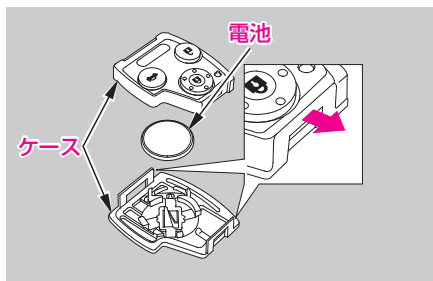
発信器のボタンを押しても作動距離が不安定になった場合は、電池の消耗が考えられますので早めに電池を交換してください。

使用電池……………ボタン電池CR1616

①ネジを外してカバーを外します。



②ケースを外して、電池を交換します。



知 識

- 液漏れなどを防ぐため、電池の⊕極と⊖極は正しく取り付けてください。
- 電池はHonda販売店または時計店、カメラ店などでお求めください。

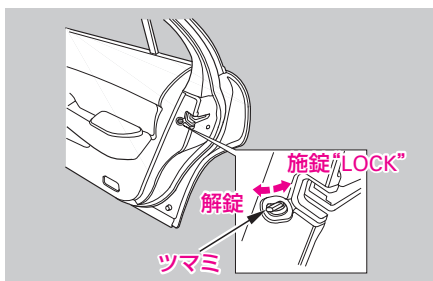


●チャイルドブローフ

ノブの位置に関係なく、後席ドアが車内から開かなくなります。お子さまを乗せるときなどにお使いください。



ツマミを施錠の位置にしてドアを閉めます。



ドアを開く場合は、外側のドアハンドルで開けます。

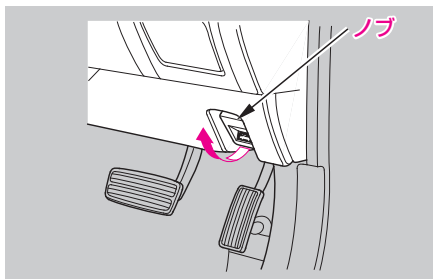
🎓 知 識

- 車内から開けたい場合は、ノブを解錠状態にして後席ウィンドーを下げ窓から手を出して外側のドアハンドルを引いてください。

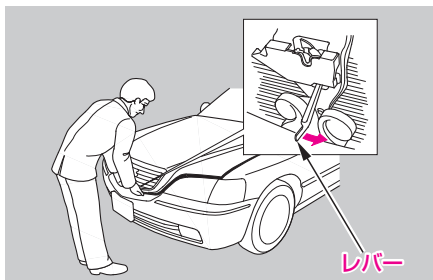
ボンネット

●開けかた

①運転席足元のノブを引きます。



②ボンネット前部が少し浮き上がるので、レバーを右へ押しながら開けます。



知 識

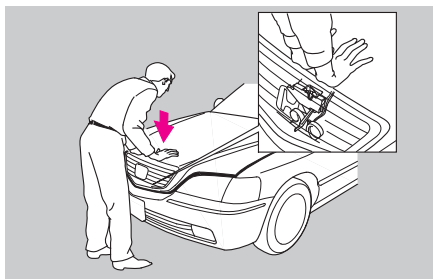
- ワイパーアームを浮かせた状態でボンネットを開けないでください。ボンネットがワイパーに当たり、ボンネットやワイパーが損傷します。



●閉めかた

ボンネットを静かに下げ、手で押さえつけるように閉めます。

ボンネットが完全に閉まっていることを確認します。



⚠ 注意

- ボンネットを閉めるときは、手などをはさまないように注意してください。

🎓 知識

- ボンネットが完全に閉まっていな
いままですり抜けると開くことがあ
ります。走行前に必ず確認してく
ださい。

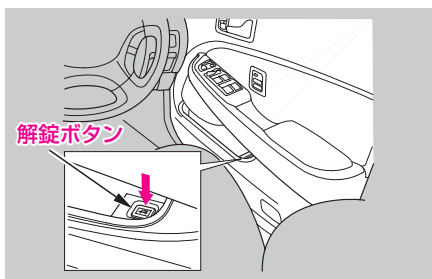
トランク

●解錠

車内から行う場合

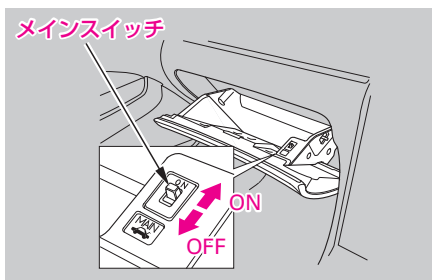
(電動トランクオープナー)

運転席ドアにある解錠ボタン(電動トランクオープナー)を押します。



電動トランクオープナーはグローブボックス内のメインスイッチをOFFにすると作動しません。

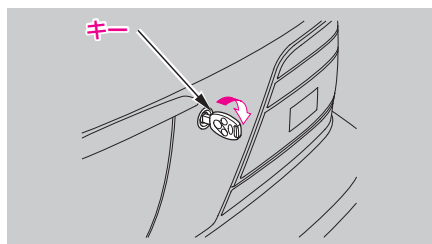
バレットキーを預けるときのなどに、お使いください。



車外から行う場合

キーを確実に差し込んで矢印の方向に回します。

バレットキーでは解錠できません。



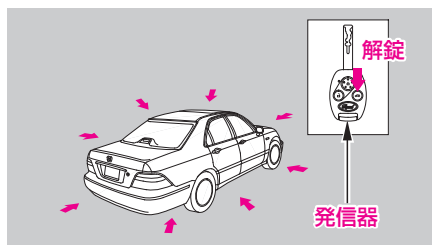
知識

- 差し込んだキーを持ってトランクを開閉しないでください。
キーシリンダーを破損するおそれがあります。

キーレストランクオープナー

キーレスエントリー用キーを使ってトランクの解錠ができます。

発信器のボタンを約1秒押し続けるとトランクが解錠されます。

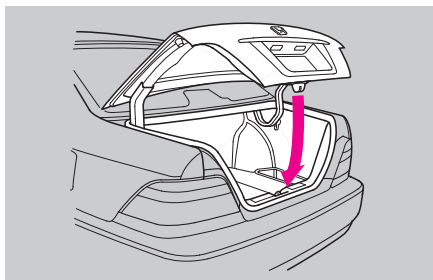


キーレスエントリー →39ページ



●施錠

トランクを閉めれば施錠できます。



⚠注意

- トランクを閉めるときは手などをはさまないように注意してください。
- エンジンをかけた状態で手荷物を出し入れするときは、排気管の後方に立たないでください。やけどなど思わぬけがをすることがあります。
- トランクルーム内には人を乗せないでください。ブレーキや加速、衝突のときなどにけがをすることがあります。
- トランクは中から開けることはできません。お子さまが入らないよう注意してください。

🎓知識

- トランクは途中までしか開けていないと自重で閉まることがあります。
- 風にあおられて閉まることがあります。特に風の強いときは、ご注意ください。
- トランクを開けたまま走行しないでください。
車内に排気ガスが侵入するおそれがあります。
- トランクを閉めるときは次のことに気をつけてください。
 - ・キーをトランク内に置き忘れないようにしてください。
 - ・トランク上面を強く押さえないでください。

燃料補給口

燃料補給口は車の左側後方にあります。

**指定燃料：無鉛プレミアムガソリン
(無鉛ハイオク)**

タンク容量：68ℓ

警告

- 燃料補給時は火気厳禁です。
燃料は引火しやすいため火災や爆発のおそれがあります。
 - ・ エンジンはず必ず止めてください。
 - ・ タバコなどの火気を近づけないでください。
- 燃料補給作業は静電気を除去してから行ってください。
静電気の放電による火花により気化したガソリンに引火し、やけどを負うおそれがあります。

アドバイス

- 必ず無鉛ガソリンを補給してください。補給するときは、無鉛ガソリンであることを確認してください。
- ・ 有鉛ガソリンを補給すると、触媒装置などを損ないます。
- ・ 高濃度アルコール含有燃料を補給すると、エンジンや燃料系などを損傷する原因となります。
- ・ 軽油や粗悪ガソリンを補給したり、不適切な燃料添加剤を使うと、エンジンなどに悪影響を与えます。

知 識

- 無鉛プレミアムガソリンが入手できない場合には、無鉛レギュラーガソリンをお使いになることもできますが、この場合エンジン性能を十分に発揮できません。

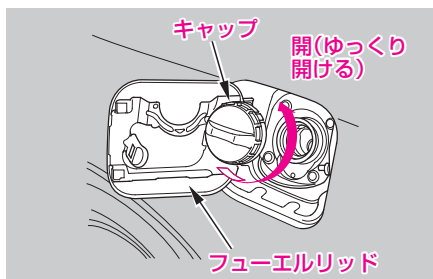


●開けかた

- ①運転席右下にあるフューエルリッドオープナーを引き上げてリッドを開けます。



- ②フューエルキャップを開ける前に、身体の静電気除去を行います。
③キャップをゆっくり回して開けます。



⚠注意

- キャップはゆっくり開けてください。
急激に開けると燃料補給口より吹き返しが発生し、火災になるおそれがあります。

🎓知識

- 車体や給油機などの金属部分に触れると、静電気を放電することができます。
- 燃料補給作業は、静電気を放電した人のみで行ってください。
- 燃料補給中に車内にもどったりすると再び帯電することがあります。
- 燃料補給は自動停止後に追加補給しないでください。気温などの変化によりあふれることがあります。

●閉めかた

キャップを“カチッ”という音が2回以上するまで締め付けます。フューエルリッドは手で押さえつければ閉まります。

⚠注意

- キャップが確実に閉まっていることを確認してください。
確実に閉まっていないと走行中に燃料がもれ、火災になるおそれがあります。

パワーウィンドー

エンジンスイッチが“II”のとき、ウィンドーの開閉ができます。

開閉は、それぞれのドアにあるスイッチで操作します。

- ・運転席スイッチは、助手席および後席ウィンドーも操作できます。

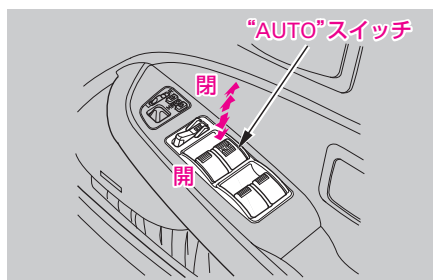
●運転席ウィンドーの開閉

スイッチを軽く操作している間、作動します。

強く操作すると、自動で全開(全閉)します。

開けるとき…スイッチを押します。

閉めるとき…スイッチを引き上げます。



自動開閉中にウィンドーを停止させるときは、スイッチを作動方向とは逆へ軽く操作します。

●運転席以外のウィンドーの開閉

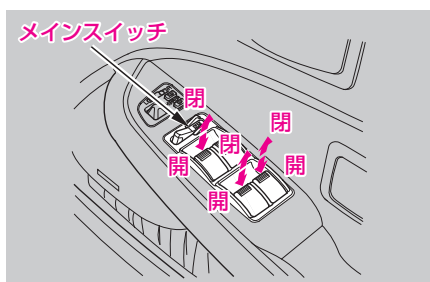
メインスイッチを“ON”にしてから、スイッチを操作します。

スイッチを操作している間、作動します。

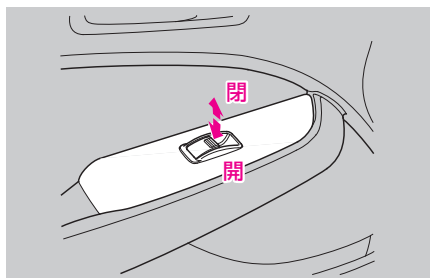
開けるとき…スイッチを押します。

閉めるとき…スイッチを引き上げます。

・運転席ドアスイッチ



・その他のドアスイッチ



運転席以外のウィンドーを動かなくしたいとき(メインスイッチ)

メインスイッチを“OFF”にしておけば、運転席以外のウィンドーは作動しません。



⚠ 警告

- パワーウィンドーを閉めるときは、手やくびなどをはさまないようにしてください。
ドアガラスにはさまれて重大な傷害を受けるおそれがあります。
特にお子さまには気をつけてください。

⚠ 注意

- 車から離れるときはキーを抜き、お子さまと一緒に連れて行ってください。
いたずらなど誤った操作をして思わぬ事故につながるおそれがあります。

🎓 知識

- ウィンドーの開閉はお子さまではなく大人が操作するようにしてください。
- 小さなお子さまが同乗しているときは、お子さまが誤って操作しないよう、メインスイッチを“OFF”にしておきましょう。
- 後席(左、右)のウィンドーは、全開しません。

●はさみ込み防止機構(運転席のみ)

運転席ウィンドーを自動で閉じているときに、窓枠とドアガラスの間に異物ののはさみ込みを検知するとはさみ込み防止機構が作動し、ドアガラスの上昇が停止して自動で下降します。

⚠ 注意

- ウィンドーを確実に閉めるため、閉めきる直前の部分では、はさみ込みを検知できない領域があります。指などをはさまないように注意してください。

🎓 知識

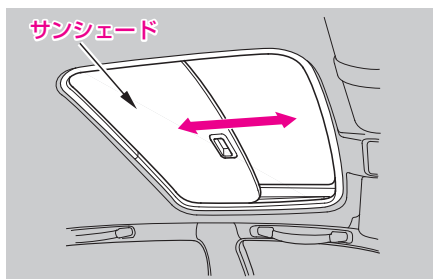
- 故障などではさみ込み防止機構が作動してしまい、ウィンドーを自動で閉めることができなくなったときは、スイッチを軽く引き上げ続けると閉めることができます。
- 環境や走行条件による衝撃などで、はさみ込み防止機構が作動することがあります。
- バッテリーやヒューズを交換した場合は、オート作動ができなくなります。
その場合は、エンジンを始動しドアガラスを一番下まで下げてから、スイッチを引き上げ続け、ウィンドーを閉め切った状態で、約1秒間スイッチを保持すると機能が復帰します。

サンルーフ

注文装備

●サンシェード(遮光板)

サンシェードは手動で開閉します。サンルーフを開ける場合は同時に作動します。サンルーフが開いた状態ではサンシェードは全閉できません。



🎓 知 識

- サンシェードは全開か全閉の位置で使ってください。途中で止めて使うと、走行中の振動で音が出る場合があります。

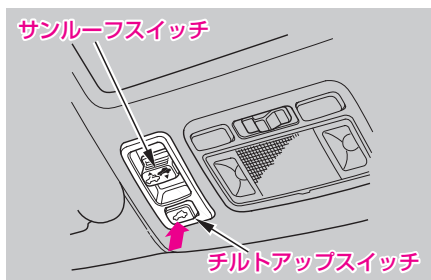
●開閉

エンジンスイッチが“II” のときサンルーフの開閉ができます。



チルトアップ操作

チルトアップスイッチを押すと、サンルーフ後部が上がります(チルトアップ状態)。サンルーフスイッチを前側に押すと閉まります。



🚗 アドバイス

- サンルーフがチルトアップした後はチルトアップスイッチを押し続けしないでください。故障の原因となります。



開閉操作

・開けるとき

スイッチを後側に軽く押している間、作動します。強く押すと、自動で全開します。自動で開いているサンルーフを停止させるときは、スイッチを前側に押しします。

・閉めるとき

スイッチを前側に押している間、作動します。押し続けると開口部が130mmのところで自動的に停止しますので、全閉するときには一度スイッチから手を離し再度スイッチを押します。



警告

- サンルーフを閉めるときは、手やくびなどをはさまないようにしてください。
サンルーフにはさまれて重大な傷害を受けるおそれがあります。特にお子さまには気をつけてください。

注意

- 走行中または一時停止時にルーフ開口部から頭や手、物などを出さないでください。
思わぬ障害物や急ブレーキをかけたときなどに事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- サンルーフやルーフ開口部の縁に腰をかけたり荷物を乗せるなどの大きな力を加えないでください。
サンルーフが破損するおそれがあります。
- 降雪時、厳寒時などには凍結することがあります。このような場合は故障の原因となるので作動させないでください。
- サンルーフが作動しないとき

→249ページ

知識

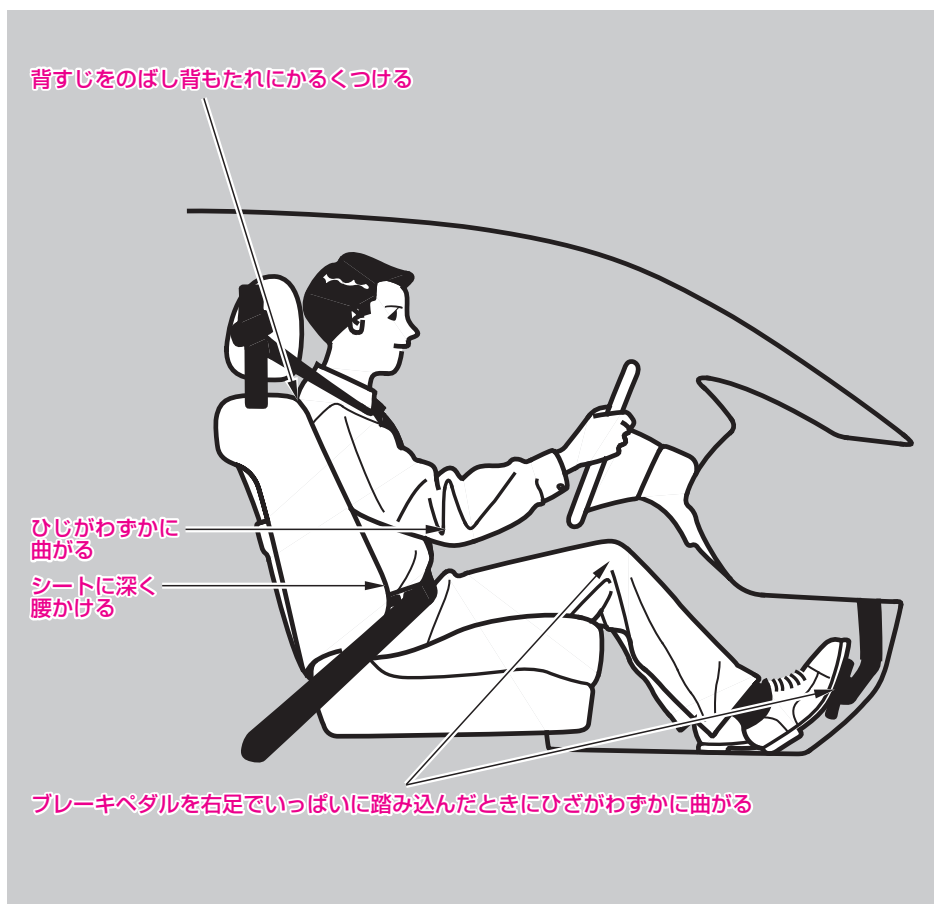
- 車から離れるときや洗車のときは、サンルーフが完全に閉まっていることを確かめてください。
- 降雨後や洗車後はルーフ上の水を除去してから開けてください。また、積雪時にはルーフ上の雪を除去してから開けてください。室内に水や雪が入るおそれがあります。

シートの調節

正しい運転姿勢

運転者は正しい運転姿勢がとれるようにシートを調節します。

正しい運転姿勢とは、シートに深く腰かけた状態で、背もたれから背を離すことなくペダルを十分に踏み込め、ハンドルが楽に操作できる姿勢をいいます。



同乗者も、シートに深く腰かけ、背もたれから背を離さないようにしてください。

助手席同乗者はインストルメントパネルに顔や胸が必要以上に近づかないように、シートを後ろに下げます。



⚠ 警告

- シートに深く腰かけてください。
また、背もたれは必要以上に倒さないでください。
寝そべった姿勢では、衝突したときなどにシートベルトの下に滑り込んだりして、重大な傷害を受けるおそれがあります。
- SRSエアバッグに必要以上に近づくと、SRSエアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受け、重大な傷害を受けるおそれがあります。
 - ・ 運転者は正しい運転姿勢がとれる範囲で、シートを後ろに下げてください。
 - ・ 助手席同乗者はインストルメントパネルに近づかないように、シートを後ろに下げてください。

⚠ 注意

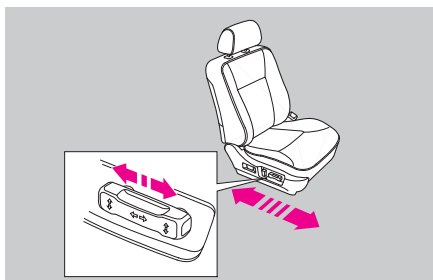
- 背もたれと背中の中にクッションなどをいれないでください。
正しい運転姿勢がとれないばかりか、シートベルトなどの効果が十分に発揮されないおそれがあります。
- シートを操作するときは、操作する人やまわりの人の手や足などをはさまないように十分注意してください。
- フロントシートの下に物を置かないでください。
物がはさまってシートが固定されず思わぬ事故につながるおそれがあります。

🎓 知識

- シートの調節は走行する前に行ってください。

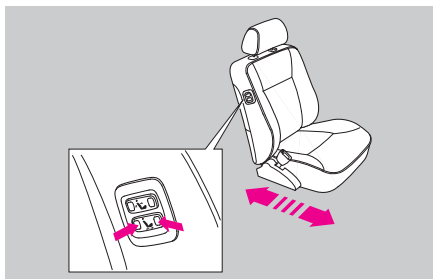
フロントシート

●前後位置の調節

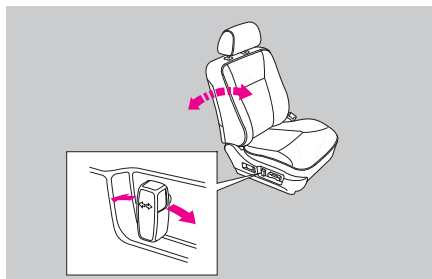


助手席シートは、運転席側からでも調節
できます。

タイプ別装備

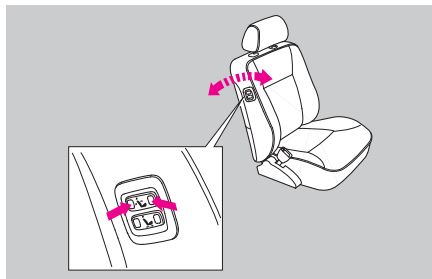


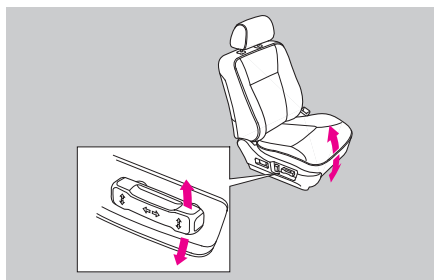
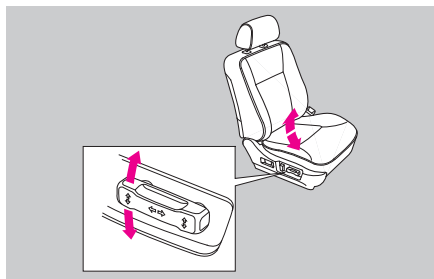
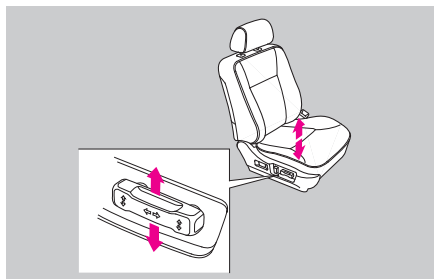
●背もたれの調節



助手席シートは、運転席側からでも調節
できます。

タイプ別装備

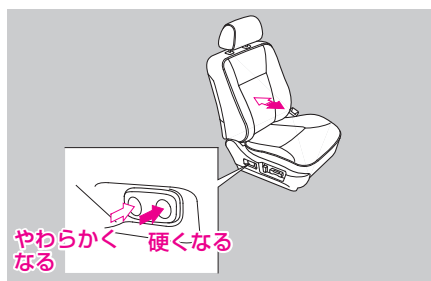


**●高さの調節(運転席のみ)****前端****後端****全体****●ランバーサポート(運転席のみ)**

背もたれ腰部の硬さを調節できます。



スイッチの前側を押すと硬くなり、後ろ側を押すとやわらかくなります。



●ヘッドレストの調節

走行する前に耳とヘッドレストの中心が同じ高さになるように調節し、確実に固定します。

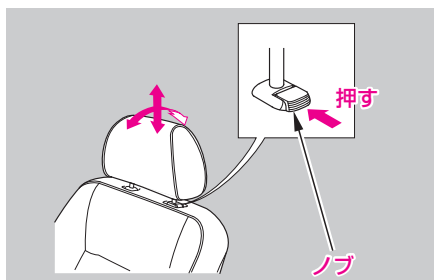
背が高い人は、固定できる範囲で一番高い位置にしてお使いください。



高くするときは、ヘッドレストを持ち上げます。

低くするときはノブを押しながらヘッドレストを下げます。

ヘッドレストが後頭部に軽くあたるように前後にも調節します。



⚠ 警告

- ヘッドレストを外した状態で走行しないでください。また、固定できる高さを越えて使わないでください。

衝突のときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。

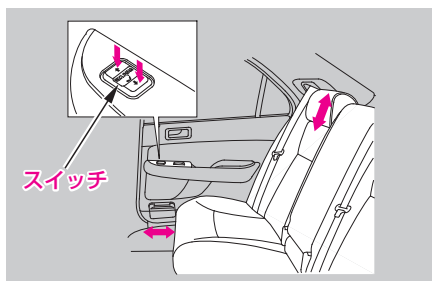
走行前に必ず正しい位置に調節してください。

リヤシート

●前後位置と背もたれの調節

タイプ別装備

スイッチの操作により、リヤシートの位置と背もたれの角度が同時に調節できます。調節は左右別々にできます。





●ヘッドレストの調節

走行する前に耳とヘッドレストの中心が同じ高さになるように調節し、確実に固定します。

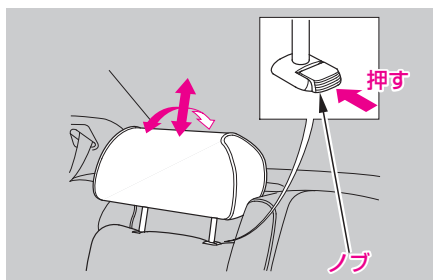
背が高い人は、固定できる範囲で一番高い位置にしてお使いください。



高くするときは、ヘッドレストを持ち上げます。

低くするときはノブを押しながらヘッドレストを下げます。

ヘッドレストが後頭部に軽くあたるように前後にも調節します。



⚠ 警告

- ヘッドレストを外した状態で走行しないでください。また、固定できる高さを越えて使わないでください。

衝突のときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。

走行前に必ず正しい位置に調節してください。

ハンドル・バックミラーの調節

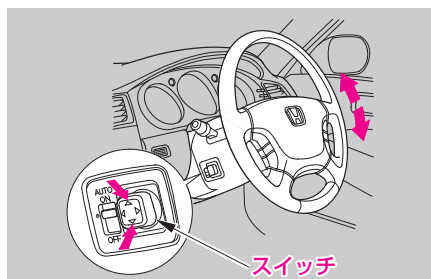
電動チルト／テレスコピック ステアリング(電動上下／ 前後調節式ハンドル)

ハンドルの高さおよび前後位置を適切な位置に変えることができます。

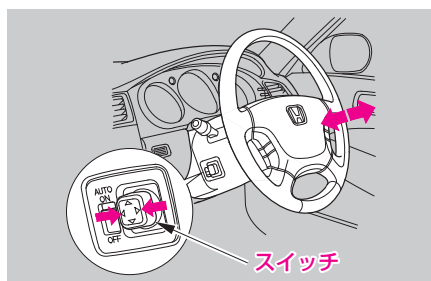


スイッチを操作して調節します。

上下調節



前後調節



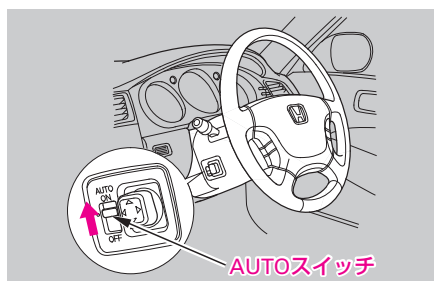
知 識

- 調節は走行する前に行ってください。



●AUTOスイッチについて

AUTOスイッチがONのとき、キーをエンジンスイッチから抜くとハンドルが自動的にはね上がり最も前方の位置に動きます。



キーを差し込むとハンドルは元の位置に戻ります。

🎓 知 識

- 次のような操作を行うと、ハンドルののはね上げ・復帰の動作が止まります。

- ・ AUTOスイッチをOFFにしたとき
- ・ シート、ハンドルの調節スイッチを操作したとき
- ・ プリセットボタン、メモリーボタンを操作したとき

ドライビングポジション

システム

→60ページ

- ・ セレクトレバーを回から他の位置に切り換えたとき

ドライビングポジションシステム

タイプ別装備

次の位置を2種類記憶させ、それぞれの位置に自動で復元させることができます。

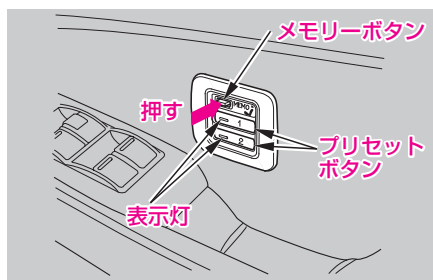
運転席シート	・ 前後位置 ・ 背もたれの角度 ・ 上下位置
ハンドル	・ 上下位置 ・ 前後位置

●記憶のさせかた

知 識

- 操作は走行する前に行ってください。

- ① エンジンスイッチを“II”にします。
- ② 運転席シート、ハンドルを適当な位置に調節します。
- ③ メモリーボタンを押します。“ピッ”と1回音がして、プリセットボタン内の表示灯が2つとも点滅します。



- ④ ボタン内の表示灯が2つとも点滅している間(メモリーボタンを押してから5秒以内)に“1”または“2”のプリセットボタンを、“ピッピッ”と2回音がするまで押し続けます。記憶されると押したボタン内の表示灯が点灯します。“1”と“2”の2つのドライビングポジションを記憶することができます。



記憶の消去

新しく位置を記憶させると、前の記憶は消去されます。また、バッテリーを外した場合にも、記憶は消去されます。

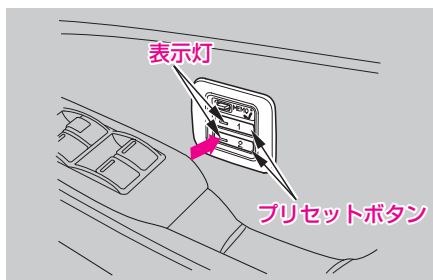


●自動調節のしかた

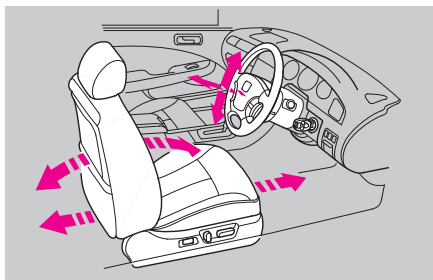
知 識

- 操作は走行する前に行ってください。

- ①キーをエンジンスイッチに差し込み、セレクトレバーが回的位置にあることを確認します。
- ②運転者のドライビングポジションを記憶させた側のプリセットボタンを押します。



- ③運転席シート、ハンドルが自動的に動き出し、ボタン内の表示灯が点滅します。



- ④記憶させた位置に調節されるとピッピッと2回音がして、ボタン内の表示灯が点灯します。

知 識

- キーをエンジンスイッチに差し込んでいないと運転席シートのみが調節されます。キーをエンジンスイッチに差し込むとハンドルも自動的に調節され、“ピッピッ”と2回音がします。
- 次のような操作を行うと、自動調節の動作が止まります。
 - ・シート、ハンドルの調節スイッチを操作したとき
 - ・プリセットボタン、メモリーボタンを操作したとき
 - ・セレクトレバーを回から他の位置に切り換えたとき

ルームミラー

知 識

- 走行中はミラーの調節を行わないでください。

●防眩式ルームミラー

自動式

タイプ別装備

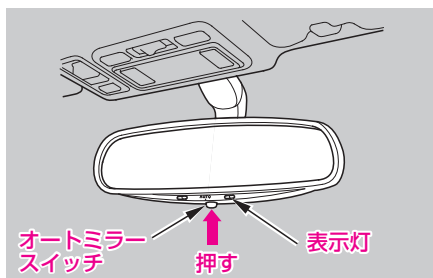
夜間走行時、後続車のライトがまぶしいときにライトの反射を自動的に弱くできます。



エンジンスイッチが“II”で、オートミラースイッチが“ON”のとき作動します。オートミラースイッチを押すごとに“ON”⇔“OFF”が切り換わります。“ON”のとき表示灯が点灯します。

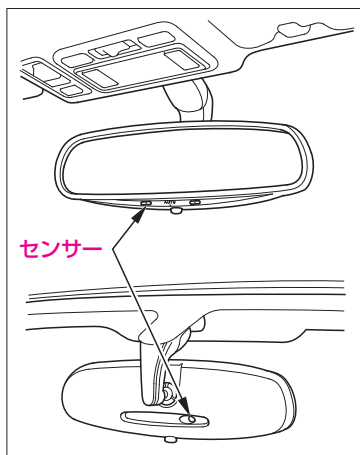
後続車のライトでルームミラー内のセンサーが周囲より明るい光を感知すると、自動的にライトなどの反射が弱くなります。

セレクトレバーをⅡに入れているときは解除されます。



知 識

- アクセサリーをつり下げてセンサーをふさいだり、ガラスクリーナーを吹きかけたりしないでください。センサーの感度が悪くなったりして、正しく作動しなくなることがあります。

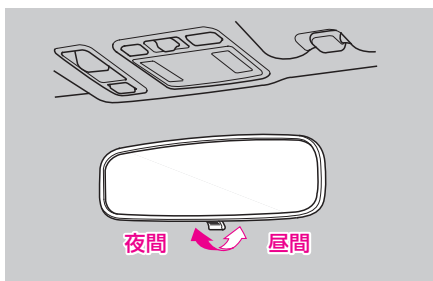


**手動式****タイプ別装備**

夜間走行時、後続車のライトがまぶしいときにライトの反射を弱くできます。



ノブを動かして切り換えます。



角度調節はノブを昼間の位置にして行ってください。

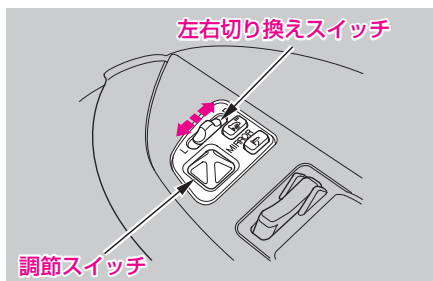
ドアミラー

●角度調節のしかた

エンジンスイッチが“II”のときスイッチを操作すると、ミラーの角度調節ができます。



- ①左右切り換えスイッチを調節したい方に動かします。
- ②調節スイッチで角度を調節します。



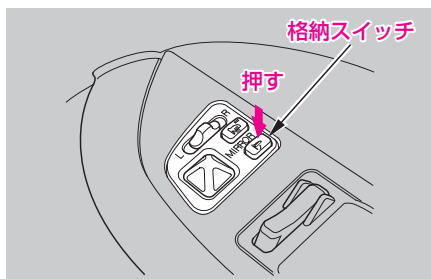
直接手で鏡面を動かして角度を調節することもできます。

●格納のしかた

エンジンスイッチが“II”のとき、スイッチで左右のミラーをたたむことができます。



格納スイッチを押すとミラーがたたまれます。もう一度スイッチを押すと元の位置に戻ります。



直接手で格納することもできます。

知 識

- ミラーを格納したまま走行しないでください。また、走行中はミラーの調節を行わないでください。
- ミラーを格納するときは、周囲の人の手などをはさまないようにしてください。



●ヒートッドアミラー

タイプ別装備

エンジンスイッチが“II”のとき、スイッチを押すとミラーが暖められ曇りが取れます。



スイッチを押すとスイッチ内の表示灯が点灯します。

シートベルト

シートベルト

シートベルトは、車を運転するまえに運転者は正しい運転姿勢で着用し、同乗者にも必ず着用させてください。



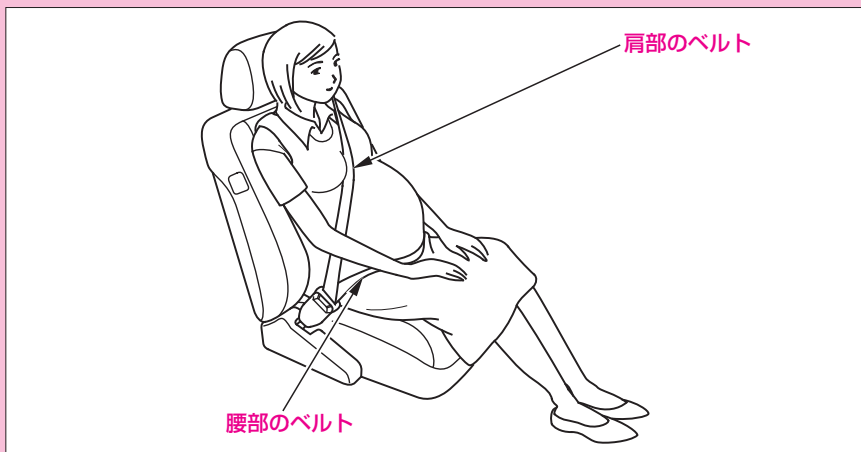
⚠ 警告

- シートベルトは全員が着用してください。
着用しないと、衝突したときなどに重大な傷害を受けたり死亡することがあります。
- シートに深く腰かけてください。また、背もたれは必要以上に倒さないでください。
寝そべった姿勢では、衝突したときなどにシートベルトの下に滑り込んだりして、重大な傷害を受けるおそれがあります。
- お子さまにもシートベルトを着用させるか、チャイルドシートをお使いください。
お子さまを抱いていても、衝突したときなどに支えることができず、お子さまが重大な傷害を受けたり死亡するおそれがあります。



⚠ 注意

- シートベルトを正しく着用していないと本来の機能をはたさず、衝突のときなどにけがをするおそれがあります。
 - ・ ベルトは必ず腰骨のできるだけ低い位置にぴったり着用してください。ベルトが腰骨からずれていると腹部などに強い圧迫を受けます。
 - ・ ベルトはねじれがないように着用してください。ねじれがあるとベルトの幅が狭くなり、局部的に強い力がかかります。
 - ・ ベルトがくび、あご、顔などに当たらないように着用してください。
 - ・ 一本のベルトを二人以上で使用しないでください。
 - ・ 三点式シートベルトは腕の下に通して着用しないでください。ベルトが肩に十分かかっていないと前方に投げ出されるおそれがあります。
 - ・ ベルトにはクリップや洗たくばさみなどでたるみをつけないでください。
- 妊娠中のかたや疾患のあるかたもシートベルトを着用してください。ただし、万一のとき腹部、胸部、肩部などに圧迫を受けることがありますので、医師に確認してください。
 - ・ 妊娠中のかたは、ベルトを着用するときは、腰部のベルトを腹部からさけて腰骨のできるだけ低い位置にかかるようにして身体に密着させてください。また、肩部のベルトは腹部からさけて胸部にかかるようにしてください。



●シートベルトの種類

シート	シートベルトの種類
フロントシート	ELR付三点式シートベルト
リヤシート	ELR・ALR付三点式シートベルト

ELR付三点式シートベルト：
体の動きにあわせて伸縮し、強い衝撃を受けるとベルトが自動的にロックします。

ELR・ALR付三点式シートベルト：
通常はELRシートベルトとして機能します。
ALRはチャイルドシートを固定する機構です。

チャイルドシート固定機構付きシートベルト（後席） →74ページ



●三点式シートベルト

シートベルト警告灯

エンジンスイッチを“II”にすると、運転席シートベルトを着用するまでメーター内のシートベルト警告灯が点灯し続けます。

テンションリデューサー(前席のみ)

ベルト着用時の圧迫感を軽減する装置です。エンジンスイッチが“II”でシートベルトを着用したときに、はたらきます。

チャイルドシート固定機構付きシートベルト(後席)

→74ページ

知 識

- 後席シートベルトを着用した状態で上体を大きく動かしたときに、シートベルトがすべて引き出されてチャイルドシート固定機構が作動することがあります。

このときは、チャイルドシート固定機構を解除してから再度シートベルトを着用してください。

解除のしかた →75ページ

シートベルトプリテンショナー (前席のみ)

→146ページ

●お子さまを乗せるときは

お子さまは、後席に乗せシートベルトを着用させてください。

ただし、装備されているシートベルトは大人用ですので、ベルトがくびりやあごに当たる場合や腰骨にかからない場合は、幼児用シートや学童用シートを使用してください。シートベルトをそのまま使うと、衝突のときに腹部などに強い圧迫を受けるおそれがあります。

また、ひとりですわることのできない小さなお子さまは乳児用シートを使用してください。

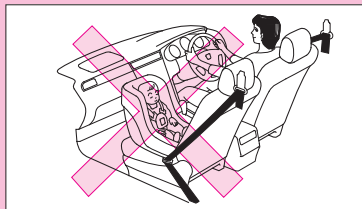
お子さまを後席に乗せることができなく、やむをえず助手席に乗せるときは、一番大きなお子さまを乗せてください。



⚠警告

●助手席には乳児用シートを取り付けないでください。また、幼児用シートを後ろ向きに取り付けないでください。**SRS**エアバッグが膨らむ際、乳児用シートや、幼児用シートの背面に強い衝撃を受け、重大な傷害を受けたり、死亡するおそれがあります。

また、やむをえず幼児用シートを前向きに取り付ける場合は、**SRS**エアバッグから遠ざけるため、シートを一番後ろに下げてください。





知識

- 乳児用シート、幼児用シート、学童用シートは、お子さまの体重や身長によりお使いになれるタイプや取り付け方法が異なります。また、シート形状などにより、チャイルドシートを正しく取り付けできない席があります。このようなときは、他の席で試してください。または、この車に合ったチャイルドシートを使用してください。**Honda純正品**をご用意しています。ご購入、ご使用に際してはホンダクリオ店にご相談ください。

《選択の目安》

詳しくはチャイルドシートに付属の取扱説明書をご覧ください。

	体重(kg)	身長(cm)	参考年令
乳児用 (ベビー) シート	～10	～75	～12か月
幼児用 (チャイルド) シート	7～18	65～100	4か月～4才
学童用 (ジュニア) シート	15～32	100～135	4才～10才

●シートベルトの取り扱い、手入れ

- ・ベルトを着用した状態で万一、事故にあった場合は機能を損なっている可能性があるため、ベルト一式を交換してください。

前席シートベルトは、前席に乗員がいなくても、**SRSエアバッグ**が作動するような事故にあった場合は、プリテンショナーも作動するため、ベルト一式を交換してください。

また、ベルトにほつれ、すりきれ、破れなどができたときも交換してください。

- ・シートベルトを十分に機能させるために、バックルおよび自動巻き取り装置の内部に異物を入れないようにしてください。
- ・ベルトが汚れた場合は、中性洗剤を溶かしたぬるま湯に布をひたしてふき取り乾かしてください。薬剤を使ったり漂白や染色は絶対しないてください。ベルトを弱めます。

着用のしかた

●三点式シートベルト

①正しい運転姿勢でシートにすわります。

(→52ページ)

②タングプレートをつかみ、ゆっくり引き出します。



③ベルトにねじれがないようにし、タングプレートバックルの中へ“カチリ”と音がするまで差し込みます。



④ベルトがねじれたり、引っかかったりしていないかを確認します。

⑤ベルトを腰骨のできるだけ低い位置にかかるように引き、たるみがないように身体に密着させます。



⑥外すときはバックルの“PRESS”ボタンを押します。

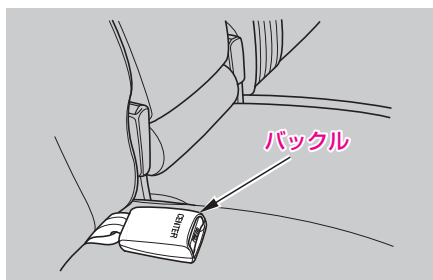
ベルトが自動的に収納されますので、引っかかったり、ねじれたりしていないかを確認します。





後席中央

タングプレートは差し込む相手を間違えないようにしてください。バックルに“CENTER”(センター)の表示があります。



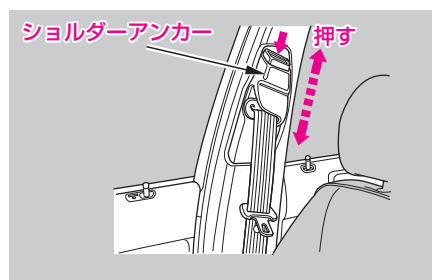
ショルダーアンカーの高さ調節

(前席のみ)

座高に合わせて、ショルダーアンカーの高さを調節できます。



通常はベルトが肩から外れないように最上段で使いますが、ベルトがくびに当たるときは、一段ずつ下げて調節してください。



⚠ 注意

- 調節後は、ショルダーアンカーが確実に固定されていることを確認してください。

チャイルドシート固定機構 付きシートベルト(後席)

後席のシートベルトには、チャイルドシート固定機構がついています。シートベルトを引き出し方向に動かないようにできるため、チャイルドシートを固定することができます。取り付けかたは、チャイルドシートの形状、取り付け方法によって異なります。チャイルドシートに付属の取扱説明書にしたがって取り付けてください。

⚠ 警告

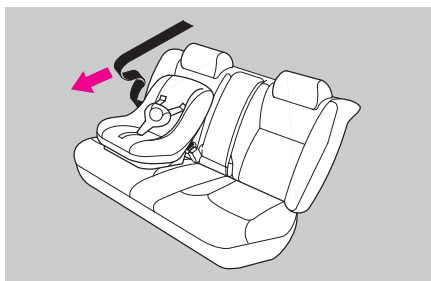
- お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。固定機構が作動するとベルトがゆるまなくなり、窒息などの重大な傷害を受けるおそれがあります。万一ベルトをゆるめることができなくなった場合は、はさみなどでベルトを切断してください。

●チャイルドシートを取り付けるとき

- ①チャイルドシートをリヤシートに置きます。
- ②ベルトにねじれがないことを確認し、タングプレートをバックルの中へ“カチリ”と音がするまで差し込みます。



- ③ベルトをゆっくりと引き出します。すべて引き出すと、チャイルドシート固定機構が作動します。



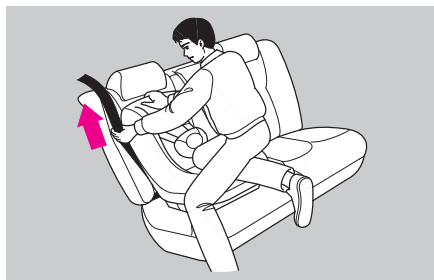


- ④ベルトを少し巻き取らせませす。その後、ベルトをゆっくりと引き、ベルトが引き出し方向に動かないことを確認します。ベルトが引き出し方向に動く場合は、再度ベルトをすべて引き出してください。

⚠ 注意

- 必ずベルトが引き出し方向に動かないことを確認してください。ベルトが引き出し方向に動く状態では、チャイルドシート固定機構が作動していないので、ブレーキや衝突のときなどにチャイルドシートがとび出し傷害を受けるおそれがあります。

- ⑤チャイルドシートに体重をかけてリヤシートに押しつけながら、ベルトを巻き取らせ、しっかりと固定します。

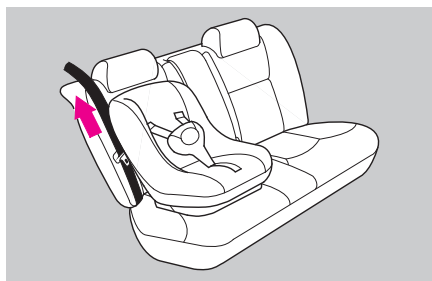


⚠ 注意

- チャイルドシートを前後左右にゆすって確実に固定されていることを確認してください。確実に固定されていないとブレーキや衝突のときなどにチャイルドシートがとび出し傷害を受けるおそれがあります。

●解除のしかた

- ①チャイルドシートからベルトを外します。
- ②ベルトをいっぱいまで巻き取らせると、チャイルドシート固定機構は解除されます。



2

車を運転するときに

●メーター 78

●表示灯 82

●警告灯 86

セーフティインジケーター 93

警告灯の電球切れの点検 93

●スイッチの使いかた

エンジンスイッチ 94

ライトスイッチ 96

フォグライトスイッチ 98

方向指示器(ウィンカー)

スイッチ 98

非常点滅表示灯(ハザード)

スイッチ 99

ワイパー/ウォッシャー

スイッチ 100

リヤデフロスタースイッチ ... 104

イルミネーション

コントロール 105

ホーンスイッチ 105

●運転のしかた

エンジンのかけかた 106

パーキングブレーキ 108

セレクトレバーの操作 110

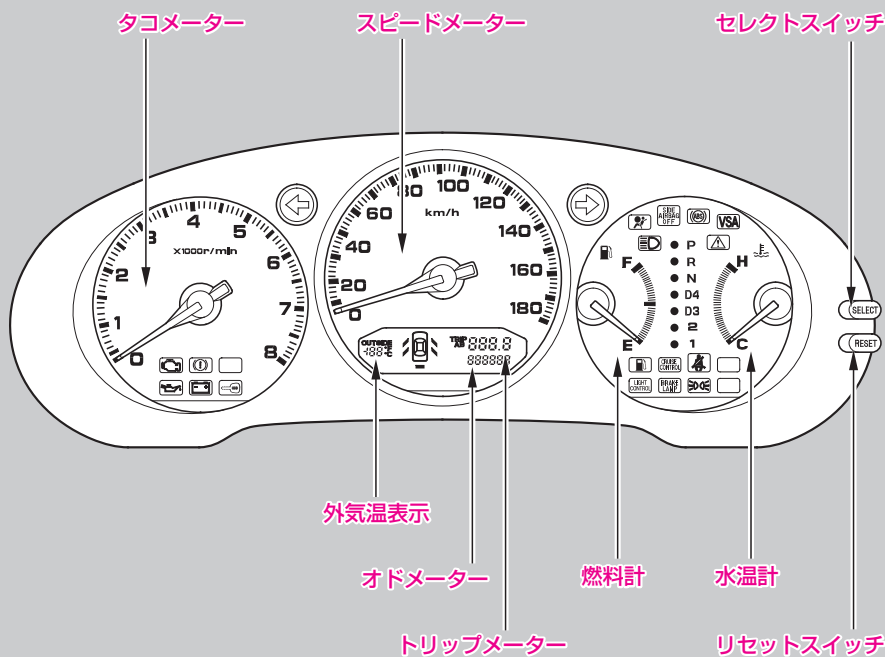
オートマチック車の運転の

しかた 114

クルーズコントロール 123

メーター

イラストは代表例を掲載しています。





スピードメーター

走行速度をkm/hで示します。

タコメーター

1分間あたりのエンジン回転数を示します。



アドバイス

- エンジン故障の原因となりますので、限界回転数以上(レッドゾーン)に入らないように運転してください。特に高速走行時、変速(シフトダウン)するときには注意してください。

限界回転数 ……………5,900 rpm

- 停車中の空ぶかしは、エンジン回転数が5,000rpmになると燃料供給が停止されます。

オドメーター

エンジンスイッチが“II”のとき、走行距離の累計をkmで示します。

燃料計

エンジンスイッチが“II”のとき、燃料の残量を示します。

“E”に近づいたら早めに補給してください。

燃料補給について →46ページ

水温計

エンジンスイッチが“II”のとき、エンジン冷却水の温度を示します。

走行中は“H”の目盛より下側をさすのが正常です。



アドバイス

- 針が“H”の目盛に入った場合はオーバーヒートのおそれがあります。ただちに安全な場所に停めてエンジンを冷やしてください。そのまま走行を続けるとエンジン故障の原因となります。

オーバーヒートしたとき

→232ページ

トリップメーター

エンジンスイッチが“II”のとき、“TRIP A”または“TRIP B”が表示され、区間距離をkmで示します。

表示はセレクトスイッチを短く押すごとに「…“TRIP A”→“TRIP B”→“TRIP A”…」の順に切り換わります。

例えば、

“TRIP A”で出発からの距離

を測りながら、

“TRIP B”で給油してからの距離

を測るといったようなことができます。

リセットスイッチを押してブザーが鳴り終えたと、リセットします。

この場合、表示されている方だけ（例えば“TRIP A”が表示されているれば“TRIP B”だけ）がリセットされます。



知 識

- バッテリーを外すと、“TRIP A”、“TRIP B”とも記憶が消去されます。



外気温表示

走行中(約30km/h以上)の外気温を測定し表示します。また、エンジンスイッチを“II”にしたときはそのときの外気温を表示し、走行(約30km/h以上)するまでその表示を続けます。

走行中に外気温が下がってきて3℃以下になったとき、ブザー(ピッピッピッ)が鳴り、外気温が点滅表示します。

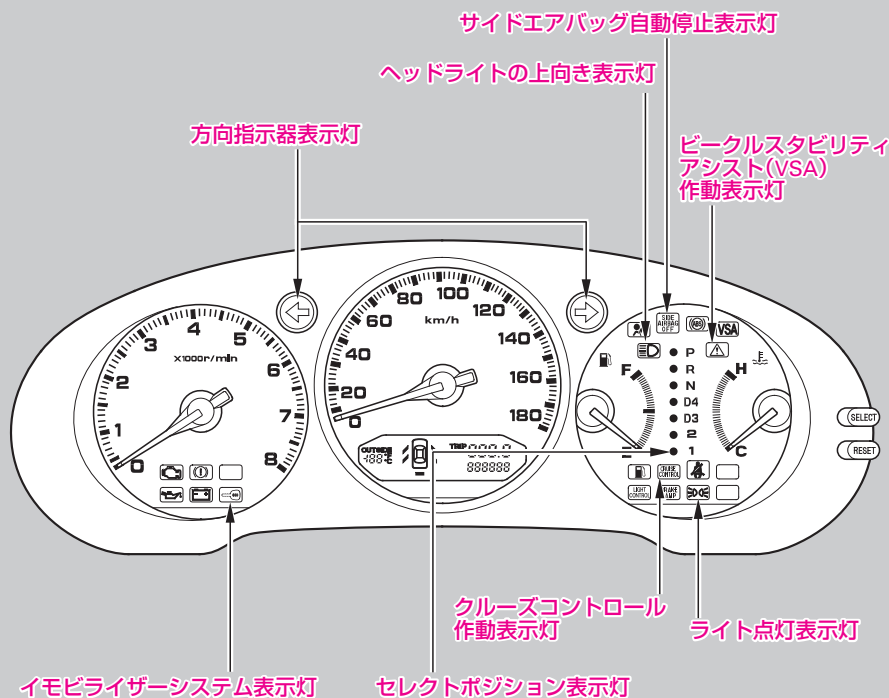


知 識

- フロントバンパー付近の外気温を測定しているため、エンジンルームや路面の熱の影響を受けやすい停車中や渋滞中など(約30km/h以下)は正しい外気温を表示しないことがあります。
- ブザーおよび外気温表示の点滅は、エンジンスイッチを“II”にしてから最初に3℃以下に下がったときのみ作動します。

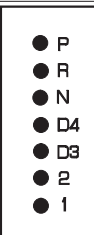
表示灯

イラストは代表例を掲載しています。





表示灯はタイプ等により、装備の有無があります。下表の装備一覧をご覧ください。

表示灯	タイプ		
	Euro	Euro Exclusive	Exclusive
 方向指示器表示灯	○	○	○
 ヘッドライト上向き (ハイビーム)表示灯	○	○	○
 ライト点灯表示灯	○	○	○
 セレクトポジション表示灯	○	○	○
 クルーズコントロール 作動表示灯	○	○	○
 サイドエアバッグ自動停止 表示灯	○	○	○
 ビークルスタビリティアシスト (VSA)作動表示灯	△	○	○
 イモビライザーシステム 表示灯	○	○	○

○：標準装備

△：注文装備



方向指示器表示灯

方向指示器のランプの点滅状態を表示します。

知 識

- 電球が切れたときや、ワット(W)数の違ったものを使ったときは、表示灯の点滅周期が異常になります。

電球(バルブ)の交換

→243、244、245ページ

電球(バルブ)のワット数

→285ページ



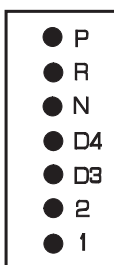
ヘッドライト上向き(ハイビーム)表示灯

ヘッドライトが上向きのときに点灯します。



ライト点灯表示灯

ライトスイッチが“OFF”以外のとき(ただし、“AUTO”のときは車幅灯やヘッドライトが点灯しているときのみ)点灯します。



セレクトポジション表示灯 (トランスミッション警告灯兼用)

使用中のセレクトレバー位置が表示されます。

トランスミッションが異常のときには、が点滅します。

トランスミッション警告灯 →90ページ



クルーズコントロール作動表示灯

自動定速走行しているときに点灯します。

クルーズコントロール →123ページ



サイドエアバッグ自動停止表示灯

乗員姿勢検知システムにより、助手席用サイドエアバッグの作動を自動停止しているときに点灯します。



点灯したときは

上体を起こして座ってください。また、小さなお子さまの場合は、後席に乗せてください。

サイドエアバッグシステム →136ページ



ビークルスタビリティアシスト (VSA：車両挙動安定化制御システム)作動表示灯

VSA装備車

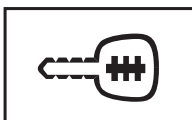
TCS機能または横滑り抑制機能が作動中に点滅します。

VSAを“OFF”にしたときと、VSAに異常があるときに点灯します。

→150ページ

知 識

- VSA警告灯が点灯するとVSA作動表示灯も同時に点灯します。



イモビライザーシステム表示灯

エンジンスイッチにキーを差し込んで“II”にすると、数秒間点灯してから消灯します。消灯したらエンジンを始動することができます。

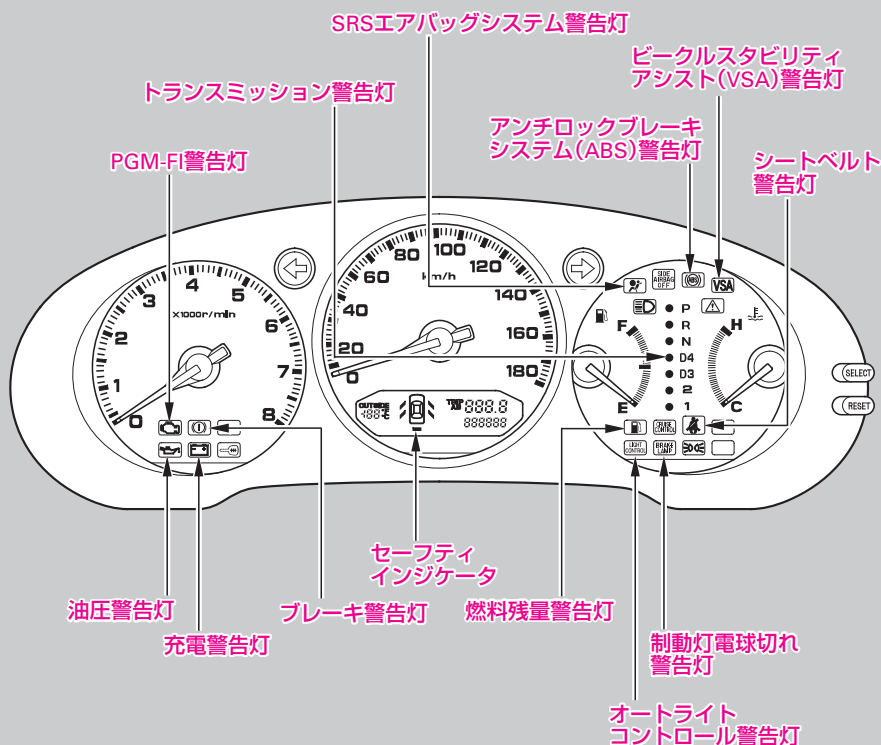
点滅したときは、エンジンを始動することができません。

エンジンスイッチを“II”から“I”または“0”へ回したときにも、イモビライザーシステム表示灯が数回点滅します。

イモビライザーシステム →34ページ

警告灯

イラストは代表例を掲載しています。





警告灯はタイプ等により、装備の有無があります。下表の装備一覧をご覧ください。

警告灯	タイプ		
	Euro	Euro Exclusive	Exclusive
 油圧警告灯	○	○	○
 ブレーキ警告灯	○	○	○
 充電警告灯	○	○	○
 PGM-FI警告灯	○	○	○
 トランスミッション警告灯 (セレクトポジション表示灯 兼用)	○	○	○
 シートベルト警告灯	○	○	○
 燃料残量警告灯	○	○	○
 オートライト コントロール警告灯	○	○	○
 SRSエアバッグシステム 警告灯	○	○	○
 アンチロックブレーキ システム(ABS)警告灯	○	○	○
 ビークルスタビリティ アシスト(VSA)警告灯	△	○	○
 セーフティインジケーター	○	○	○
 制動灯電球切れ警告灯	○	○	○

○：標準装備

△：注文装備



油圧警告灯

エンジン回転中、エンジン内部を潤滑しているオイルの圧力が低下すると点灯します。



点灯したときは

エンジン回転中に点灯した場合は、ただちに安全な場所に停車してエンジンを止め、エンジンオイル量を点検してください。

エンジンオイルが減っていないのに点灯しているときや、エンジンオイルを補給しても点灯するときは、ただちにホンダクリオ店へご連絡ください。



アドバイス

- 点灯したまま走行しないでください。エンジンが破損するおそれがあります。



ブレーキ警告灯

パーキングブレーキが完全に戻っていないときやブレーキ液量がいちじるしく減少しているときに点灯します。また、**ABS**が異常のとき**ABS**警告灯と同時に点灯することがあります。



点灯したときは

走行中点灯したときやエンジン始動後にパーキングブレーキを解除しても消灯しないときは、

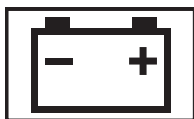
- ①ブレーキ液量を点検します。
- ②下限より下がっていたらただちにホンダクリオ店へご連絡ください。

ブレーキ液量が下限以下になっていないのに点灯するときや、パーキングブレーキをかけても点灯しないときは、お早めにホンダクリオ店で点検を受けてください。

ABS警告灯と同時に点灯したときは

ブレーキ液量が正常で、**ABS**警告灯と同時に点灯したときは、**ABS**の異常が考えられます。高速走行や急ブレーキを避けて、ただちにホンダクリオ店で点検を受けてください。

ABS警告灯 →149ページ



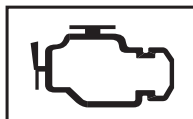
充電警告灯

充電系統が異常のときに点灯します。



点灯したときは

運転中に点灯した場合は、電気の消費を減らすため、ヒーター・エアコンスイッチ、リヤデフロスタースイッチを“OFF”にして、ただちにホンダクリオ店で点検を受けてください。



PGM-FI警告灯

エンジン制御システムが異常のときに点灯します。



点灯したときは

運転中に点灯した場合は、高速走行を避けて、ただちにホンダクリオ店で点検を受けてください。



トランスミッション警告灯 (セレクトポジション表示灯兼用)

トランスミッションが異常のときに点滅します。



点滅したときは

運転中に点滅した場合は、急発進、急加速を避けて、ただちにホンダクリオ店で点検を受けてください。



シートベルト警告灯

エンジンスイッチを“II”にすると、運転席シートベルトを着用するまで点灯し続けます。



燃料残量警告灯

燃料タンク内のガソリン残量が10ℓ前後になったときに点灯します。

燃料の補給 →46ページ



LIGHT CONTROL

オートライトコントロール警告灯

オートライトコントロールが異常のとき点灯します。

知 識

- 運転中に点灯した場合は、ライトの点灯や消灯は手動で行い、ホンダクリオ店で点検を受けてください。

オートライトコントロール

→96ページ



SRSエアバッグシステム警告灯 (サイドエアバッグシステム警告灯、 乗員姿勢検知システム警告灯、シート ベルトプリテンショナー警告灯兼 用)

SRSユニットがシステムの異常を検出すると点灯します。

SRSエアバッグシステム警告灯

→135ページ

サイドエアバッグシステム警告灯

→145ページ

乗員姿勢検知システム →142ページ

シートベルトプリテンショナー警告灯

→147ページ



アンチロックブレーキシステム (ABS)警告灯

ABSが異常のときに点灯します。

→149ページ



ビークルスタビリティアシスト (VSA：車両挙動安定化制御システム)警告灯

VSA装備車

VSAが異常のときに点灯します。

→153ページ



知 識

- ABS警告灯が点灯するとVSA警告灯も同時に点灯します。



制動灯電球切れ警告灯

制動灯の電球切れのときに点灯します。

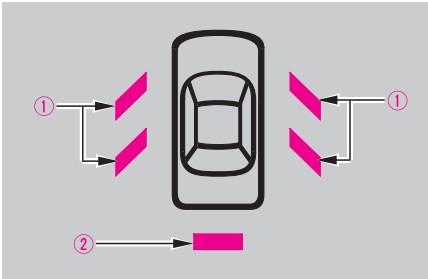


点灯したときはホンダクリオ店で点検を受けてください。

電球(バルブ)の交換 →245ページ



セーフティインジケーター



① ドア開閉警告灯

ドアが完全に閉まっていないときに点灯します。



ドアを完全に閉めてください。

② トランク開閉警告灯

トランクが完全に閉まっていないときに点灯します。



トランクを完全に閉めてください。

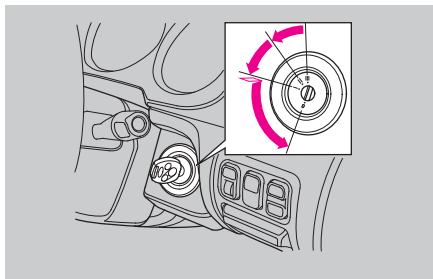
警告灯の電球切れの点検

エンジンスイッチを“II”にしたとき、下記の警告灯類が点灯するのが正常です。点灯しないときは、ホンダクリオ店にご連絡ください。

- 油圧警告灯
(エンジン始動後消灯)
- ブレーキ警告灯
(パーキングブレーキが解除されているときは数秒後消灯)
(パーキングブレーキをかけているときは完全に解除すると消灯)
- 充電警告灯
(エンジン始動後消灯)
- PGM-FI警告灯
(数秒後消灯)
- トランスミッション警告灯
(数秒後消灯)
- オートライトコントロール警告灯
(数秒後消灯)
- SRSエアバッグシステム警告灯
(約 6 秒後消灯)
- アンチロックブレーキシステム (ABS) 警告灯
(数秒後消灯)
- ビークルスタビリティアシスト (VSA：車両挙動安定化制御システム) 警告灯
(数秒後消灯)
- セーフティインジケーター内の警告灯
(数秒後消灯)
- 制動灯電球切れ警告灯
(数秒後消灯)

スイッチの使いかた

エンジンスイッチ



0

キーを抜き差しする位置です。

I

エンジンをかけずにラジオなどのアクセサリを使用するときの位置です。

II

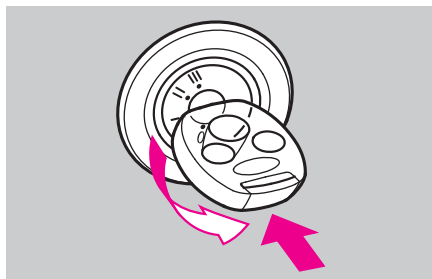
運転するときの位置です。

III

エンジン始動位置です。始動したら、キーから手を離してください。自動的に“II”に戻ります。

キーを抜くとき

- セレクトレバーをⅡに入れます。
- “I”でキーを押し込んで“0”まで回してキーを抜きます。



知 識

- キーを抜くとハンドルがロックされます。
- セレクトレバーがⅡ以外のときは、エンジンスイッチが“0”まで回らないので、キーを抜くことができません。

“0”から“I”にキーが回らないとき

ハンドルを左右に回しながらキーを回せば容易に回ります。

 知 識

- エンジンを止めた状態で“II”のまま、長時間放置しないでください。バッテリー容量が低下し、エンジンがかからなくなることがあります。
- 車から離れるときは、バッテリー保護のため必ず“0”にしてください。

●キー抜き忘れ警告ブザー

エンジンスイッチが“1”または“0”でキーを差し込んだまま車を離れようとしたとき(運転席ドアを開けたとき)、ブザーが鳴りキーの抜き忘れを知らせます。

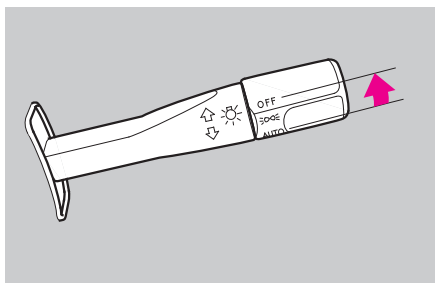
ライトスイッチ

●ライトの点灯・消灯

自動で使うとき

(オートライトコントロール)

エンジンスイッチが“II”のとき使えます。ライトスイッチを“AUTO”の位置にすると、車外の明るさによってヘッドライトや車幅灯などが自動的に点灯・消灯します。



車外が暗くなると、まず車幅灯、尾灯、番号灯が自動的に点灯します。さらに暗くなるとヘッドライトが点灯します。車外が明るくなると、逆の順に消灯します。

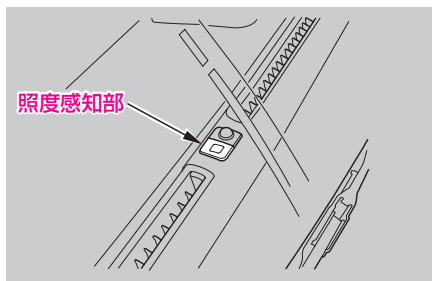
ライト類が点灯すると、メーター内の表示灯が点灯します。

ライト点灯表示灯 →84ページ

知 識

- 昼間、濃い霧などにより視界が悪いときには、自動では点灯しません。手動で点灯してください。
- オートライトコントロール警告灯が点灯したときには、手動位置に切り換えてお使いください。

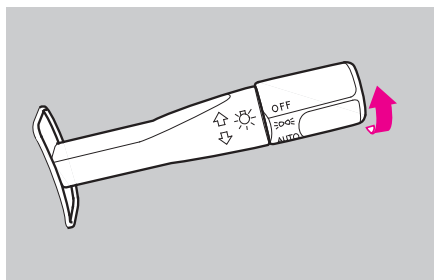
照明感知部は図の位置にあります。感知部の上に物を置かないでください。





手動で使うとき

エンジンスイッチの位置に関係なく次のように点灯、消灯します。



スイッチの位置	点灯	点灯
ヘッドライト	—	点灯
車幅灯・尾灯 番号灯	点灯	点灯

ライト類が点灯すると、メーター内の表示灯が点灯します。

ライト点灯表示灯 →84ページ

知識

- エンジンが止まっている状態で、ライト類を点灯したままにしないでください。バッテリーあがりの原因となります。

●ライト消し忘れ警告ブザー

エンジンスイッチからキーを抜いて、ライトを点灯したまま車を離れようとしたとき(運転席ドアを開けたとき)、ブザーが鳴りライトの消し忘れを知らせます。

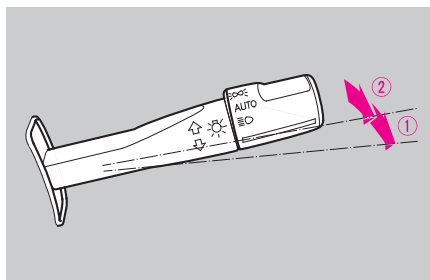
●ヘッドライトの上向き(ハイビーム)と下向き(ロービーム)の切り換え

レバーを①の位置まで引くと上向き下向きの切り換えができます。上向きのときは、メーター内の表示灯が点灯します。

ヘッドライトの上向き(ハイビーム)

表示灯

→84ページ



知識

- 対向車のあるときや市街地走行など、上向きが不適切なときは下向きにします。

●追越合図(パッシング)

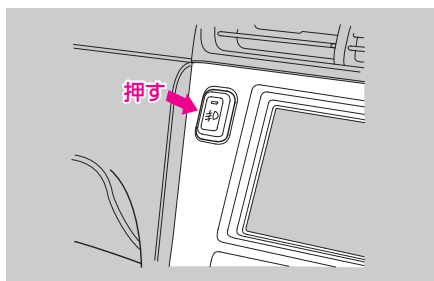
レバーを軽く②の位置まで引いている間、上向きが点灯します。

ライトスイッチの位置に関係なく使えます。

フォグライトスイッチ

ライトスイッチが“OFF”以外のときスイッチを押すとフォグライトが点灯します。ライトスイッチが“AUTO”のときは、車幅灯やヘッドライトが点灯している間のみ点灯します。同時にスイッチ内の表示灯が点灯します。もう一度押すと消灯します。

ナビゲーションシステム装備車

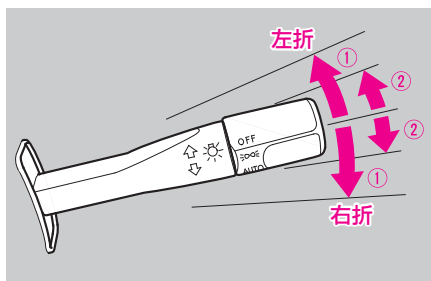


ナビゲーションシステム非装備車



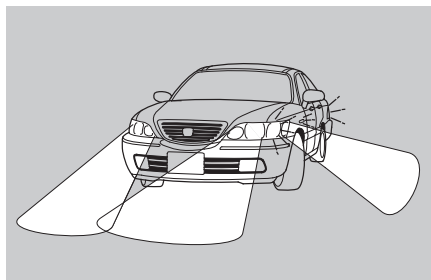
方向指示器(ウィンカー)スイッチ

エンジンスイッチが“II”のとき使えます。ふだんは①の位置で使います。この位置ではハンドルの切り角が小さいときには戻らない場合もあります。戻らないときは手で戻してください。車線変更などでは②の位置に軽く手で押さえながら使います。



●コーナリングライト

エンジンスイッチが“II”でヘッドライトが点灯しているときに作動します。方向指示器が点滅している方向の横前方を照らします。方向指示器が戻ると消灯します。



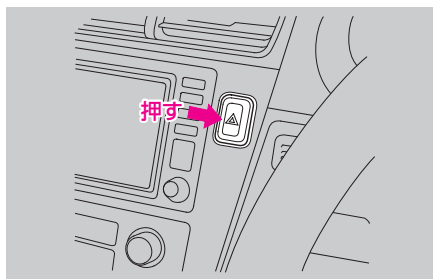


非常点滅表示灯(ハザード)スイッチ

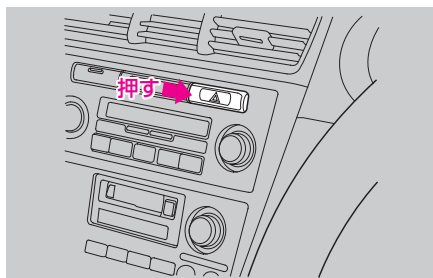
スイッチを押すとすべての方向指示器のランプが点滅します。

故障でやむをえず路上駐車するとき使います。

ナビゲーションシステム装備車



ナビゲーションシステム非装備車



知 識

- 非常時にのみお使いください。
完全充電の新しいバッテリーでも約2時間以上使うとバッテリー容量が低下し、エンジンの始動ができなくなります。

ワイパー／ウォッシャー スイッチ

⚠ 注意

- 寒冷時はフロントガラスが暖まるまでウォッシャー液を噴射しないでください。
ウォッシャー液が凍りついて視界のさまたげとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

🎓 知識

- 空ぶきをしないでください。ガラス面に傷をつけたり、ブレード(ゴム部)を傷めたりします。
- ウォッシャー液が出ないときはウォッシャースイッチを切ってください。
ウォッシャー液がないまま動かすとポンプの故障の原因となります。
- 寒冷時、ブレード(ゴム部)がガラス面に張りつくことがありますのでヒーターでフロントガラスを暖めてください。
凍りついたまま動かすとブレード(ゴム部)を傷めたり、ワイパーモーターの故障の原因となります。
デフロスター → 164、170ページ

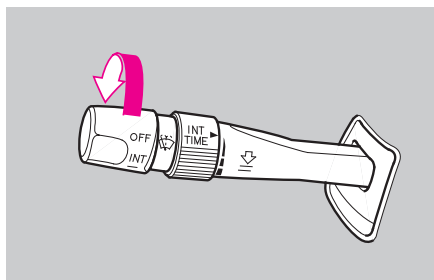
🎓 知識

- ワイパーを作動中にガラスに雪などがたまりワイパーが停止したときは、安全な場所に停車してワイパースイッチを“OFF”、エンジンスイッチを“0”または“1”にしてワイパーが作動できるように雪などの障害物を取り除いてください。
- ワイパーモーターには、保護機能としてブレーカーを内蔵しています。
モーターの負荷が大きい状態が続いたときなどには、ブレーカーが作動し、一時的にモーターが止まることがあります。
数分ほどすると、ブレーカーが復帰して通常通り使用できるようになります。

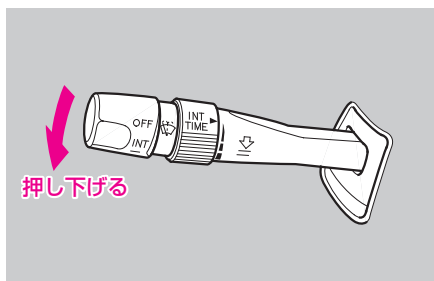


エンジンスイッチが“II”のとき使えます。

ワイパースイッチ



OFF 停止
 INT(間欠) 雨量の少ないとき
 - (低速) 普通雨量のとき
 = (高速) 雨量の多いとき



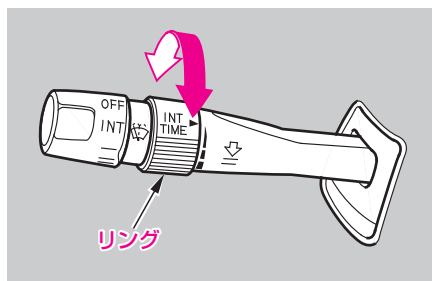
レバーを押し下げている間、高速で作動します。
 霧や小雨のときなどに使うと便利です。

間欠時間の調節

ワイパーの間欠作動の間隔を調節できます。



間隔のセットはリングを回して行います。

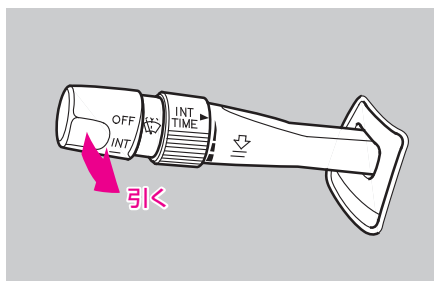


知識

- 間欠作動中は、車速が速くなると間隔が停止時より約4秒短くなります。
 また、発進時にワイパーが1回作動します。
- リングを間欠時間の短い方へいっぱい回しているときに、車速が速くなるとワイパーが間欠から低速作動になります。

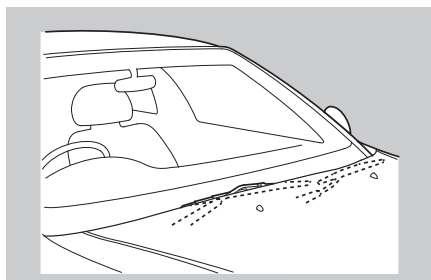
ウォッシャースイッチ

レバーを手前に引くとウォッシャー液が噴射します。レバーを引いている間はワイパーが作動し、レバーを離した後さらに2～3回作動します。



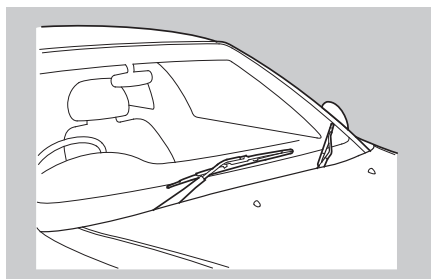
●ワイパーアームの停止位置について

・通常格納位置



・降雪時の停止位置

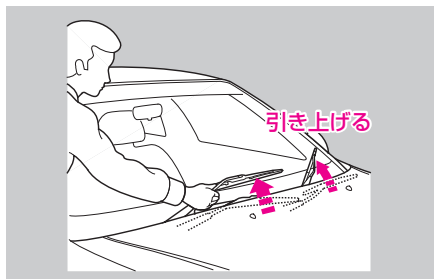
積雪などによりワイパーブレードが凍結するおそれがある場合は、ワイパーアームを通常格納位置にせず、あらかじめ降雪時の停止位置で止めておくようにしてください。





ワイパーアーム停止位置の切り換え

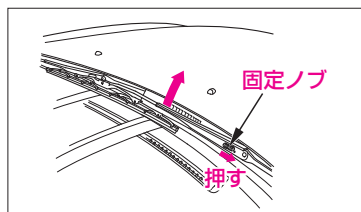
降雪時の停止位置への切り換えは、ワイパーアームの根元近くを持って、ガラスに沿って引き上げてください。



通常位置に戻したい場合は、同じようにしてガラスに沿って押し下げてください。

知 識

- 降雪時、通常格納位置で使っているときに、ワイパーブレードの下部にたまった雪によって“降雪時の停止位置”に切り換わることがあります。
- ワイパーブレードを交換するときは、ワイパーアームを降雪時の位置に引き上げてから、手前に引き上げ固定ノブを押して前面ガラスより浮かせた状態で固定し、行います。



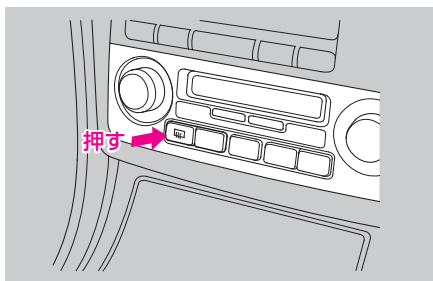
リヤデフロスタースイッチ

リヤガラスを暖め、曇りを取ることができます。

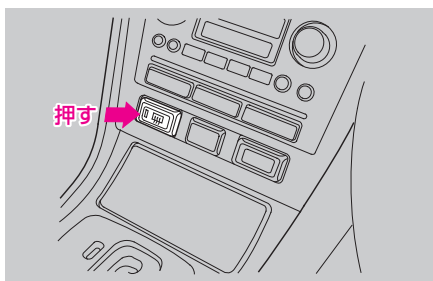


エンジンスイッチが“II”のときスイッチを押すと“ON”になり、同時に作動表示灯が点灯します。もう一度スイッチを押すと“OFF”になり、作動表示灯は消灯します。

ナビゲーションシステム装備車



ナビゲーションシステム非装備車



知識

- この装置は消費電力が大きいので曇りが取れたら“OFF”にしてください。“ON”のままであっても、約25分経過後自動的に“OFF”になります。また、エンジンの回転が低いとき長時間使わないでください。バッテリー容量が低下し、エンジン始動に影響することがあります。
- リヤガラスの内側に電熱線が装着されています。電熱線は傷つきやすいので清掃のときは電熱線に沿ってやわらかい布でふいてください。また、手荷物などで傷つけないようにしてください。

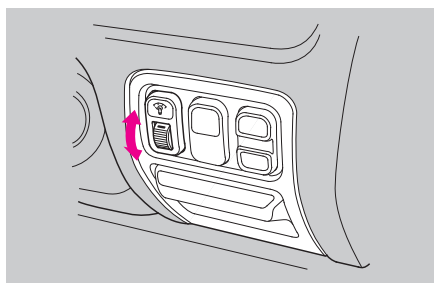


イルミネーション コントロール

メーター照明の明るさが調節できます。



ダイヤルを回して明るさを調節します。
車外の明るさに応じて調節してください。

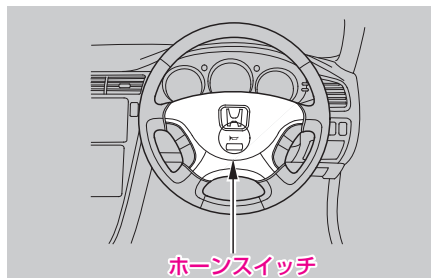


知 識

- ダイヤルを上側いっぱい回すと、
ライト点灯時の減光がキャンセル
されます。

ホーンスイッチ

ハンドルのパッドを押すとホーンが鳴ります。



運転のしかた

エンジンのかけかた

⚠ 警告

- バッテリー液が不足しているときは、エンジンの始動をしないでください。
バッテリーが破裂するおそれがあります。
- 車庫や屋内などの換気の悪いところでは、エンジンをかけたままにしないでください。
車内や屋内などに排気ガスが充満し、一酸化炭素中毒のおそれがあります。

⚠ 注意

- エンジンを始動するときは、ブレーキペダルをしっかりと踏んでください。

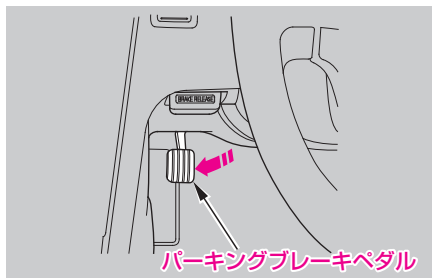
🚗 アドバイス

- 排気音が変わったり、車内でガソリンや排気ガスのにおいが消えない場合は、排気系や燃料系の異常が考えられますので、必ずホンダクリオ店で点検を受けてください。

- ① パーキングブレーキがかかっていることを確認します。

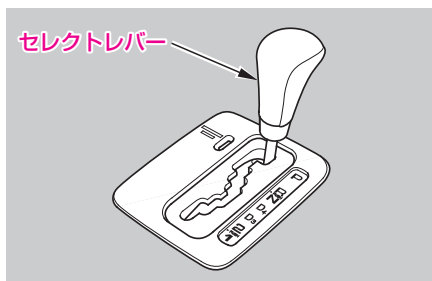
パーキングブレーキの操作

→108ページ



- ② セレクトレバーがPの位置にあることを確認してください。

セレクトレバーの操作 →110ページ





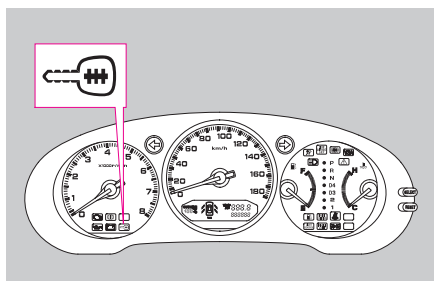
③ブレーキペダルをしっかりと踏みます。

④エンジンスイッチを“II”に回してから、
メーター内のイモビライザーシステム
表示灯が消灯するのを確認します。

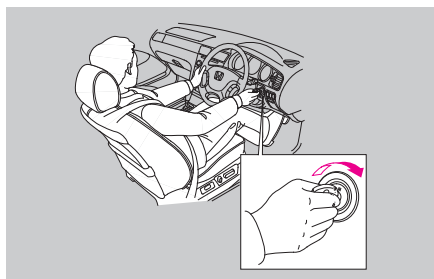
イモビライザーシステム →34ページ

イモビライザーシステム表示灯

→85ページ



⑤アクセルペダルを踏まずに、エンジン
が始動するまでスターターを回してく
ださい。



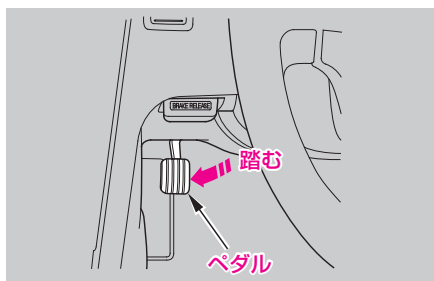
知 識

- 消費電力の大きいライト類、エアコン、リヤデフロスターのスイッチは“OFF”にした方が始動は容易になります。
- バッテリーあがりを防ぐため、スターターは連続して15秒以上回さないでください。15秒回してもエンジンが始動しなかったときは、一度キーを“I”に戻して10秒以上待ってから再始動してください。
- エンジンがあたたまっていると始動に時間がかかることがあります。アクセルペダルを半分程度踏み込んだまま、スターターを回してください。エンジンが始動したらアクセルペダルを徐々に戻してください。
- エンジン始動後は、エンジン制御システムの働きによりエンジン回転が高くなりますが、自動的に適正回転に下がります。

パーキングブレーキ

かけるとき

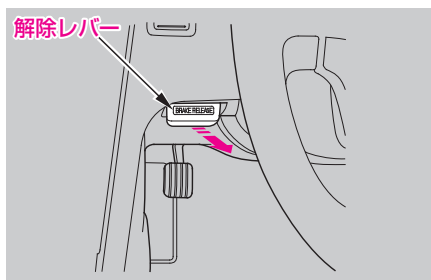
左足でパーキングブレーキペダルをいっぱい踏み込みます。



後輪ブレーキがききます。

解除するとき

解除レバーを引きます。





注意

- パーキングブレーキをかけたまま走行しないでください。
ブレーキが過熱し効きが悪くなるおそれがあります。

知 識

- 駐車するときは、車が動き出さないように必ずパーキングブレーキをかけてください。

寒冷時のパーキングブレーキの取り扱い →274ページ

セレクトレバーの操作

●それぞれの位置のはたらき



パーキング

駐車およびエンジンを始動する位置。
キーを抜く位置。



知 識

- セレクトレバーが回以外のときは、エンジンスイッチが“0”まで回らないので、キーを抜くことができません。



リバース

車を後退(バック)させる位置。
チャイムが鳴り、セレクトレバーがRに入っていることを運転者に知らせます。



ニュートラル

中立位置。
(エンジン始動できますが、安全のためRで行ってください。)



ドライブ

通常の走行をする位置。
(1速から4速まで自動的に変速されます。)



上り坂、下り坂に使う位置。
(1速から3速まで自動的に変速されます。)



セカンド

エンジンブレーキが必要なときや、雪道などの滑りやすい路面での発進に使う位置。
(2速のままで変速されません。)

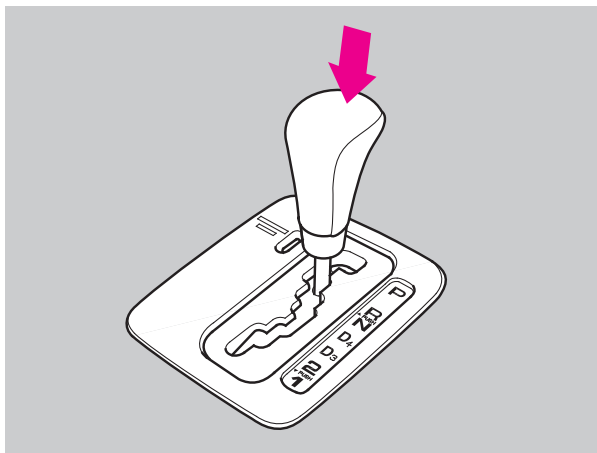
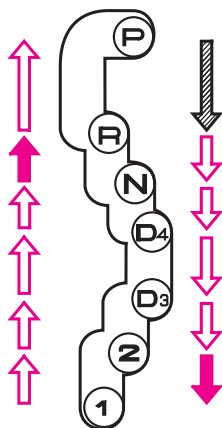


□一

強力なエンジンブレーキが必要なときに使う位置。
(1速のままで変速されません。)



●セレクトレバーの動かしかた



ブレーキペダルを踏んだまま、レバーをゲートにそって操作します。



そのままレバーを操作します。



レバーを下に押しながらレバーを操作します。

知 識

- セレクトレバーの操作は誤操作防止のため各位置ごとに節度をつけ、確実に行ってください。
- のときは、レバーを助手席側に動かしたままブレーキペダルを踏んだ場合、レバーの操作ができないことがあります。先にブレーキペダルを踏んでください。
- エンジンスイッチが“1”または“0”のときは、ブレーキペダルを踏んでもから他の位置に切り換えられません。
- いつもレバーを下に押して操作すると意に反してに入れてしまうおそれがあります。

 の操作は、レバーを下に押さずに動かす習慣をつけてください。

●速度範囲

エンジンを過回転させないために、下表の各セレクトレバー位置での速度範囲内で切り換えを行ってください。

セレクトレバーの位置	速 度 範 囲	変 速 範 囲
D ₄	0 km/h～	1 ↔ 2 ↔ 3 ↔ 4 速
D ₃	0 km/h～	1 ↔ 2 ↔ 3 速
2	0 ～100km/h	2 速固定
1	0 ～60km/h	1 速固定*

*：急激なエンジンブレーキによるショックを避けるため45km/h以上で1へ切り換えた場合は、一旦2速に入ります。



⚠ 注意

- 滑りやすい路面では、急激なエンジンブレーキがタイヤのスリップを招くことがあります。
シフトダウンする際の车速には、十分注意してください。

🎓 知識

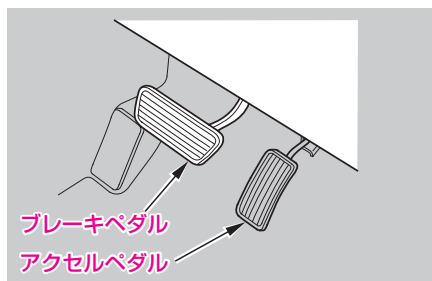
- 法定速度を守って走行してください。
- 1,000km走行するまではエンジンや駆動系の保護のため急発進、急加速を避け控えめな運転をしてください。
- エンジンの回転をあやまって限界回転数以上(レッドゾーン)で運転した場合、エンジン保護装置により、燃料供給が停止されます。そのとき、軽い衝撃を感じる場合がありますが、異常ではありません。

オートマチック車の 運転のしかた

オートマチック車は、クラッチ操作とギヤの切り換えを自動化したもので、その分、操作の負担が軽くなり、運転が楽になりますが、運転の基本を十分理解し、正しく操作する習慣をつけてください。

エンジンをかける前に

正しい運転姿勢をとり、右足でアクセルペダルとブレーキペダルが確実に踏めるか確認します。



知 識

- ペダルの踏みまちがいを防ぐため、ペダルの位置を実際に踏んでみて足におぼえさせておくことが重要です。
また、不慣れな左足では、適切なブレーキ操作ができません。
- 車を少し移動させるときにもペダルが確実に踏めるように、正しい運転姿勢をとりましょう。



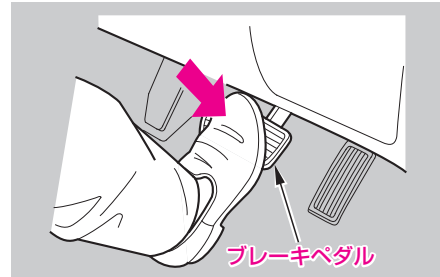
エンジン始動

- ① パーキングブレーキがかかっていることを確認。
- ② セレクトレバーがPに入っていることを確認。

知識

- 図でも始動できますが、安全のため駆動輪が固定されるPで行ってください。

- ③ ブレーキペダルを右足で踏んで始動。

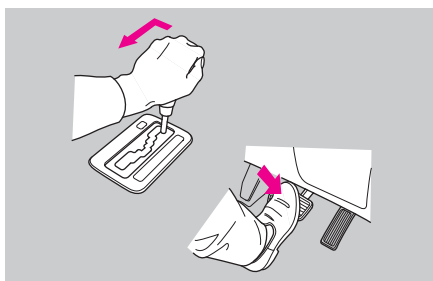


知識

- イモビライザーシステム表示灯が点滅しているときはエンジンを始動することができません。
イモビライザーシステム
→34ページ
イモビライザーシステム表示灯
→85ページ
- 始動時にアクセルペダル操作が必要な場合は、始動後、右足でブレーキペダルを踏んでください。

発進

- ①右足でブレーキペダルを踏んだまま、セレクトレバーを前進はD(またはD_L)、後退はRに入れる。



⚠ 注意

- アクセルペダルを踏んだまま、セレクトレバーを操作しないでください。急発進して思わぬ事故の原因になります。

- ②レバーの位置を目で再確認。
③パーキングブレーキを解除する。
④ブレーキ警告灯が消灯したことを確認。
(→88ページ)
⑤ブレーキペダルを徐々に離して、アクセルペダルをゆっくりと踏む。

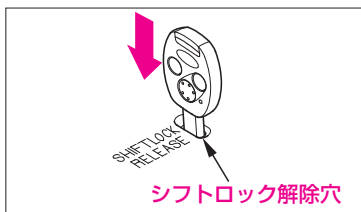
🎓 知識

- セレクトレバーをR/D以外に入れると、クリープ現象により、アクセルペダルを踏まなくても車が動き出します。ブレーキペダルを踏んでいてください。
- エンジン始動直後は、自動的にエンジンの回転が上がり、クリープ現象が強くなりますので、ブレーキペダルはしっかり踏んでいてください。
- セレクトレバーを助手席側に動かしたままブレーキペダルを踏んだ場合、レバーの操作ができないことがあります。先にブレーキペダルを踏んでください。
- マニュアル車は、発進時の速度を、クラッチ操作とアクセル操作を併用して調節しますが、オートマチック車は、アクセル操作のみで行うので、アクセル操作は慎重に行ってください。



知 識

- 万一、ブレーキペダルを踏んでも回から他の位置に切り換えられないときは、エンジンスイッチからキーを抜き、シフトロック解除穴にキーを差し込み、押しながらレバーを操作してください。



急な坂道での発進

セレクトレバーの位置を目で確認し、

- ・ パーキングブレーキをかけたままブレーキペダルを離し、
- ・ アクセルペダルをゆっくり踏んで、
- ・ 車が動き出す感触を確認しながら、
- ・ パーキングブレーキを解除して発進。

走行

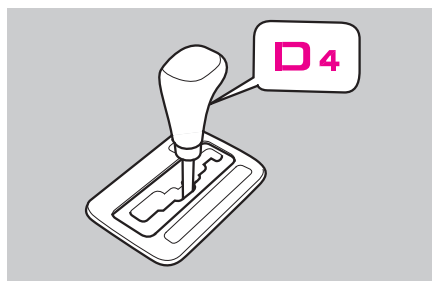
走行中はセレクトレバーをNにしないでください。

知 識

- Nにするとエンジンブレーキが全くきかなくなるため思わぬ事故の原因になります。
またNにしても燃費の差はほとんどありません。

通常走行

セレクトレバーをDにして走行します。アクセルペダルの踏み加減と走行速度により、1速から4速まで自動的に変速されます。



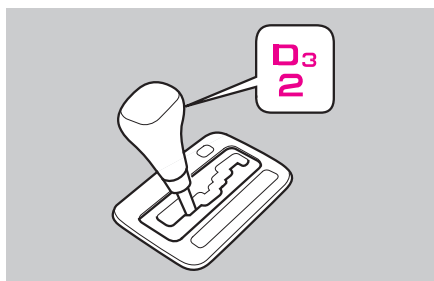


急加速したいとき

アクセルペダルをいっばいに踏み込むと、キックダウンして急加速します。

上り坂走行

坂の勾配に応じ、セレクトレバーをⅧまたはⅡにしておく、エンジン回転数の変化が少ない、なめらかな走行ができます。



下り坂走行

下り坂をⅧのまま走行すると、エンジンブレーキのききが弱く、速度が出すぎてしまうことがあります。このようなときには、セレクトレバーをⅧまたはⅡにします。さらに強力なエンジンブレーキが必要なときには、Ⅰにします。

⚠ 注意

- フットブレーキを使いすぎると、ブレーキが過熱してききが悪くなるおそれがあります。長い下り坂や急な下り坂では、必ずエンジンブレーキを併用してください。

エンジンブレーキ →18ページ

停車

- ① のままブレーキペダルをしっかりと踏んでおく。
必要に応じてパーキングブレーキをかける。



アドバイス

- アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏んだり、上り坂で  以外に入れた状態で、アクセルをふかしながら車を停止させたりしないでください。
トランスミッションが過熱し、故障の原因となります。



知識

- 急な上り坂での停車はクリープ現象で前へ進もうとする力よりも車が後退しようとする力の方が大きくなり、車が後退することがあります。ブレーキペダルを踏み、パーキングブレーキをかけてください。
- セレクトレバーが  以外でエアコンスイッチが入っている場合などは、エンジン回転数が断続的に高くなりクリープ現象が強まります。ブレーキペダルを特にしっかりと踏み込んでください。

- ② 停車時間が長くなるときはセレクトレバーを  に入れる。

⚠ 注意

- 停車中、空ぶかしをしないでください。
万一、セレクトレバーが   以外
のとき、思わぬ急発進の原因になります。



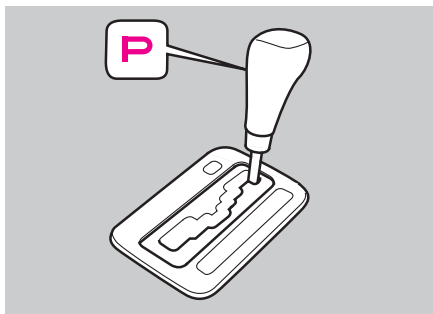
知識

- 停車後、再発進するときは、思い違いのないようセレクトレバーが  にあることを確認してください。
- セレクトレバーが  でもエンジンが冷えているときは、トランスミッションオイルの粘性により車がわずかに動き出すことがありますので、ブレーキペダルをしっかりと踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。



駐車

- ①車を完全に止める。
- ②ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキをかける。
- ③セレクトレバーをPに入れる。



知識

- 駐車の際は、セレクトレバーが必ずPに入っていることを確認してください。セレクトレバーがPのときは、駆動輪が固定されるため、車が動き出す心配がなく安全です。

- ④エンジンを止める。

注意

- エンジンをかけたままにしておくと、万一、セレクトレバーがP以外に入っていたとき、クリープ現象で車がひとりでに動き出したり、乗り込むときに誤ってアクセルペダルを踏み急発進するおそれがあります。

アドバイス

- 車が完全に止まらないうちにPに入れないでください。トランスミッション破損の原因となります。

知識

- 環境保護のため駐車時にはエンジンを止めましょう。

ほかに気をつけたいこと

⚠ 注意

- セレクトレバーは正しい位置で使用してください。
坂道などで、前進(D₄、D₃、2)の位置にしたまま惰性で後退したり、後退(R)の位置にしたまま前進したりすると、エンジンが停止してブレーキの効きが悪くなったり、ハンドル操作が重くなり、思わぬ事故の原因となるおそれがあります。

車を少し移動させるとき

このような場合でも、正しい運転姿勢をとり、ブレーキペダルとアクセルペダルが確実に踏めるようにしてください。

車を後退させるとき

この場合、体をうしろにひねった姿勢になり、ペダルの操作がしにくくなります。ブレーキペダルは確実に踏めるよう注意してください。



クルーズコントロール

高速道路または加速、減速の繰り返しの少ない自動車道などを定速で運転するとき、アクセルペダルを踏まなくても車速を一定に保つ装置です。

車速は、 または のとき約30～100km/hの範囲で希望値に設定できます。また、アクセルペダルを踏まずに車速を上げ下げしたり、一時的な減速後、もとの車速に自動的に戻すことができます。

⚠ 警告

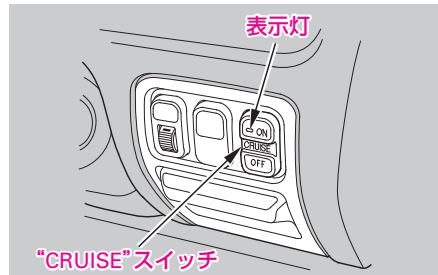
- クルーズコントロールはつぎのような道路では使用しないでください。
道路状況によっては、思わぬ事故につながります。
 - ・混んでいて車間距離が十分とれない道路、急カーブのある道路（道路状況にあった速度で走行できません。）
 - ・急な下り坂のある道路（エンジンブレーキが十分効かず、セットした速度を超えてしまうことがあります。）
 - ・凍結や積雪などで滑りやすい道路（タイヤが空転し、車のコントロールを失うおそれがあります。）

🏠 知識

- 上り坂や下り坂では、条件により、一定車速を保てない場合があります。

●希望車速をセットし、定速走行をしたいときの操作

- ①“CRUISE”（クルーズ）スイッチの“ON”側を押して、クルーズコントロールを“ON”にします。
“ON”のとき表示灯が点灯します。
“OFF”側を押すと“OFF”になります。



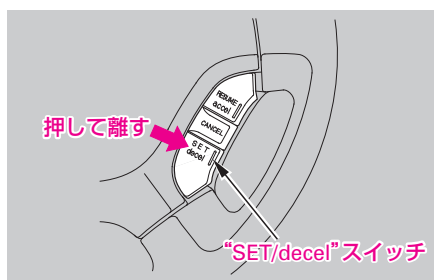
エンジンスイッチを“1”または“0”にすると“CRUISE”スイッチは自動的に“OFF”になります。
クルーズコントロールを使うときは、“CRUISE”スイッチの“ON”側を押して“ON”にしてください。

- ②アクセルペダルを加減して希望の車速になったら“SET/decel”スイッチを押して離すと、離れたときの車速にセットできます。

車速がセットされ自動定速走行になると、メーター内の表示灯が点灯します。

クルーズコントロール作動表示灯

→85ページ



知識

- 自動定速走行をしないときは、安全のため“CRUISE”スイッチの“OFF”側を押して“OFF”にしておいてください。

●設定車速を上げたいときの操作 (自動定速走行中)

“RESUME/accel”スイッチによるとき

“RESUME/accel”スイッチを押し続けると加速します。希望車速になったときスイッチを離すと、離れたときの車速にセットされます。



アクセルペダルによるとき

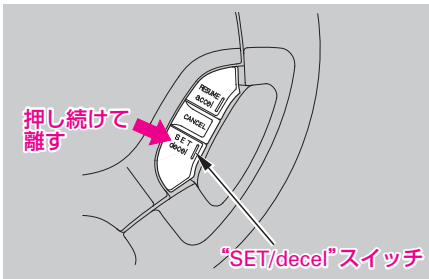
アクセルペダルで加速し希望車速になったとき“SET/decel”スイッチを一度押し離すと、離れたときの車速にセットされます。



●設定車速を下げたいときの操作 (自動定速走行中)

“SET/decel”スイッチによるとき

“SET/decel”スイッチを押し続けると減速します。希望車速になったときスイッチを離すと、離れたときの車速にセットされます。



ブレーキペダルによるとき

ブレーキペダルを踏んで希望車速に減速し、ブレーキペダルから足を離してから“SET/decel”スイッチを押して離すと、離れたときの車速にセットされます。

●一時的に加速したいときの操作 (自動定速走行中)

アクセルペダルを踏み込むと車速が上がります。

アクセルペダルを離すともとの設定車速に戻り、定速走行ができます。

●設定車速を少し上げたいときの操作 (自動定速走行中)

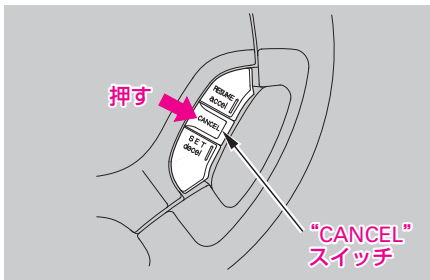
“RESUME/accel”スイッチを瞬間的に(約0.5秒間)押して離します。そのとき車速に対して約1.5km/h増速します。スイッチを押した回数だけ増速します。(例：3回押す→約4.5km/h増速します。)

●設定車速を少し下げたいときの操作 (自動定速走行中)

“SET/decel”スイッチを瞬間的に(約0.5秒間)押して離します。そのとき車速に対して約1.5km/h減速します。スイッチを押した回数だけ減速します。(例：4回押す→約6.0km/h減速します。)

●自動定速走行状態を解除したいとき

“CANCEL”（キャンセル）スイッチを押してください。



次の場合にも解除されます。

- ①ブレーキペダルを踏んだとき
- ②セレクトレバーを□または囧にしたとき
- ③車速が30km/h以下に下がったとき
- ④“CRUISE”スイッチを“OFF”にしたとき

●解除前の設定車速に戻りたいとき

“CANCEL”（キャンセル）スイッチを押すか、前記①、②いずれかの操作で解除されても車速が約30km/h以上になっている場合は、“RESUME/acccl”スイッチを押して離すと、もとの設定車速まで戻り自動定速走行ができます。

* RESUME（リジューム）とは英語で“回復する、復帰する”という意味です。

知 識

- “SET/decel”または“RESUME/acccl”スイッチを押しながら前記①、②いずれかの操作をしたときは“RESUME/acccl”スイッチでの車速の復帰はできません。

3

安全装備

●SRSエアバッグシステム

SRSエアバッグシステムの

- しくみ 128
- 作動するとき 130
- 作動しないとき 131

SRSエアバッグシステムの

- 効果を十分に発揮させる
ために 132
- お子さまを乗せるときは 133
- 取り扱いについて 134

●サイドエアバッグシステム

サイドエアバッグシステムの

- しくみ 136
- 作動するとき 138
- 作動しないとき 139

サイドエアバッグシステムの

- 効果を十分に発揮させる
ために 140
- 乗員姿勢検知システム 142
- お子さまを乗せるときは 143
- 取り扱いについて 144

●シートベルトプリテンショナー

シートベルトプリテンショナーの

- しくみ 146
- 取り扱いについて 147

●アンチロックブレーキシステム(ABS)

- ABSのしくみ 148
- 運転のしかた 148
- 取り扱いについて 149

●ビークルスタビリティアシスト(VSA)

- VSAのしくみ 150
- 運転のしかた 151
- 取り扱いについて 152

●その他の安全装備 154

SRSエアバッグシステム

(運転席／助手席用シートベルト補助乗員保護装置)

SRSエアバッグシステムのしくみ

●SRSエアバッグシステムとは

前方向からの衝突により、SRSエアバッグが膨らんで運転者および助手席同乗者の顔面への衝撃を緩和する装置です。

SRSエアバッグシステムはシートベルトに代わるものではありません。
必ず、シートベルトを着用してください。

警告

- SRSエアバッグシステム装備車であっても、必ずシートベルトを着用してください。
シートベルトを正しく着用し、正しい乗車姿勢をとらないと衝突などのときSRSエアバッグの効果が十分に発揮されず、重大な傷害や死亡などの危険性が高くなります。

*SRS：サプリメンタルレストRAINTシステム(Supplemental Restraint System)の略でシートベルトの補助拘束装置の意味

●どのように作動するか

エンジンスイッチが“II”のとき、前方向からの衝突により、センサーが一定以上の衝撃(正しくシートベルトを着用していてもハンドルに顔面があたり、けがをするような場合)を検知するとシステムが作動し、SRSエアバッグが膨らんで運転者および助手席同乗者の顔面への衝撃を緩和します。

また、衝突状況とシートベルト着用の状況により、運転席側と助手席側のSRSエアバッグとシートベルトプリテンショナーの作動を独立制御します。

そのため、シートベルトプリテンショナーのみ作動したり、運転席または助手席のSRSエアバッグが片側のみ作動することがあります。

注意

- SRSエアバッグが膨らんだ直後は、SRSエアバッグ構成部品に触れないでください。
構成部品が熱くなっているため、やけどなど思わぬけがをすることがあります。



知 識

- 車体が衝撃を十分に吸収できた場合、システムは作動しません。
- SRSエアバッグは非常に速い速度で膨らむため、SRSエアバッグとの接触によりすり傷、やけど、打撲などを受けることがあります。
- 膨らんだSRSエアバッグはすぐにしぼみます。視界をさまたげません。
- SRSエアバッグが膨らむと白煙が出ますが、火災ではありません。また、人体への影響もありません。ただし、残留物(カスなど)が目や皮膚などに付着したときには、できるだけ早く水で洗い流してください。
皮膚の弱いかたなどは、まれに皮膚を刺激することがあります。
- SRSエアバッグは一度膨らむと再使用できません。
ホンダクリオ店で交換してください。

運転席用SRSエアバッグシステム

作動時



作動後



助手席用SRSエアバッグシステム

助手席用SRSエアバッグシステムは、同乗者がいなくても作動します。

作動時



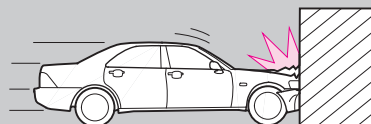
作動後



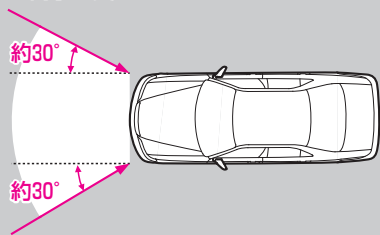
作動するとき

次のような場合に作動します。

20～30km/h以上の速度で、きわめて厚い固定されたコンクリートの壁に真正面から衝突したときと同等か、それ以上の衝撃を受けたとき



車両の前方左右約30度以内の方向から強い衝撃を受けたとき

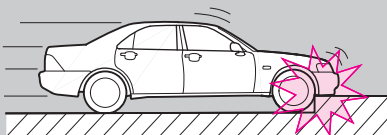


知 識

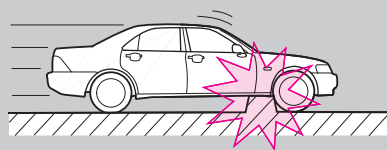
- 衝撃を吸収できるもの(車やガードレールのように変形するもの)に衝突した場合、SRSエアバッグが作動するときの速度(車速)は高くなります。

次のような場合、車両下部に強い衝撃を受けたとき作動することがあります。車両に衝撃を受けないように十分に速度を落とし障害物をさけて走行してください。

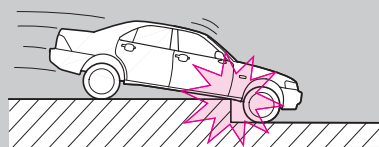
縁石などに衝突したとき



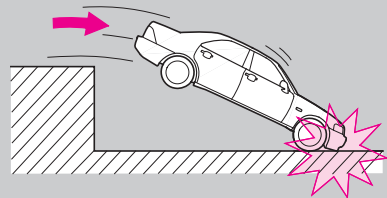
突起物などに衝突したとき



深い穴や溝などに落ちたとき



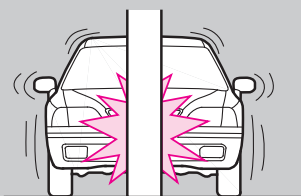
高いところから落ちたとき



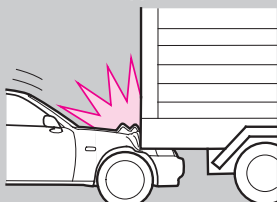


衝突の位置、衝撃の度合い、角度によって、作動しないことがあります。

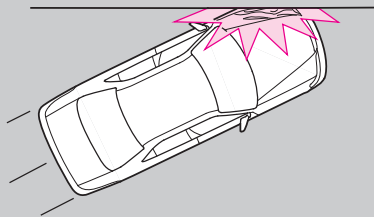
電柱、立木などへの衝突



トラックなどへの潜り込み



部分的な衝突や斜め方向からの衝突



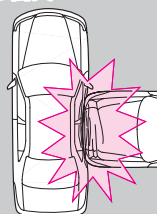
知 識

- 車体の部位によって衝撃の吸収度合いが異なりますので、損傷状態の大小とSRSエアバッグの作動は必ずしも一致しません。

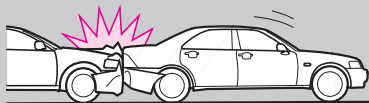
作動しないとき

シートベルトだけで乗員を保護できるような低い速度での衝突や次のような場合、乗員保護の効果がないので作動しません。

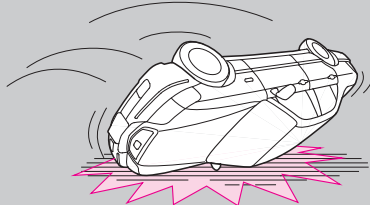
横方向からの衝突



後部からの衝突



横転または転覆



知 識

- 事故の状況、形態によっては、SRSエアバッグが作動することがあります。

SRSエアバッグシステムの効果を十分に発揮させるために

●正しい乗車姿勢で

運転席

正しい運転姿勢（シートに深く腰かけた状態で、背もたれから背を離すことなくペダルを十分に踏み込み、ハンドルが楽に操作できる状態）がとれる範囲で、シートを後ろに下げます。



⚠ 警告

- ハンドルに顔や胸などを近づけていると、SRSエアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受け、重大な傷害を受けるおそれがあります。

助手席

シートを後ろに下げて深く腰かけ、背中を背もたれから離さないようにします。



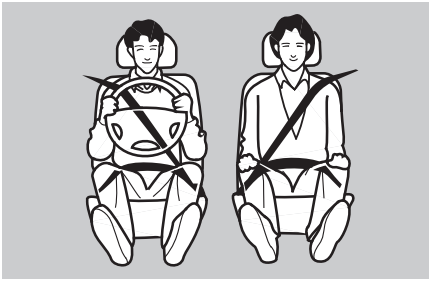
⚠ 警告

- インストルメントパネルに顔や胸などが近づかないようにシートを後ろに下げてください。また、インストルメントパネルに手や足などを置かないでください。
- SRSエアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受け、重大な傷害を受けるおそれがあります。**



●シートベルトは必ず着用

このシステムは、シートベルトと併用することでその効果を発揮します。必ず、シートベルトを着用してください。



お子さまを乗せるときは

お子さまは、後席に乗せ必ずシートベルトを着用させてください。

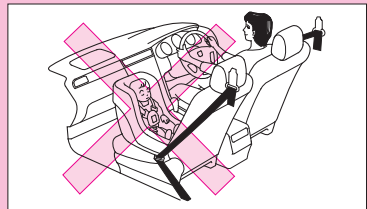
正しく着用できない小さなお子さまは、体格に合わせてチャイルドシートをお使いください。

●チャイルドシートの取り付けについて

⚠ 警告

- 助手席には乳児用シートを取り付けしないでください。また、幼児用シートを後ろ向きに取り付けしないでください。SRSエアバッグが膨らむ際、乳児用シートや、幼児用シートの背面に強い衝撃を受け、重大な傷害を受けたり、死亡するおそれがあります。

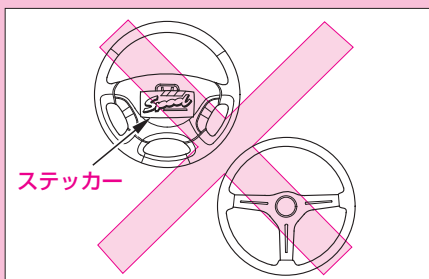
また、やむをえず幼児用シートを前向きに取り付ける場合は、SRSエアバッグから遠ざけるため、シートを一番後ろに下げてください。



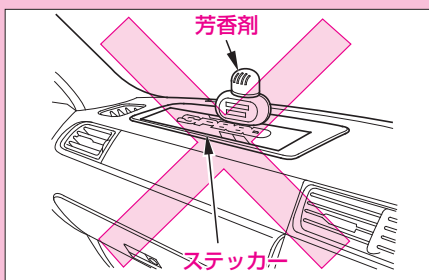
取り扱いについて

⚠ 注意

- SRSエアバッグの取り外し、分解などはしないでください。
不適切に扱うと誤って作動したり、正常に機能しなくなります。
- ハンドルを交換したり、パッドにステッカー類を貼ったりすると正常に機能しなくなります。



- インストルメントパネル上面にステッカー類を貼ったり、アクセサリや芳香剤など物を置かないでください。
フロントガラスにアクセサリなどを取り付けたり、ルームミラーにワイドミラーを取り付けたりしないでください。
また、SRSエアバッグと乗員との間にテレビなどの用品を取り付けたり、物を置いたりしないでください。
正常に機能しなくなったり、作動時にこれらの物が飛ぶことがあります。



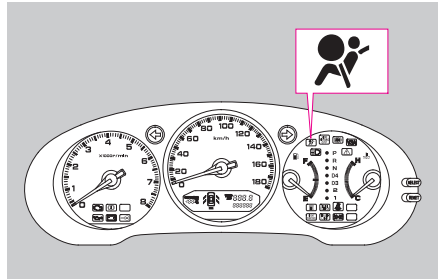


知 識

- ハンドルまわり、インストルメントパネルまわりやセンターコンソール付近の修理、オーディオ等用品の取り付けおよびダッシュボード周辺の板金塗装および修理をする場合は、**SRSエアバッグシステム**に影響を及ぼすおそれがありますので、必ずホンダクリオ店にご相談ください。
- **SRSエアバッグシステム**装備車を廃棄するときは必ずホンダクリオ店にご相談ください。正しく取り扱わないと**SRSエアバッグシステム**が思いがけなく作動することがあります。
- サスペンションの改造をしないでください。車高やサスペンションの硬さが変わると**SRSエアバッグ**の誤作動につながります。
(Honda純正品を除く)

●SRSエアバッグシステム警告灯

メーター内に組み込まれており、**SRS**ユニットがシステムの異常を検出すると点灯します。



エンジンスイッチを“II”にしたときに約6秒間点灯して消えるのが正常です。

アドバイス

- 警告灯が次のような状態になったときは、システムの異常が考えられますので、すみやかにホンダクリオ店で点検を受けてください。
 - ・ 運転中に点灯したとき
 - ・ エンジンスイッチを“II”にしても点灯しないとき、あるいは約6秒経過しても消灯しないとき
必要なときに**SRSエアバッグ**が膨らまないおそれがあります。

サイドエアバッグシステム

サイドエアバッグシステムのしくみ

●サイドエアバッグシステムとは

側面からの衝突により、サイドエアバッグが膨らんで乗員（運転者または助手席同乗者）とドアの間に入り込むことにより、ドアと乗員の胸部などが衝突するときの衝撃を緩和する装置です。

サイドエアバッグシステムはシートベルトに代わるものではありません。必ず、シートベルトを着用してください。

⚠ 警告

- サイドエアバッグシステム装備車であっても、必ずシートベルトを着用してください。
シートベルトを正しく着用し、正しい乗車姿勢をとらないと衝突などのときエアバッグの効果が十分に発揮されず、重大な傷害や死亡などの危険性が高くなります。

●どのように作動するか

エンジンスイッチが“II”のとき、側面からの衝突により、センサーが一定以上の衝撃（胸部に重傷を及ぼすような場合）を感知するとシステムが作動し、衝撃を受けた側のサイドエアバッグが膨らんで乗員（運転者または助手席同乗者）とドアの間に入り込むことにより、ドアと乗員の胸部などが衝突するときの衝撃を緩和します。

助手席側は乗員姿勢検知システムが乗車姿勢を不適切であると判断した場合は、サイドエアバッグの作動を自動停止します。

乗員姿勢検知システム →142ページ

⚠ 注意

- サイドエアバッグが膨らんだ直後は、サイドエアバッグ構成部品に触れないでください。
構成部品が熱くなっているため、やけどなど思わぬけがをすることがあります。



知 識

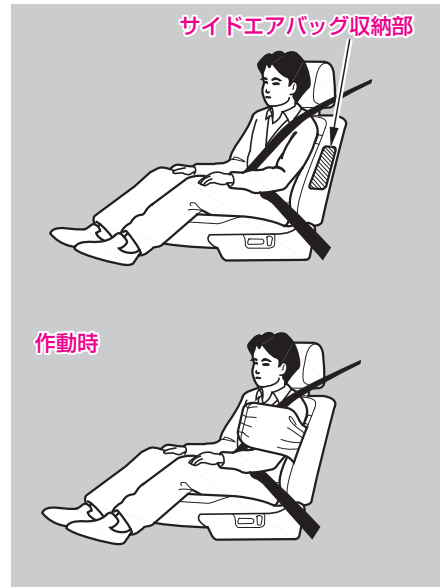
- サイドエアバッグは非常に速い速度で膨らむため、サイドエアバッグとの接触によりすり傷、やけど、打撲などを受けることがあります。
- 膨らんだサイドエアバッグはすぐにしぼみます。
- サイドエアバッグが膨らむと白煙が出ますが、火災ではありません。また、人体への影響もありません。ただし、残留物(カスなど)が目や皮膚などに付着したときには、できるだけ早く水で洗い流してください。
皮膚の弱いかたなどは、まれに皮膚を刺激することがあります。
- サイドエアバッグは一度膨らむと再使用できません。
ホンダクリオ店で交換してください。

運転席サイドエアバッグシステム



助手席サイドエアバッグシステム

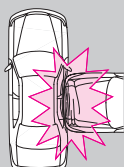
助手席用サイドエアバッグシステムは、同乗者がいなくても作動します。



作動するとき

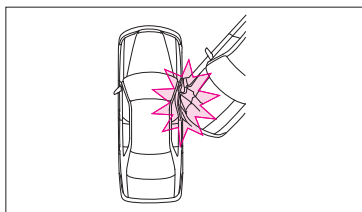
次のような場合に作動します。

約25km/h以上の速度で自車と同等の車が真横から側面衝突したときと同等かそれ以上の衝撃を受けたとき



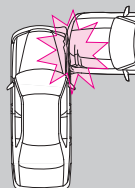
知 識

- 側面に斜め方向から衝突された場合、サイドエアバッグが作動するときの速度(車速)は高くなります。

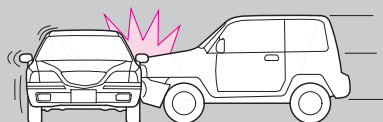


次のような場合、作動しないことがあります。

前席乗員付近以外の側面に衝突されたとき



車高の高い車に側面衝突されたとき



知 識

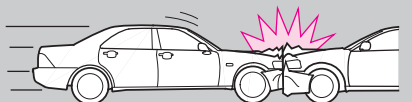
- サイドエアバッグは乗員の受ける衝撃の大きさによって作動するようになっていますので車両の損傷状態の大小とサイドエアバッグの作動は必ずしも一致しません。



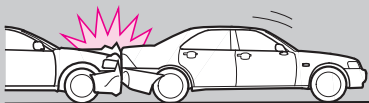
作動しないとき

低い速度での衝突や次のような場合、サイドエアバッグが膨らんでも乗員保護の効果がないので作動しません。

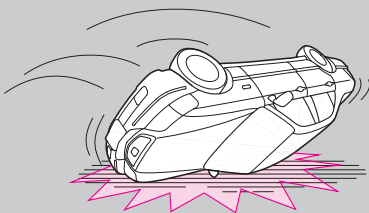
正面衝突



後部からの衝突



横転または転覆



知 識

- 事故の状況、形態によっては、サイドエアバッグが作動することがあります。

助手席側は、乗員姿勢検知システムが乗車姿勢を不適切であると判断した場合は、サイドエアバッグの作動を自動停止します。

乗員姿勢検知システム →142ページ

サイドエアバッグシステムの効果を十分に発揮させるために

●正しい乗車姿勢で

運転席

正しい運転姿勢(シートに深く腰かけた状態で、背もたれから背を離すことなくペダルを十分に踏み込め、ハンドルが楽に操作できる状態)がとれる範囲で、シートを後ろに下げます。



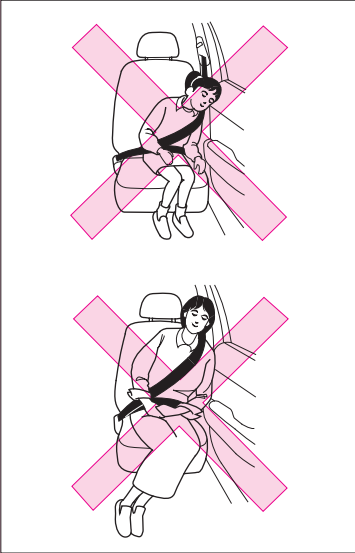
助手席

シートを後ろに下げて深く腰かけ、背中を背もたれから離さないようにします。



**⚠ 注意**

- フロントドアに寄りかからないようにしてください。サイドエアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受け、傷害を受けるおそれがあります。

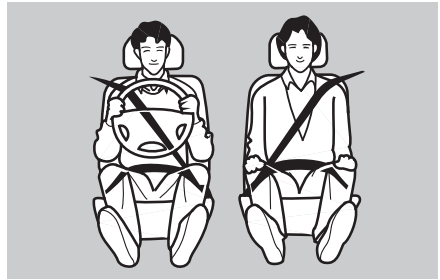


- サイドエアバッグ格納部に手や顔などを必要以上に近づけないでください。また、後席同乗者は前席の背もたれを抱えないでください。サイドエアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受け、傷害を受けるおそれがあります。

●シートベルトは必ず着用

このシステムは、シートベルトと併用することでその効果を発揮します。

必ず、シートベルトを着用してください。



乗員姿勢検知システム(助手席のみ)

●乗員姿勢検知システムとは

乗車時の姿勢が不適切な場合、サイドエアバッグが膨らむことにより重大な傷害を受けるおそれがあるため、助手席乗員の姿勢を検知し、サイドエアバッグの作動を自動的に停止する装置です。



知 識

- シート表皮の裏にセンサーが取り付けられているため、次のような場合には、乗員姿勢検知システムが正常に機能しないおそれがあります。

- ・シートの背もたれがぬれているとき
- ・金属など電気を通す物が接しているとき
- ・シートにクッションなどを装着しているとき
- ・ダウンジャケット等の厚い上着を着ているとき
- ・水分を含んだ物を助手席に置いているとき

●サイドエアバッグの作動を自動停止するとき

次のような場合、サイドエアバッグの作動を自動停止します。このときメーター内のサイドエアバッグ自動停止表示灯が点灯します。



知 識

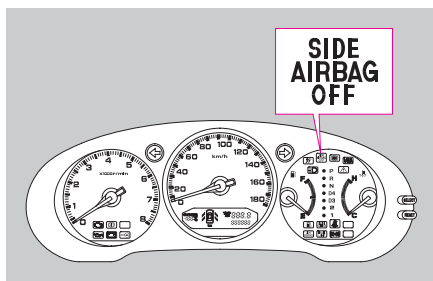
- 次のような場合でも、サイドエアバッグの作動を自動停止することがあります。

- ・小柄な大人の方が上のイラストと同じような姿勢をとったとき
- ・大人の方が前かがみになるまたは、寝そべっていて、ドア側に寄りかかっているとき



●サイドエアバッグ自動停止表示灯

メーター内に組み込まれており、乗員姿勢検知システムが乗車姿勢を不適切であると判断し、サイドエアバッグの作動を自動停止しているときに点灯します。表示灯が点灯したときは、上体を起こして座ってください。また、小さなお子さまの場合は、後席に乗せてください。



エンジンスイッチを“II”にしたときに約5秒間点灯して消えるのが正常です。

🚗 アドバイス

- 表示灯が次のような状態になったときは、乗員姿勢検知システムの異常が考えられますので、すみやかにホンダクリオ店で点検を受けてください。
 - ・正しい乗車姿勢をとっても消灯しないとき、あるいは助手席に乗員がいないのに消灯しないとき
 - ・エンジンスイッチを“II”にしても点灯しないとき、あるいは約5秒経過しても消灯しないとき

🎓 知識

- 次のような場合は、表示灯が点灯することがあります。表示灯が点灯しているときは、サイドエアバッグの作動を自動停止します。
 - ・シートの背もたれがぬれているとき
 - ・金属など電気を通す物が接しているとき
 - ・水分を含んだ物を助手席に置いているとき

お子さまを乗せるときは

お子さまは、後席に乗せ必ずシートベルトを着用させてください。

正しく着用できない小さなお子さまは、体格に合わせてチャイルドシートをお使いください。

取り扱いについて

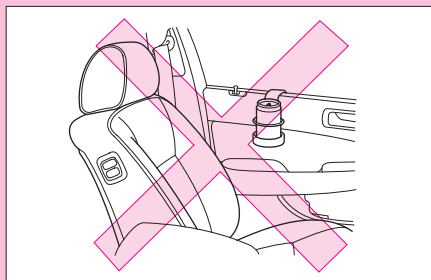
⚠ 注意

- サイドエアバッグの取り外し、分解などはしないでください。不適切に扱うと誤って作動したり、正常に機能しなくなります。

- フロントドアやその周辺にカップホルダーなどの用品を取り付けないでください。

また、フロントシートとドアの間付近に傘などの物を置かないでください。サイドエアバッグはドアに添って膨らむため、正常に機能しなくなったり、作動時にこれらの物がとぶことがあります。

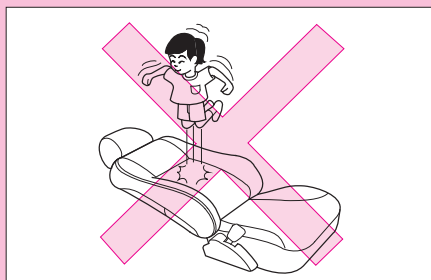
- フロントシートにこの車専用のHonda純正用品(シートカバーなど)以外を取り付けないでください。サイドエアバッグはシートの背もたれ外側に収納されていて、シート表皮のぬい目を破って膨らむため、正常に機能しなくなるおそれがあります。



エアバッグ
収納部
(ドア側)



- フロントシートの背もたれを倒した状態でとびはねるなど、サイドエアバッグ収納部に無理な力を加えないでください。



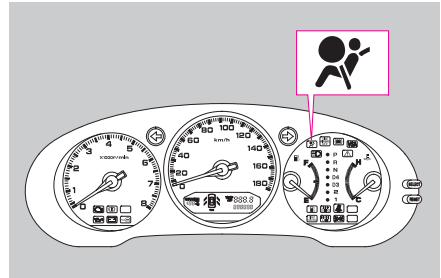


知識

- フロントシートまわり、センターピラーまわりやセンターコンソール付近の修理、オーディオ等用品を取り付ける場合は、サイドエアバッグシステムに影響を及ぼすおそれがありますので、必ずホンダクリオ店にご相談ください。
- サイドエアバッグシステム装備車を廃棄するときは必ずホンダクリオ店にご相談ください。正しく取り扱わないとサイドエアバッグシステムが思いがけなく作動することがあります。

● サイドエアバッグシステム警告灯 (SRSエアバッグシステム 警告灯兼用)

メーター内に組み込まれており、サイドエアバッグユニットがシステムの異常を検出すると点灯します。



エンジンスイッチを“II”にしたときに約6秒間点灯して消えるのが正常です。

アドバイス

- 警告灯が次のような状態になったときは、サイドエアバッグシステムまたは、乗員姿勢検知システムの異常が考えられますので、すみやかにホンダクリオ店で点検を受けてください。
 - ・ 運転中に点灯したとき
 - ・ エンジンスイッチを“II”にしても点灯しないとき、あるいは約6秒経過しても消灯しないとき
 必要なときにサイドエアバッグが膨らまないおそれがあります。

シートベルトプリテンショナー

シートベルトプリテンショナーのしくみ

●シートベルト プリテンショナーとは

前方向からの衝突により、前席シートベルトを瞬間的に引き込み、シートベルトの拘束効果をいっそう高める装置です。

●どのように作動するか

エンジンスイッチが“II”のとき、前方向からの衝突により、センサーが一定以上の衝撃を検知するとシステムが作動し、前席シートベルトを瞬間的に引き込み、シートベルトの拘束効果をいっそう高めます。

また、衝突状況とシートベルト着用の状況により、運転席側と助手席側のエアバッグとシートベルトプリテンショナーの作動を独立制御します。そのため、シートベルトプリテンショナーのみ作動することがあります。

SRSエアバッグシステム →128ページ



⚠ 注意

- シートベルトを着用するときは、必ず次のことをお守りください。守らないとプリテンショナーが十分に効果を発揮しません。

- ・シートベルトを正しく着用してください。

シートベルト →66ページ

- ・正しい運転(乗車)姿勢をとってください。

正しい運転姿勢 →52ページ

🎓 知識

- シートベルトプリテンショナーは一度作動すると、再使用できません。作動すると、シートベルトを引き出すことも巻き取ることもできなくなります。ホンダクリオ店で交換してください。

なお、シートベルトを着用してなくても作動しますので、助手席側も同時に交換してください。



取り扱いについて

⚠ 注意

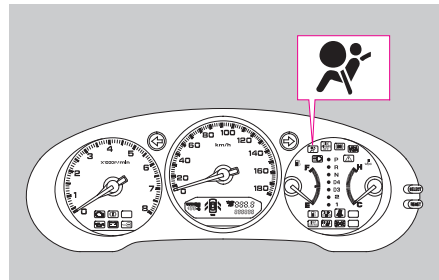
- シートベルト引き込み装置の取り外し、分解などはしないでください。
不適切にあつかうと誤って作動したり、正常に機能しなくなります。

🎓 知識

- シートベルト引き込み装置やセンターコンソール付近の修理、オーディオ等用品の取り付けおよび修理をする場合は、プリテンショナーに影響を及ぼすおそれがありますので、必ずホンダクリオ店にご相談ください。
- シートベルトプリテンショナー装備車を廃棄するときは、必ずホンダクリオ店にご相談ください。正しく取り扱わないとプリテンショナーとSRSエアバッグシステムが思いがけなく作動することがあります。

● シートベルトプリテンショナー警告灯(SRSエアバッグシステム警告灯兼用)

メーター内に組み込まれており、SRSユニットがシステムの異常を検出すると点灯します。



エンジンスイッチを“II”にしたときに約6秒間点灯して消えるのが正常です。

🚗 アドバイス

- 警告灯が次のような状態になったときは、システムの異常が考えられますので、すみやかにホンダクリオ店で点検を受けてください。
 - ・ 運転中に点灯したとき
 - ・ エンジンスイッチを“II”にしても点灯しないとき、あるいは約6秒経過しても消灯しないとき
必要なときにシートベルトが引き込まれないおそれがあります。

アンチロックブレーキシステム (ABS)

ABSのしくみ

●ABSとは

急制動や滑りやすい路面で制動するとき、車輪のロックを防止することで車両の姿勢を安定させ、ハンドルの効きを保証しようとする装置です。

●作動について

- ブレーキペダルを踏んだとき、ペダルが小刻みに動くことがあります。これはABSが作動しているときの現象で異常ではありません。そのまま、ブレーキペダルを強く踏み続けてください。



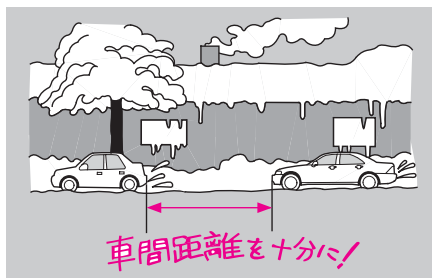
- 低速(約10km/h以下)ではABSは作動せず、普通のブレーキと同じ作動になります。

📖 知識

- エンジン始動後、最初の発進時に、エンジンルームからモーター音等が聞こえることがありますが、これはシステムの動作チェックをしている音で異常ではありません。

運転のしかた

- この装置は制動距離を短くするためのものではありません。ABSを装備していない車両と同様に、路面が滑りやすくなるほど長い制動距離が必要になります。
また、ABSが作動した状態でも車両の姿勢やハンドルの効きには限界がありますので、ハイドロブレーキング現象が起こりやすい雨天時の高速走行などにおいても過信せず、安全運転に心がけてください。
- 悪路、砂利道、深い新雪などの路面では、ABSの装備されていない車両に比べて制動距離が長くなる場合があります。
このような道路条件では速度は控えめにして車間距離を十分にとって運転してください。





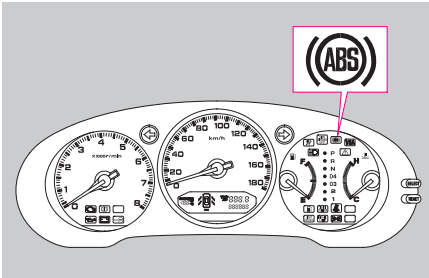
取り扱いについて

知 識

- タイヤは必ず四輪とも同一指定サイズのものをお使いください。サイズ(外径)の異なるタイヤを混用すると、ABSが正常に機能しなくなることがあります。

●アンチロックブレーキシステム
(ABS)警告灯

メーター内に組み込まれており、ABSが異常のときに点灯します。



エンジンスイッチを“II”にしたとき点灯し、数秒後に消灯するのが正常です。また、運転中に数秒間点灯してもすぐ消灯し、その後走行中に点灯しなければ正常です。

アドバイス

- 警告灯が次のような状態になったときは、システムの異常が考えられますので、すみやかにホンダクリオ店で点検を受けてください。
 - ・運転中に点灯したとき
 - ・エンジンスイッチを“II”にしても点灯しないとき、あるいは数秒経過しても消灯しないときなお、この場合でも通常のブレーキとしての性能は確保されています。(ABSとしての作動はしません)
- 警告灯がブレーキ警告灯と同時に点灯したときは、ブレーキ力の配分機能も作動しないため、急ブレーキ時に車両が不安定になる可能性があります。高速走行や急ブレーキを避けて、ただちにホンダクリオ店で点検を受けてください。

ビークルスタビリティアシスト(VSA) (車両挙動安定化制御システム)

タイプ別装備

VSAのしくみ

●VSAとは

ABS機能、TCS機能および横滑り抑制機能を総合的に制御し、急激な車両の挙動変化を抑制しようとする装置です。

ABS(アンチロックブレーキシステム)機能

急制動や滑りやすい路面で制動するとき、車輪のロックを防止することで車両の姿勢を安定させ、ハンドルの効きを確保しようとする機能です。

TCS(トラクションコントロールシステム)機能

滑りやすい路面などでの駆動輪(前輪)の無駄な空転を防止し、駆動力・操舵能力を確保しようとする機能です。

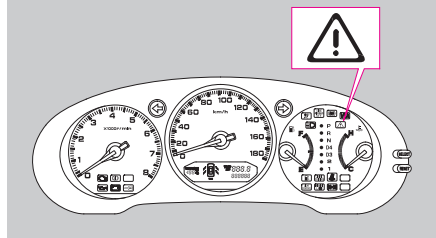
横滑り抑制機能

急激なハンドル操作や滑りやすい路面などでの旋回時に、車輪の横滑りなどを抑制することで車両の安定性を確保しようとする機能です。

●作動について

TCS機能と横滑り抑制機能は、エンジンを始動すれば自動的に“ON”になります。TCS機能または横滑り抑制機能が作動中は、メーター内のVSA作動表示灯が点滅します。

VSA作動表示灯



VSA作動表示灯は、エンジンスイッチを“II”にしたときに点灯し、数秒後に消灯するのが正常です。



運転のしかた

アドバイス

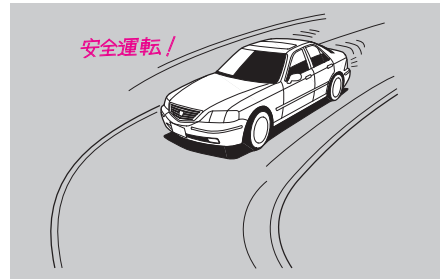
- 表示灯が次のような状態になったときは、システムの異常が考えられますので、すみやかにホンダクリオ店で点検を受けてください。
 - ・運転中にVSA警告灯と同時に点灯したとき
 - ・エンジンスイッチを“II”にしても点灯しないとき、あるいは数秒経過しても消灯しないときなお、この場合でも通常走行には支障はありません。

知 識

- 発進時等にエンジンルームからモーター音等が聞こえることがありますが、これはシステムの動作チェックをしている音で異常ではありません。
- VSA警告灯が点灯するとVSA作動表示灯も同時に点灯します。

VSAが作動した状態でも車両の安定性の確保には限界がありますので、無理な運転はしないでください。

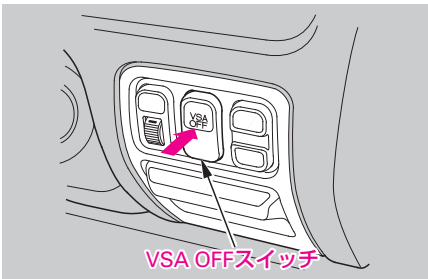
- ・カーブの手前では十分に速度を落としてください。
- ・雪道、凍結路を走るときは、冬用タイヤまたはタイヤチェーンを装着し、ひかえめな速度で運転してください。



取り扱いについて

TCS機能と横滑り抑制機能を作動させたくないとき

エンジン始動後に、スイッチを押すとTCS機能と横滑り抑制機能が“OFF”になりメーター内のVSA作動表示灯が点灯します。



スイッチを押すごとに“OFF”と“ON”をくり返します。

知 識

- TCS機能または横滑り抑制機能が作動中には、スイッチを押しても“OFF”にすることはできません。

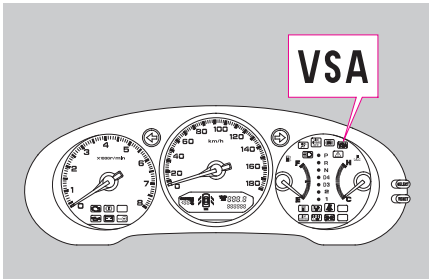
アドバイス

- VSA装備車は四輪とも、同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤを指定空気圧にてお使いください。サイズ、種類、銘柄や摩耗度合いの異なるタイヤを混用したり、指定空気圧でない場合、VSAが正常に機能しなくなることがあります。また、応急用スペアタイヤを装着した場合も、できるだけ早く標準タイヤに交換してください。



●ビークルスタビリティアシスト (VSA) 警告灯

メーター内に組み込まれており、VSAが異常のときに点灯します。



エンジンスイッチを“II”にしたとき点灯し、数秒後に消灯するのが正常です。また、運転中に数秒間点灯してもすぐ消灯し、その後走行中に点灯しなければ正常です。

🚗 アドバイス

- 警告灯が次のような状態になったときは、システムの異常が考えられますので、すみやかにホンダクリオ店で点検を受けてください。
 - ・運転中に点灯したとき
 - ・エンジンスイッチを“II”にしても点灯しないとき、あるいは数秒経過しても消灯しないとき
- なお、この場合でも通常走行には支障はありません。

🎓 知識

- けん引されたときやけん引したときは、警告灯が点灯することがあります。この場合はエンジンを再始動させて警告灯が消灯すればVSAは正常です。
- ABS警告灯が点灯するとVSA警告灯も同時に点灯します。

その他の安全装備

ほかに、次のような安全装備を採用しています。

●シフトロック装置

セレクトレバーの誤操作防止を助けます。
(→23ページ)

●ハイマウントストップランプ

ストップランプを高い位置にも設置し、後方から見えやすくしています。

●ヒータードアミラー

タイプ別装備

鏡面の曇りを除去し、後方を見やすくします。

(→65ページ)

●後席三点式シートベルト

上半身も拘束する三点式シートベルトを後席にも採用しています。

(→69ページ)

●シートベルト警告灯

シートベルトの未着用をランプで知らせ、ベルトの着用を促します。

(→90ページ)

●ブレーキアシスト

緊急制動時に、より大きい制動力を発生させ運転者のブレーキ操作を補助する装置です。

ブレーキペダルを強く踏み込んだときに、ブレーキがより強く効くようになります。

●ドアビーム

側面から外力が加わったときに、ドアの変形を抑える効果があります。

●ロールオーバーバルブ

車が転倒したとき、燃料タンクからの燃料流出を防止します。

●難燃性材料使用の内装

フロアカーペットやシートなどには、燃え広がりにくい素材を採用しています。

4

ドライブを快適にする装備

●エアコン

吹き出し風の調節	157
エアコンインデックス	159
オートエアコン	
ナビゲーションシステム	
装備車	160
ナビゲーションシステム	
非装備車	166
シートヒーター	172

●オーディオ

上手な使いかた	174
アンテナ	176
オーディオインデックス	177
AM/FMラジオ一体式カセットステレオ (CDチェンジャーコントローラー内蔵)	
ナビゲーションシステム	
非装備車	178
ナビゲーションシステム	
装備車	187
リモートコントロール	
スイッチ	196
CDチェンジャー	197

●セキュリティシステム

警報装置について	200
セットのしかた	201

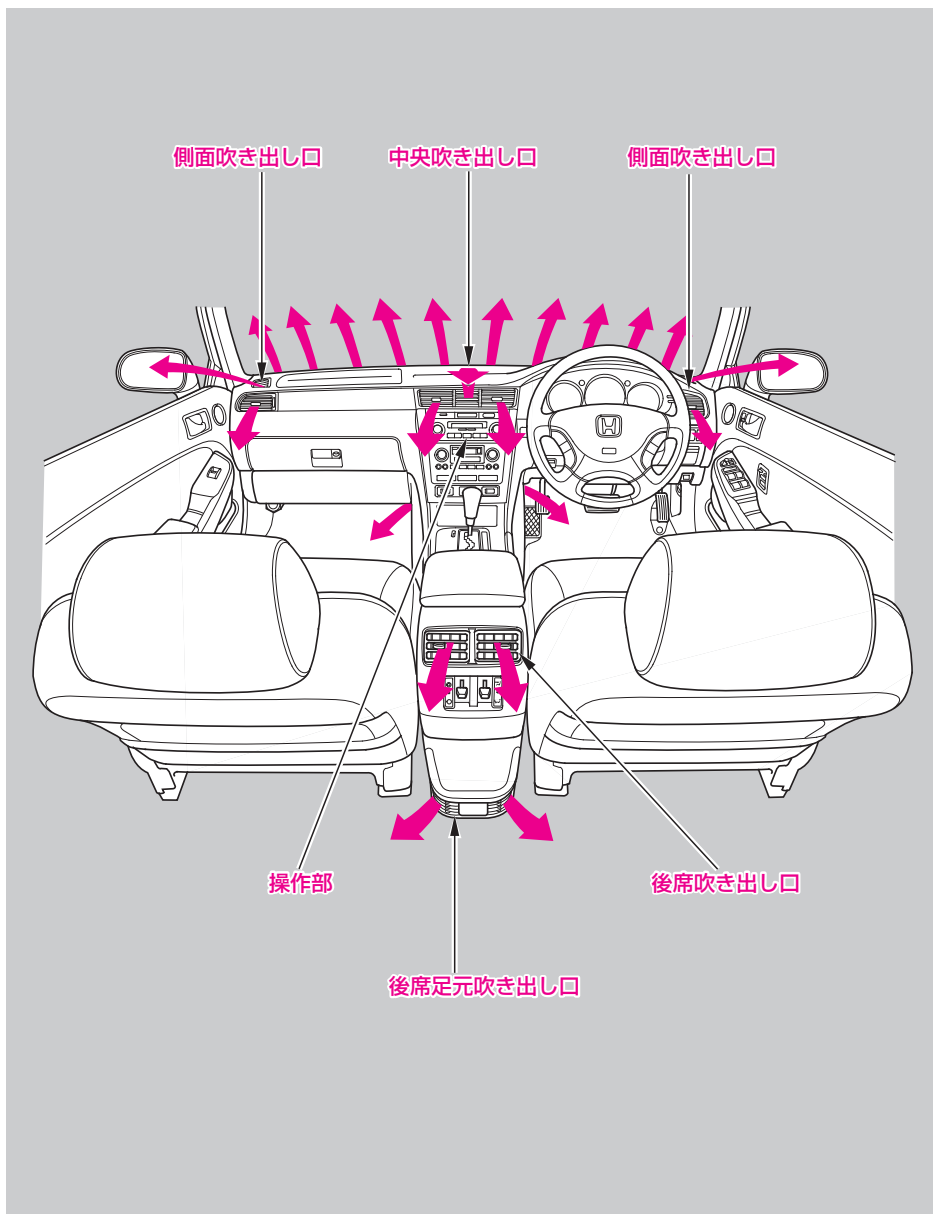
●室内照明

室内灯	203
スポットランプ	203

●室内装備品

時計	204
シガレットライター	205
灰皿	206
サンバイザー	207
サングラスホルダー	207
アームレスト	208
小物入れ	208
コインボックス	210
カップホルダー	210
アクセサリースOCKET	212
荷物フック	212

エアコン

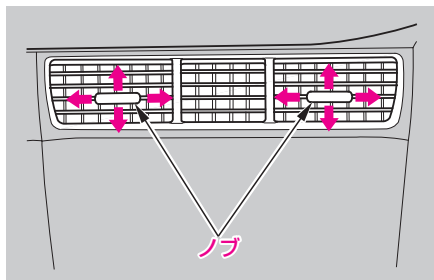




吹き出し風の調節

ノブを上下または左右に動かして、吹き出し風の向きを調節します。

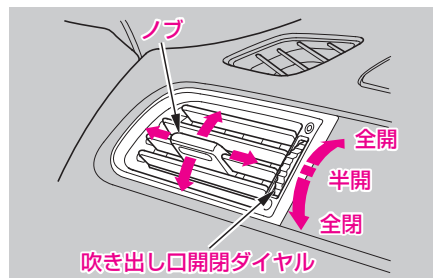
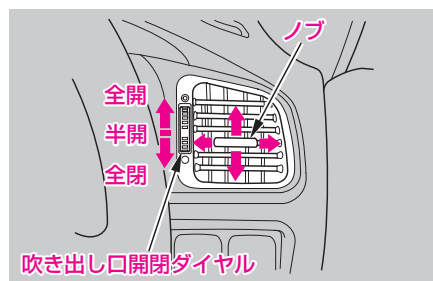
・中央吹き出し口



・側面吹き出し口

側面の吹き出し口の開閉は、ダイヤルで行います。

送風が必要なときは、ダイヤルを“半開”または“全開”にします。

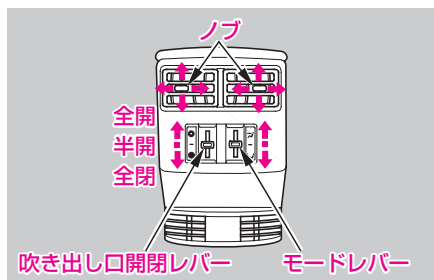


知 識

- 側面ガラスが曇ったときは、吹き出し風がガラスに直接当たるよう両側の吹き出し口の向きを調節すれば、より早く曇りを取ることができます。

・後席吹き出し口

エアコンが作動しているときは後席の吹き出し口からも送風され、レバーで吹き出し口の開閉と切り換えができます。後席の吹き出し口からの送風が必要なときには、左の開閉レバーを“半開”または“全開”にして吹き出し風の量を調節し、右のモードレバーで吹き出し口を切り換えます。



●エアクリーンフィルター

エアコンには、空気中のちり・ほこり・粉じん等を集じんするエアクリーンフィルターが取り付けられています。

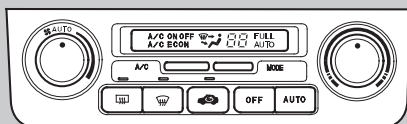
知識

- エアクリーンフィルターの交換は、通常1年または15,000kmごとに、ホンダクリオ店で行ってください。ただし、使用条件により異なりますので粉じんの多い場所などでは、早めの交換をおすすめします。
- ・ エアコンの風量が著しく減少したり、ガラスが曇りやすくなったときなどは、フィルターの目詰まりが考えられます。ホンダクリオ店で点検を受けてください。



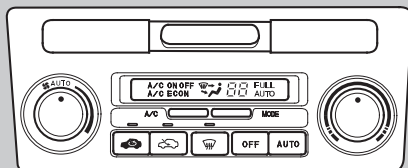
エアコンインデックス

オートエアコン (ナビゲーションシステム装備車)



- オートエアコンを使うとき 160
- マニュアルで使うとき 162
- 前面／側面ガラスの霜や曇りを
取りたいとき(デフロスター) 164
- エアコンを常用しないとき 165
- 温度感知装置 165

オートエアコン (ナビゲーションシステム非装備車)



- オートエアコンを使うとき 166
- マニュアルで使うとき 168
- 前面／側面ガラスの霜や曇りを
取りたいとき(デフロスター) 170
- エアコンを常用しないとき 171
- 温度感知装置 171

オートエアコン(ナビゲーションシステム装備車)

●オートエアコンを使うとき

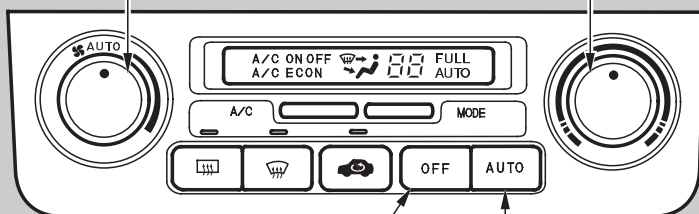
エンジンをかけた状態で使います。

ファンスピード切り換えダイヤル

ダイヤルを“AUTO”にすると風量が自動制御されます。

温度調節ダイヤル

ダイヤルを回して温度を設定します。
表示温度は室温設定時のめやすとなります。



OFFスイッチ

スイッチを押すとエアコン、ファンの作動が停止します。

AUTOスイッチ

スイッチを押すと、オートエアコンが作動します。(表示灯“FULL AUTO”が点灯)
風量、吹き出し口の切り換え、エアコンの“ON/OFF”などが自動制御されます。



通常の使いかた

- ①ファンスピード切り換えダイヤルを“**AUTO**”に合わせ、**AUTO**スイッチを押します。
- ②温度調節ダイヤルで室内の温度を設定します。

停止するときは**OFF**スイッチを押します。

知 識

- 外気温によっては、冷風の吹き出しを防ぐため、オートエアコン作動後一定時間ファンが回転しないことがあります。
- 希望温度に設定したら、温度調節ダイヤルをむやみに動かさないでください。設定温度への到達時間が長くなることがあります。
- 長時間、冷風を直接体に当てないでください。冷やしすぎは健康上良くありません。
- 炎天下に駐車していたときは、窓を開けて熱気を追い出しながら、冷房を開始してください。

●マニュアルで使うとき

ファンスピード切り換えダイヤル

ダイヤルを回して、ファンスピードを切り換えます。

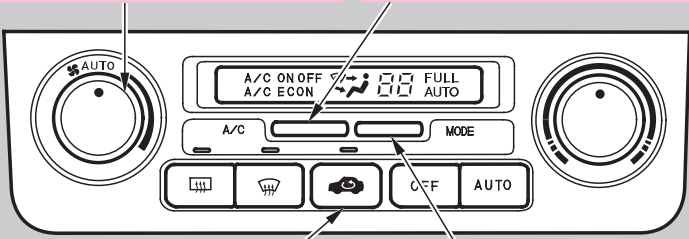
スイッチ の位置	AUTO	
風量	自動切換	弱↔強

A/Cスイッチ

スイッチを押すたびにエアコンの“ON”“OFF”“ECON”が切り換わります。

表示部に、“A/C ON”“A/C OFF”“A/C ECON”が表示されます。

冷房や除湿暖房をするときは“ON”または“ECON”にします。“ECON”にすると、エアコンが断続的に作動し省エネ運転ができます。春や秋などの湿度の低いときなどにお使いください。



内外気切り換えスイッチ

スイッチを押して外気導入(表示灯消灯)と内気循環(表示灯点灯)を切り換えます。

トンネルや渋滞地域などで汚れている外気を室内に入れたくないときは、内気循環にします。

MODEスイッチ

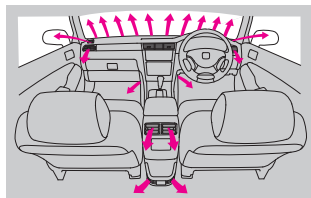
スイッチを押すたびに吹き出し口が切り換わり(右ページ参照)、それぞれの表示灯が点灯します。

各スイッチを組み合わせる使えます。
“FULL AUTO”(自動)で使用中でも押したスイッチの機能が優先されます。このとき“FULL”の作動表示灯は消えますが、押したスイッチの機能以外は自動制御されます。
“FULL AUTO”(自動)に戻すときは、AUTOスイッチを押します。

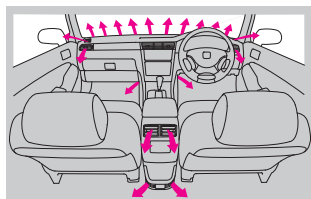


MODEスイッチ

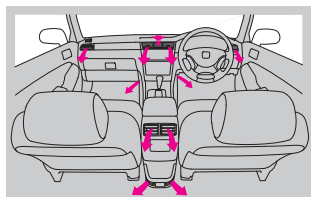
足元への送風と窓ガラスの曇りを取りたいとき



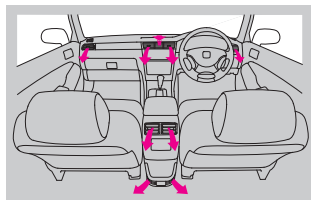
足元に送風したいとき



上半身、足元に送風したいとき



上半身に送風したいとき

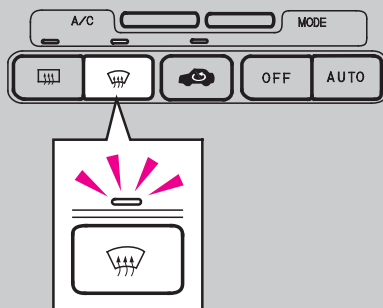
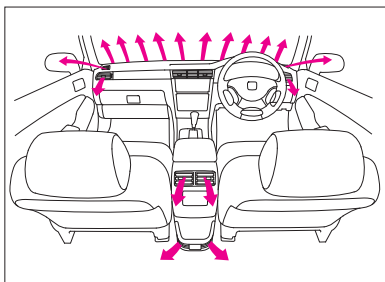


●前面／側面ガラスの霜や曇りを取りたいとき(デフロスター)

デフロスタースイッチを押します。

デフロスタースイッチ

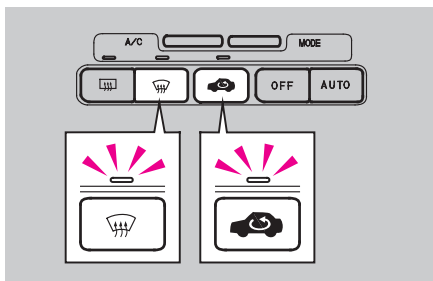
ガラスの曇り取りなどに使用します。スイッチを押すと自動的にエアコンが作動し、外気導入に切り換わります。また、吹き出し口が前面および側面ガラスに切り換わります。



知識

- デフロスタースイッチを入れているときは、設定温度を最大冷房付近にしないでください。冷風が前面ガラスにあたるとガラスの外側が曇ることがあり、視界のさまたげになります。

急速に霜を取りたいとき



知識

- 内気循環で使い続けると車内の湿気で窓ガラスが曇り、視界のさまたげになります。一度霜を取った後は外気導入で使ってください。



●エアコンを常用しないとき

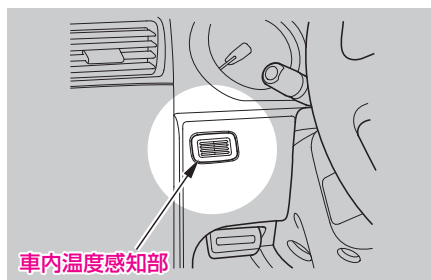
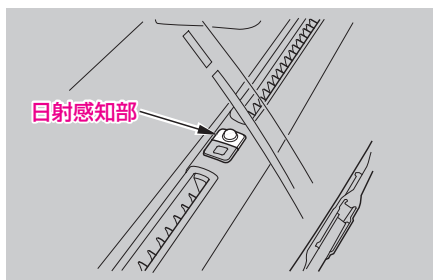
装置各部のオイルをさらさないために、ときどきエンジンを低回転させた状態で数分間冷房または除湿暖房をしてください。

知識

- 室内の温度が低い場合は、エアコンが作動しないことがあります。このような場合には、内気循環で室内を暖めてからA/Cスイッチを入ると作動します。

●温度感知装置

オートエアコンには、温度感知装置などのセンサーがついています。日射感知部や車内温度感知部の上に物を置いたり、水をかけたりしないでください。車内温度が設定温度とずれることがあります。



オートエアコン(ナビゲーションシステム非装備車)

●オートエアコンを使うとき

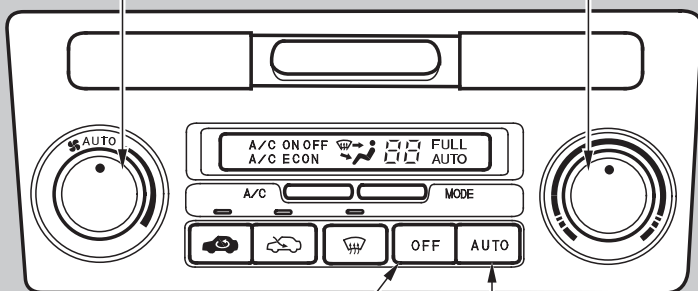
エンジンをかけた状態で使います。

ファンスピード切り換えダイヤル

ダイヤルを“AUTO”にすると風量が自動制御されます。

温度調節ダイヤル

ダイヤルを回して温度を設定します。
表示温度は室温設定時のめやすとなります。



OFFスイッチ

スイッチを押すとエアコン、ファンの作動が停止します。

AUTOスイッチ

スイッチを押すと、オートエアコンが作動します。(表示灯“FULL AUTO”が点灯)
風量、吹き出し口の切り換え、エアコンの“ON/OFF”などが自動制御されます。



通常の使いかた

- ①ファンスピード切り換えダイヤルを“**AUTO**”に合わせ、**AUTO**スイッチを押します。
- ②温度調節ダイヤルで室内の温度を設定します。

停止するときは**OFF**スイッチを押します。



知 識

- 外気温によっては、冷風の吹き出しを防ぐため、オートエアコン作動後一定時間ファンが回転しないことがあります。
- 希望温度に設定したら、温度調節ダイヤルをむやみに動かさないでください。設定温度への到達時間が長くなることがあります。
- 長時間、冷風を直接体に当てないでください。冷やしすぎは健康上良くありません。
- 炎天下に駐車していたときは、窓を開けて熱気を追い出しながら、冷房を開始してください。

●マニュアルで使うとき

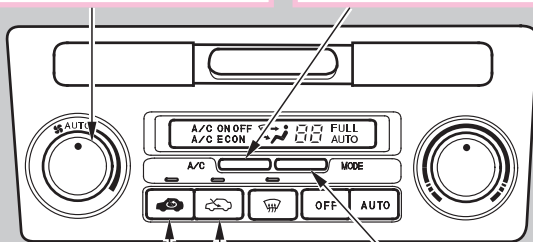
ファンスピード切り換えダイヤル
ダイヤルを回して、ファンスピードを切り換えます。

スイッチ の位置	AUTO	
風量	自動切換	弱↔強

A/Cスイッチ

スイッチを押すたびにエアコンの“ON”“OFF”“ECON”が切り換わります。

表示部に、“A/C ON”“A/C OFF”“A/C ECON”が表示されます。冷房や除湿暖房をするときは“ON”または“ECON”にします。“ECON”にすると、エアコンが断続的に作動し省エネ運転ができます。春や秋などの湿度の低いときなどにお使いください。



内外気切り換えスイッチ

スイッチを押して外気導入(表示灯消灯)と内気循環(表示灯点灯)を切り換えます。

トンネルや渋滞地域などで汚れている外気を室内に入れたくないときは、内気循環にします。

MODEスイッチ

スイッチを押すたびに吹き出し口が切り換わり(右ページ参照)、それぞれの表示灯が点灯します。

各スイッチを組み合わせる使うことができます。

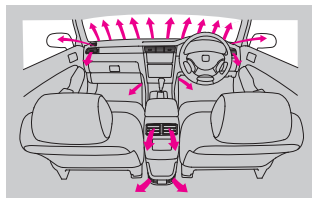
“FULL AUTO”(自動)で使用中でも押したスイッチの機能が優先されます。このとき“FULL”の作動表示灯は消えますが、押したスイッチの機能以外は自動制御されます。

“FULL AUTO”(自動)に戻すときは、AUTOスイッチを押します。

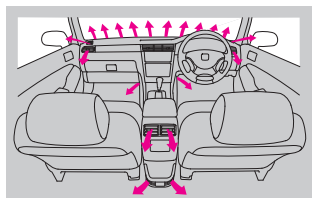


MODEスイッチ

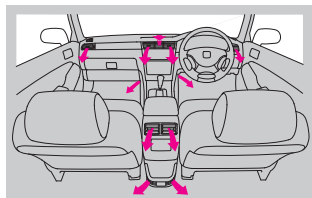
足元への送風と窓ガラスの曇りを取りたいとき



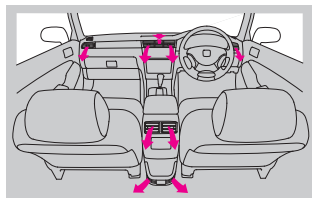
足元に送風したいとき



上半身、足元に送風したいとき



上半身に送風したいとき

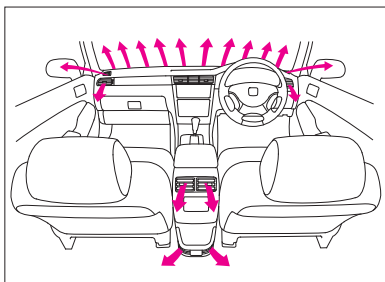


●前面／側面ガラスの霜や曇りを取りたいとき(デフロスター)

デフロスタースイッチを押します。

デフロスタースイッチ

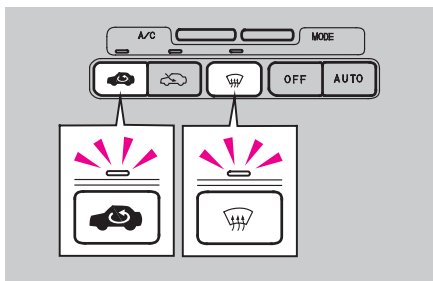
ガラスの曇り取りなどに使用します。スイッチを押すと自動的にエアコンが作動し、外気導入に切り換わります。また、吹き出し口が前面および側面ガラスに切り換わります。



知識

- デフロスタースイッチを入れているときは、設定温度を最大冷房付近にしないでください。冷風が前面ガラスにあたるとガラスの外側が曇ることがあり、視界のさまたげになります。

急速に霜を取りたいとき



知識

- 内気循環で使い続けると車内の湿気で窓ガラスが曇り、視界のさまたげになります。一度霜を取った後は外気導入で使ってください。



●エアコンを常用しないとき

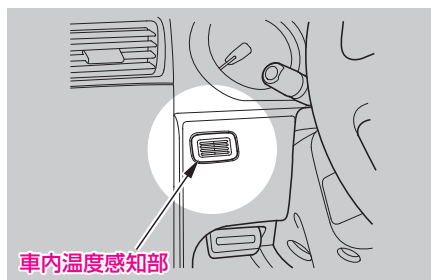
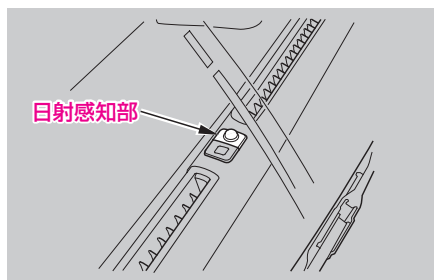
装置各部のオイルをさらさないために、ときどきエンジンを低回転させた状態で数分間冷房または除湿暖房をしてください。

知識

- 室内の温度が低い場合は、エアコンが作動しないことがあります。このような場合には、内気循環で室内を暖めてからA/Cスイッチを入ると作動します。

●温度感知装置

オートエアコンには、温度感知装置などのセンサーがついています。日射感知部や車内温度感知部の上に物を置いたり、水をかけたりしないでください。車内温度が設定温度とずれることがあります。



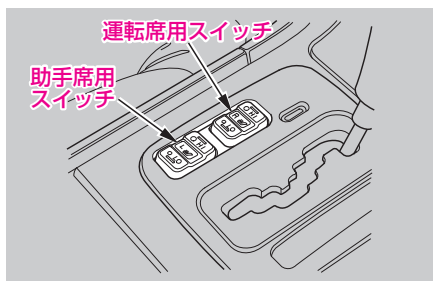
シートヒーター

エンジンスイッチが“II”のとき使えます。

●前席用

注文装備

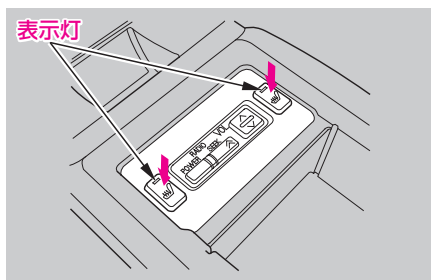
スイッチを“HI”側か“LO”側に押します。シートを早く暖めたいときは“HI”側を押します。暖まったら“LO”側にしてください。作動中、押している側の表示灯が点灯します。スイッチを切るときは、押している側と反対側を軽く押します。



●後席用

タイプ別注文装備

後席ひじ掛けの中にスイッチがあります。スイッチを押すと、作動し表示灯が点灯します。もう一度押すと切れます。





⚠ 注意

- 次のようなかたは、熱すぎたり低温やけどをすることがありますので、ご使用になるときは十分注意してください。

- ・ 乳幼児、お子さま、お年寄、病気のかた、体の不自由なかた
- ・ 皮ふの弱いのかた
- ・ 疲労の激しいのかた
- ・ 深酒やねむけをさそう薬(睡眠薬、かぜ薬など)を使用したかた

また、毛布や座ぶとんなどの保温性の高いものをかけて使用すると、低温やけどをすることがあります。

🎓 知識

- 凹凸のある重量物をシートの上に置いたり、針や釘など鋭利な物を突きさしたりしないでください。
- シートの手入れには、シンナー、ベンジン、アルコール、ガソリンなどの有機溶剤を使用しないでください。ヒーターおよびシート表面を損傷するおそれがあります。
- 前席シートヒーターの“HI”側は温度が高くなると自動的に切れたり、室内温度が高いときに作動しないことがあります。必要に応じて“LO”側に切り換えてください。
- 助手席の背もたれには、サイドエアバッグシステムの乗員姿勢検知システムのセンサーが装備されているため、ヒーター機能はありません。

オーディオ

上手な使いかた

知 識

- 運転中の音量は車外の音が聞こえる程度の音量でお使いください。車外の音が聞こえない状態では安全運転のさまたげとなります。また、運転中のオーディオ操作は、安全運転に支障がないようにしてください。
- 車内や車の近くで携帯電話や無線機を使うとオーディオに雑音が入ることがあります。

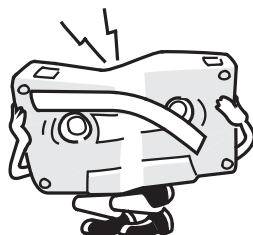
●ラジオについて

ラジオの受信については、車の走行にともない受信状態が刻々と変わったり、障害物や電車、信号機などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合があります。

●カセットについて

次のようなカセットテープは、故障の原因になりますので、ご使用はお避けください。

- ・ラベルがはがれかけていたり変形したカセットテープを使用すると、回転不良を起こしたりテープが取り出せなくなる場合があります。



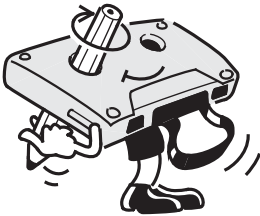
- ・120分以上のテープは非常に薄いため、伸びたり、プレーヤーに巻き付いたりする場合があります。

カセットテープは、変形したり録音が消えてしまわないようにほこり、直射日光や磁気のあるものの近くを避けてケースに入れ保管してください。





カセットテープは、プレーヤーにテープが巻き込まれたりしないように鉛筆などでたるみをとってから差し込んでください。



音が歪んだり高音が出にくくなった場合は、市販のクリーニングテープなどでプレーヤーの手入れをしてください。

●CDについて

ディスクの変形を避けるため、直射日光や高温多湿を避けてケースに入れ保管してください。

悪路走行などで激しく振動した場合、音とびすることがあります。

寒いときや雨降りのときは、プレーヤー内部に露(水滴)が生じ、正しく作動しなくなることがあります。その場合、ディスクを取り出し、換気または除湿をしてからお使いください。

ディスクの信号面は直接手で触れないでください。指紋等の汚れが付くと、音とびなどをすることがあります。

下記マークのついていないディスクおよび円形以外のディスクは使えません。

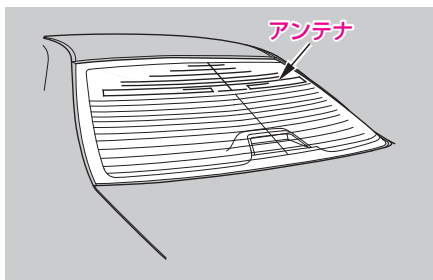


知 識

- ディスクは必ず円形のものをお使いください。円形以外のディスクを使用すると故障の原因となります。

アンテナ

リヤガラス内側にアンテナ線があります。



知 識

- アンテナ線は傷つきやすいので、清掃のときはアンテナ線に沿って柔らかい布でふいてください。また、手荷物などで傷つけないようにしてください。



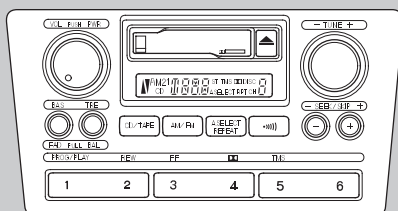
オーディオインデックス

ナビゲーションシステム装備車のテレビ・ビデオ(VTR)の取り扱いについては、別冊のナビゲーションシステム取扱説明書をご覧ください。

LUXMANオーディオシステム装備車は、カセットテープ挿入口に“LUXMAN”の表示があります。

AM/FMラジオ一体式カセットステレオ

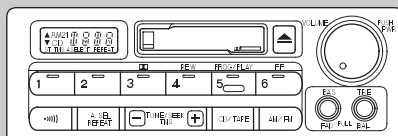
ナビゲーションシステム非装備車



- 電源の入れかた 178
- 音量調節のしかた 178
- 音質調節のしかた 179
- バランス調節のしかた 179
- モードの切り換え 179
- ラジオの使いかた 180
- カセットプレーヤーの使いかた 182
- CDチェンジャーコントローラーの
使いかた 184
- エラーコードについて 186

AM/FMラジオ一体式カセットステレオ

ナビゲーションシステム装備車

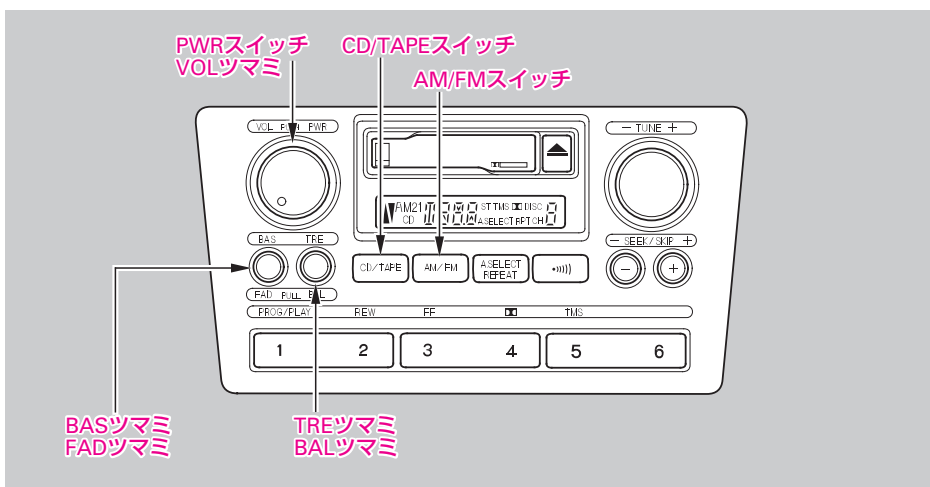


- 電源の入れかた 187
- 音量調節のしかた 187
- 音質調節のしかた 188
- バランス調節のしかた 188
- モードの切り換え 188
- ラジオの使いかた 189
- カセットプレーヤーの使いかた 191
- CDチェンジャーコントローラーの
使いかた 193
- エラーコードについて 195

AM/FMラジオ一体式カセットステレオ

ナビゲーションシステム非装備車

エンジンスイッチが“Ⅰ”または“Ⅱ”のときに使えます。



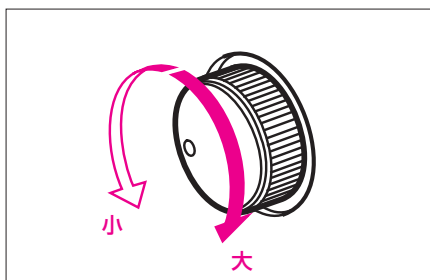
●電源の入れかた

PWRスイッチを押して、電源を入れます。押すたびに“ON”⇄“OFF”になります。また、AM/FMスイッチ、CD/TAPEスイッチを押して、電源を“ON”にすることもできます。

知 識

- LUXMANオーディオシステム装備車は、専用のパワーアンプを装着しています。このアンプは消費電力が大きいためエンジンスイッチが“Ⅰ”のときは長時間使わないでください。バッテリー容量が低下し、エンジン始動に影響することがあります。

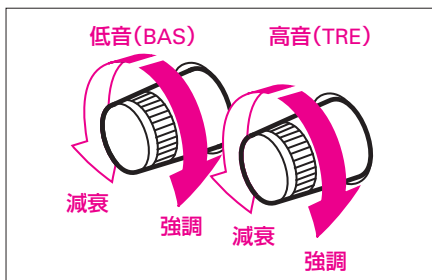
●音量調節のしかた





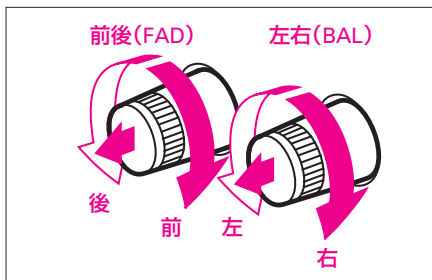
●音質調節のしかた

ツマミを押して飛び出させて調節します。



●バランス調節のしかた

ツマミを押してとび出させたあと、ツマミを引き出して調節します。



🎓 知識

- LUXMANオーディオシステム装備車は、音質、バランス調節のツマミを装備していますが、音質、バランスとも調節をしなくても最良の状態でも音を再現できるようにあらかじめセッティングされています。

●モードの切り換え

- ・AM/FMスイッチ

AM/FM

ラジオに切り換わります。

- ・CD/TAPEスイッチ

CD/TAPE

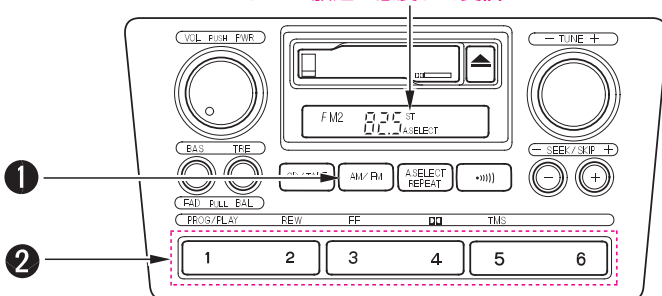
カセットテープが入っているときに押すと、テープ演奏に切り換わります。

CDチェンジャーにディスクが入っているときは、押すたびにCD演奏とテープ演奏が切り換わります。

●ラジオの使いかた

ラジオ放送のききかた

FMステレオ放送が感度よく受信できたときは、“ST”が点灯します。



①ラジオに切り換え、バンドを選ぶ(AM/FMスイッチ)

スイッチを押して、AM/FM1/FM2を選びます。

②選局する(ワンタッチ選局スイッチ)

あらかじめ放送局をセットしておくと、ワンタッチで選局できます。

AM 6局、FM12局(FM1、FM2それぞれ 6局)まで記憶できます。

自動で放送局を記憶するには(オートセレクト)

放送局の違う地域へ出かけたときなど、セットされた放送局が聞けなくなった場合に操作します。

A.SELECTスイッチを押します。 (“A.SELECT” が点滅)

A.SELECT
REPEAT

自動選局された電波の強い放送局が、周波数の低い順からワンタッチ選局スイッチにAM 6局、FM12局(FM1、FM2それぞれ 6局)まで自動的に記憶され“A.SELECT”が点滅から点灯に変わります。

解除するときは、スイッチをもう一度押します。解除すると、ワンタッチ選局スイッチの記憶は、オートセレクトをする前の状態に戻ります。



知識

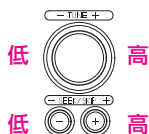
- 放送局が 6 局または 12 局にみえない場合、残りのスイッチには何も記憶されません。記憶されていないスイッチを押すと、周波数が“0”と表示されます。



ワンタッチ選局のセットのしかた

①AM/FMスイッチでAM/FM1/FM2を選びます。

②TUNEツマミ、SEEK/SKIPスイッチで選局します。



- TUNEツマミを回すと、受信周波数が少しづつ変わります。(手動選局)
- SEEK/SKIPスイッチを押すと、自動選局になり放送を受信すると止まります。

知識

- 受信電波が弱いときは、自動選局できないことがあります。このようなときは手動で選局してください。

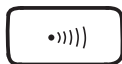
③ワンタッチ選局スイッチのいずれか一つを“ピッ”という電子音がするまで(約2秒間)押し続けます。

知識

- 一度電源が切れた場合(車両のバッテリーを外したとき、ヒューズが切れたときなど)、記憶が消去されます。そのときは再度記憶操作をしてください。

交通情報をきくとき

⋮⋮⋮ スイッチを押すと、ワンタッチで交通情報を受信できます。



周波数を切り換えるとき(1620kHz↔1629kHz)

…TUNEツマミまたはSEEK/SKIPスイッチで切り換えます。

解除するとき

⋮⋮⋮ スイッチをもう一度押します。他のモードに切り換えたときも解除されます。

知識

- ⋮⋮⋮ スイッチにあらかじめセットされている受信周波数を変えることはできません。

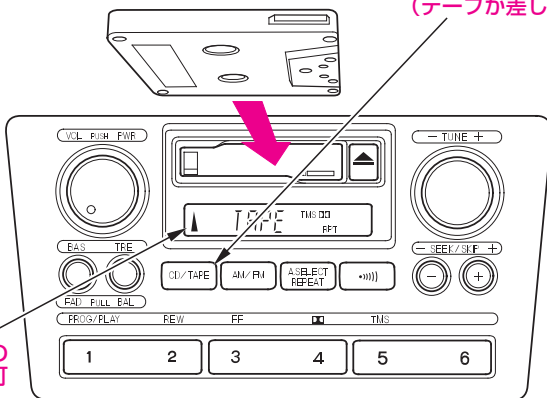
●カセットプレーヤーの使いかた

テープ演奏のききかた

テープを差し込む

または

CD/TAPEスイッチを押す
(テープが差し込まれているとき)



テープ演奏中は
“▲”または“▼”の
テープ走行表示灯
が点灯

走行方向を切り換えるとき

PROGスイッチを押します。



テープの片面が終了したときは、自動的に切り換わります。

テープを取り出すとき

▲ スイッチを押して、テープを取り出します。



テープ演奏中にエンジンスイッチを“0”にした場合でも、

▲ スイッチを押せばテープを取り出すことができます。



早送り／巻戻し、頭出しをするとき



巻戻し



早送り



TMSスイッチ

- FF/REWスイッチを押すと、早送り／巻戻しになり、“FF/REW”が点灯します。
- TMSスイッチを押して表示部に“TMS”表示灯を点灯させてから、FF/REWスイッチを押すと、頭出し(次の曲の最初／演奏中の曲の最初)になり、“FF/REW”が点滅します。

早送り／巻戻しを止めるときは、スイッチをもう一度押すかPLAYスイッチを押します。

知識

- 曲間の無音部分が4秒以上ないときや雑音が入っているとき、曲の途中に無音部分があるときは、頭出し機能が働かないことがあります。

演奏中の曲を繰り返しくとき(リピート)

REPEATスイッチを押します。(“RPT”が点灯)



リピート機能を解除するとき、スイッチをもう一度押します。

ドルビーNRについて

ドルビーNR録音されたテープを再生すると、高域雑音の少ない演奏が楽しめます。



スイッチで、ドルビーNR再生およびその解除を行います。(ドルビーNR再生中は“”が点灯)

※ドルビーノイズリダクションシステムはドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。

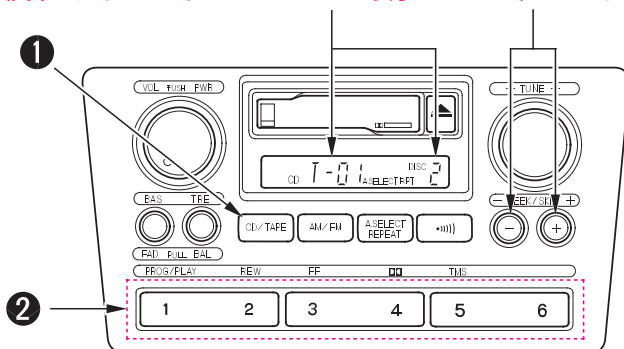
ドルビー、DOLBY及びダブルD記号 はドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの登録商標です。

●CDチェンジャーコントローラーの使いかた

ディスク演奏のききかた

演奏中はディスク、トラックナンバーを表示

SEEK/SKIPスイッチ



①切り換える(CD/TAPEスイッチ)

スイッチを押して、切り換えます。

スイッチを押すたびに接続されているチェンジャー、カセットプレーヤーに切り換わります。

②ディスクを選ぶ(ディスクスイッチ)

ディスクスイッチを押すたびに切り換わります。

ディスクスイッチに続けてSEEK/SKIPスイッチを短く押すと、トラックナンバーの指定もできます。

**早送り／早戻し、スキップ／リプレイをするとき**

- 押し続けると、早送り／早戻しになります。
- 短く押すと、スキップ(先の曲の頭出し)／リプレイ(演奏中や前の曲の頭出し)になります。

演奏中の曲を繰り返しきくとき(リピート)

REPEATスイッチを短く押します。("RPT"が点灯)



リピート機能を解除するときは、スイッチをもう一度押します。

1枚のディスクの曲順をランダムに演奏するとき

A.SELECTスイッチを約2秒押します。("A.SELECT"が点灯)



ランダム演奏の機能を解除するには、スイッチをもう一度押します。

●エラーコードについて

表示部にエラーコードが表示されたときは、下表にしたがって点検してください。

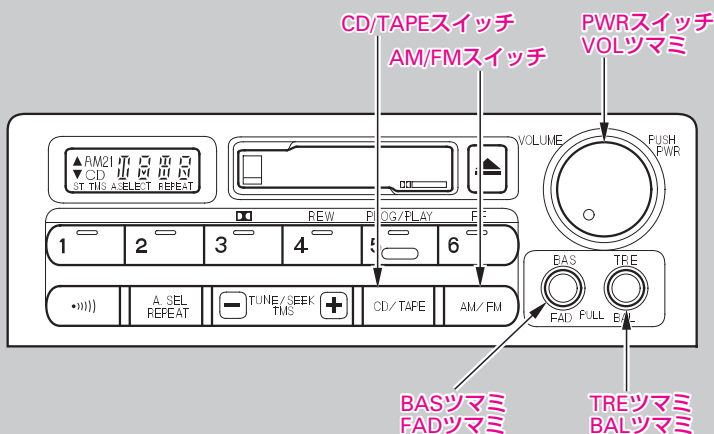
エラーコード	原 因	処 置
	ディスクチェンジの動作の異常	チェンジャーのEJECTスイッチを押して、ディスクマガジンを取り出します。エラー表示が消えれば問題はありません。表示が消えないとき、またはディスクマガジンが取り出せないときは、ホンダクリオ店で点検を受けてください。
	ディスクマガジンがイジェクトできない(装着不良)	
	車内温度の上昇を検知	車内温度が適温に戻ると、エラー表示は消えます。
	チェンジャーと、CDプレーヤーの通信が不通	チェンジャーと、CDプレーヤーの接続を確認してください。
	チェンジャーにディスクマガジンが入っていない	チェンジャーにディスクマガジンを入れてください。



AM/FMラジオ一体式カセットステレオ

ナビゲーションシステム装備車

エンジンスイッチが“Ⅰ”または“Ⅱ”のときに使えます。



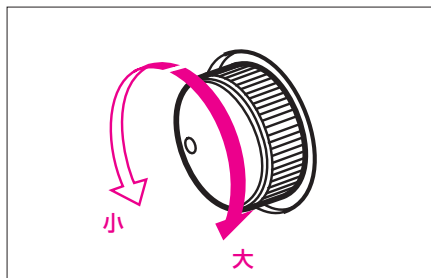
●電源の入れかた

PWRスイッチを押して、電源を入れます。押すたびに“ON”⇄“OFF”になります。また、AM/FMスイッチ、CD/TAPEスイッチを押して、電源を“ON”することもできます。

知 識

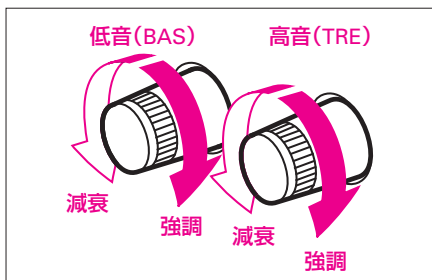
- LUXMANオーディオシステム装備車は、専用のパワーアンプを装着しています。このアンプは消費電力が大きいためエンジンスイッチが“Ⅰ”のときは長時間使わないでください。バッテリー容量が低下し、エンジン始動に影響することがあります。

●音量調節のしかた



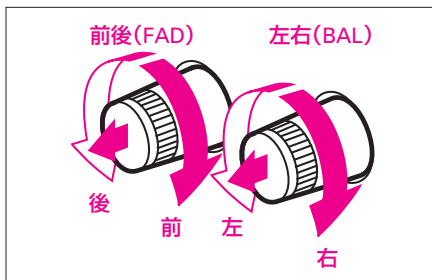
●音質調節のしかた

ツマミを押して飛び出させて調節します。



●バランス調節のしかた

ツマミを押してとび出させたあと、ツマミを引き出して調節します。



🎓 知識

- LUXMANオーディオシステム装備車は、音質、バランス調節のツマミを装備していますが、音質、バランスとも調節をしなくても最良の状態です。

●モードの切り換え

- ・AM/FMスイッチ



ラジオに切り換わります。

- ・CD/TAPEスイッチ



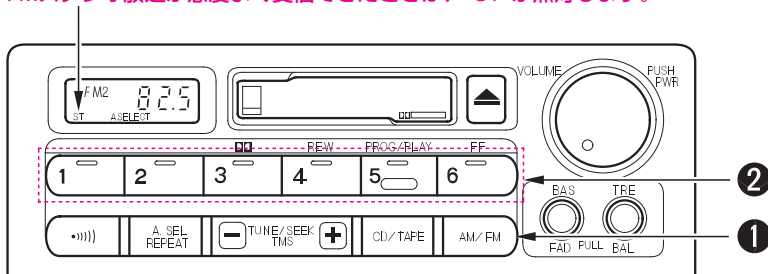
カセットテープが入っているときに押すと、テープ演奏に切り換わります。

CDチェンジャーにディスクが入っているときは、押すたびにCD演奏とテープ演奏が切り換わります。



●ラジオの使いかた ラジオ放送のききかた

FMステレオ放送が感度よく受信できたときは、“ST”が点灯します。



①ラジオに切り換え、バンドを選ぶ(AM/FMスイッチ)

スイッチを押して、AM/FM1/FM2を選びます。

②選局する(ワンタッチ選局スイッチ)

あらかじめ放送局をセットしておくと、ワンタッチで選局できます。

AM 6局、FM12局(FM1、FM2それぞれ6局)まで記憶できます。

自動で放送局を記憶するには(オートセレクト)

放送局の違う地域へ出かけたときなど、セットされた放送局が聞けなくなった場合に操作します。

A.SELスイッチを押します。(“A.SELECT”が点滅)



自動選局された電波の強い放送局が、周波数の低い順からワンタッチ選局スイッチにAM 6局、FM12局(FM1、FM2それぞれ6局)まで自動的に記憶され“A.SELECT”が点滅から点灯に変わります。

解除するときは、スイッチをもう一度押します。解除すると、ワンタッチ選局スイッチの記憶は、オートセレクトをする前の状態に戻ります。

知 識

- 放送局が6局または12局にみえない場合、残りのスイッチには何も記憶されません。記憶されていないスイッチを押すと、周波数が“0”と表示されます。

ワンタッチ選局のセットのしかた

①AM/FMスイッチでAM/FM1/FM2を選びます。

②TUNE/SEEKスイッチで選局します。



低

高

- 短く押すと、押すたびに受信周波数が少しずつ変わります。(手動選局)
- “ピッ”という電子音がするまで押すと、自動選局になり放送を受信すると止まります。



知識

- 受信電波が弱いときは、自動選局できないことがあります。このようなときは手動で選局してください。

③ワンタッチ選局スイッチのいずれか一つを“ピッ”という電子音がするまで(約2秒間)押し続けます。

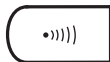


知識

- 一度電源が切れた場合(車両のバッテリーを外したとき、ヒューズが切れたときなど)、記憶が消去されます。そのときは再度記憶操作をしてください。

交通情報をきくとき

⋮⋮⋮ スイッチを押すと、ワンタッチで交通情報を受信できます。



周波数を切り換えるとき(1620kHz↔1629kHz)

…TUNE/SEEKスイッチを押します。

解除するとき

⋮⋮⋮ スイッチをもう一度押します。他のモードに切り換えたときも解除されます。



知識

- ⋮⋮⋮ スイッチにあらかじめセットされている受信周波数を変えることはできません。



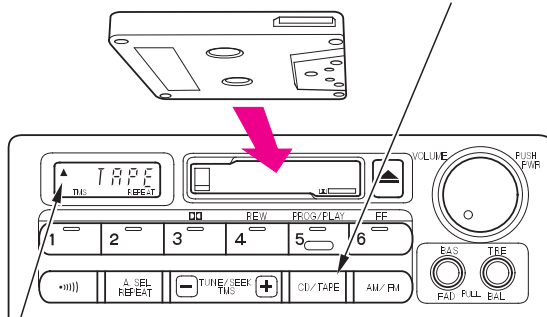
●カセットプレーヤーの使いかた

テープ演奏のききかた

テープを差し込む

または

CD/TAPEスイッチを押す
(テープが差し込まれているとき)



テープ演奏中は“▲”または“▼”の
テープ走行表示灯が点灯

走行方向を切り換えるとき

PROGスイッチを押します。



テープの片面が終了したときは、自動的に切り換わりま
す。

テープを取り出すとき

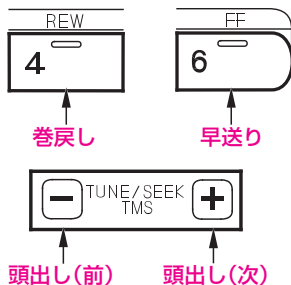
▲ スイッチを押して、テープを取り出します。



テープ演奏中にエンジンスイッチを“0”にした場合でも、

▲ スイッチを押せばテープを取り出すことができます。

早送り／巻戻し、頭出しをするとき



- FF/REWスイッチを押すと、早送り／巻戻しになり、スイッチ内の表示灯が点灯します。
- TMSスイッチの+／-を押すと、頭出し(次の曲の最初／演奏中の曲の最初)になり、表示部の“TMS”表示とFF/REWスイッチ内の表示灯が点滅します。

早送り／巻戻しを止めるときは、スイッチをもう一度押すかPLAYスイッチを押します。



知 識

- 曲間の無音部分が4秒以上ないときや雑音が入っているとき、曲の途中に無音部分があるときは、頭出し機能が働かないことがあります。

演奏中の曲を繰り返すとき(リピート)

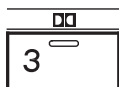
REPEATスイッチを押します。(“REPEAT”が点灯)



リピート機能を解除するとき、スイッチをもう一度押します。

ドルビーNRについて

ドルビーNR録音されたテープを再生すると、高域雑音の少ない演奏が楽しめます。



□□ スイッチで、ドルビーNR再生およびその解除を行います。(ドルビーNR再生中はボタン内の表示灯が点灯)

※ドルビーノイズリダクションシステムはドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。

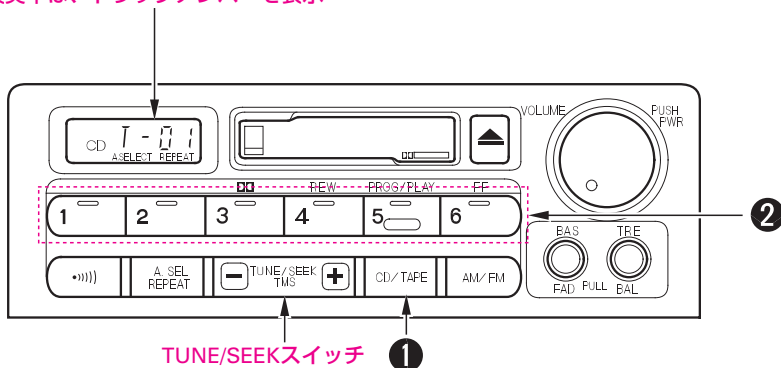
ドルビー、DOLBY及びダブルD記号 □□ はドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションの登録商標です。



●CDチェンジャーコントローラーの使いかた

ディスク演奏のききかた

演奏中は、トラックナンバーを表示



①切り換える(CD/TAPEスイッチ)

スイッチを押して、切り換えます。

スイッチを押すたびに接続されているチェンジャー、カセットプレーヤーに切り換わります。

②ディスクを選ぶ(ディスクスイッチ)

ディスクスイッチを押すたびに切り換わり、スイッチ内の表示灯が点灯します。

ディスクスイッチに続けてTUNE/SEEKスイッチを短く押すと、トラックナンバーの指定もできます。

早送り／早戻し、スキップ／リプレイをするとき



早戻し
リプレイ

早送り
スキップ

- ・押し続けると、早送り／早戻しになります。
- ・短く押すと、スキップ(先の曲の頭出し)／リプレイ(演奏中や前の曲の頭出し)になります。

演奏中の曲を繰り返しきくとき(リピート)

REPEATスイッチを押します。("REPEAT" が点灯)



リピート機能を解除するときは、スイッチをもう一度押します。

1枚のディスクの曲順をランダムに演奏するとき

A.SELスイッチを約2秒押します。("A.SELECT" が点灯)



ランダム演奏の機能を解除するには、スイッチをもう一度押します。



●エラーコードについて

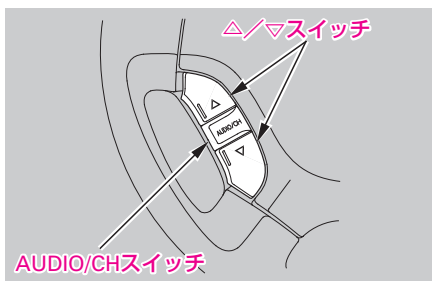
表示部にエラーコードが表示されたときは、下表にしたがって点検してください。

エラーコード	原因	処置
E-01	ディスクチェンジの動作の異常	チェンジャーのEJECTスイッチを押して、ディスクマガジンを取り出します。エラー表示が消えれば問題はありません。表示が消えないとき、またはディスクマガジンが取り出せないときは、ホンダクリオ店で点検を受けてください。
	ディスクマガジンがイジェクトできない(装着不良)	
--H	車内温度の上昇を検知	車内温度が適温に戻ると、エラー表示は消えます。
EEE	チェンジャーと、CDプレーヤーの通信が不通	チェンジャーと、CDプレーヤーの接続を確認してください。
--	チェンジャーにディスクマガジンが入っていない	チェンジャーにディスクマガジンを入れてください。

リモートコントロール スイッチ

タイプ別装備

●運転席スイッチ



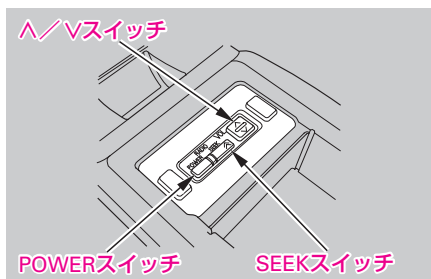
△／▽スイッチを操作すると、ラジオ、カセット、CDの音量が調節できます。ラジオを使用中にAUDIO/CHスイッチを押すと、押すたびに記憶させてある周波数を順に選局します。

カセットやCDを使用中にAUDIO/CHスイッチを押すと次の曲の頭出しができます。

知 識

- ラジオのAM/FM、CDへの切り換えは、ラジオ・カセット本体のスイッチで行ってください。

●後席スイッチ



後席ひじ掛けの中にスイッチがあります。POWERスイッチを押すとラジオの電源が入ります。もう一度押すと電源が切れます。

△／▽スイッチを操作すると、ラジオ、カセット、CDの音量が調節できます。ラジオを使用中にSEEKスイッチを押すと、押すたびに記憶させてある周波数を順に選局します。

カセットやCDを使用中にSEEKスイッチを押すと次の曲の頭出しができます。

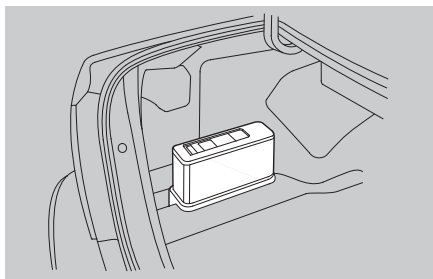
知 識

- ラジオのAM/FM、CDへの切り換えは、ラジオ・カセット本体のスイッチで行ってください。



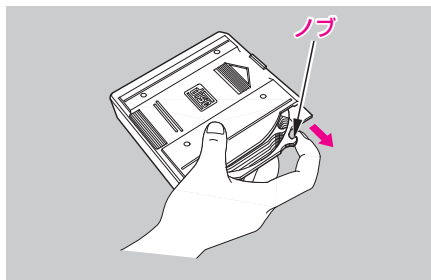
CDチェンジャー

CDチェンジャーはトランク内にあります。

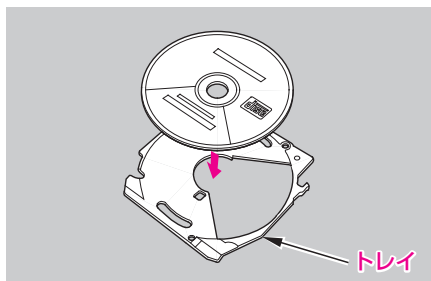


●ディスクのセット・取り出し

①ノブを引いてトレイを取り出します。

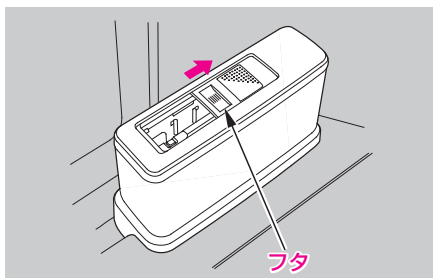


②ディスクのラベル面を上にしてトレイの上に置き、マガジンにセットします。

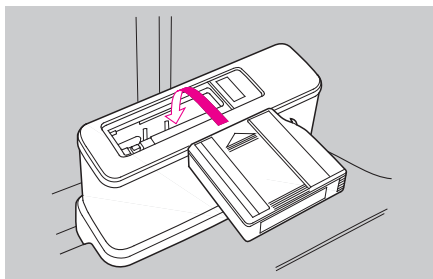


●マガジンのセット・取り出し

- ①トランク内のCDチェンジャーのフタを開けます。

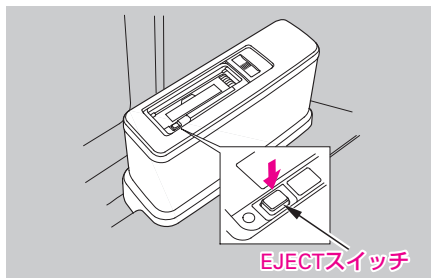


- ②矢印のついている面を図の向きにして、マガジンをチェンジャーに挿入します。



- ③CDチェンジャーのフタを閉めます。

マガジンを取り出すときは、フタを開けてEJECTスイッチを押します。



🎓 知 識

- マガジンを出し入れするとき以外は、異物などが落ちないようにフタを閉めてください。

4. ドライブを快適にする装備

オーディオ



セキュリティシステム

セキュリティ(盗難防止)システムは、お車を盗難から守るための装置です。

このシステムは、キーあるいはキーレスエントリー用発信器を使わずにドアを開けたり、ボンネットやトランクなどを開けたりすると警報装置が作動し、ホーンを鳴らし、同時に非常点滅表示灯を点滅させます。

警報装置について

警報装置は、システムがセットされているときに次のようなことのいずれかを行うと作動します。

- ・ドアをキーあるいはキーレスエントリー用発信器を使わずに開けようとした場合
- ・トランクをキーあるいはキーレスエントリー用発信器を使わずに開けようとした場合
- ・ボンネットをこじ開けようとした場合
- ・エンジンをかけた場合

警報装置が作動すると、ホーンが断続的に鳴り、非常点滅表示灯がすべて点滅します。

警報装置は、システムを止めるまで最大5分間作動します。(ホーンおよび非常点滅表示灯は1回の警報作動につき約30秒間動作し、その警報作動が最大10回行われます。)

知 識

- トランクは、システム作動中でもキーあるいはキーレスエントリー用発信器を使えば、警報装置を作動させずに開けることができます。

●警報装置の止めかた

キーあるいはキーレスエントリー用発信器でドアを解錠すればその時点で警報装置は止まります。



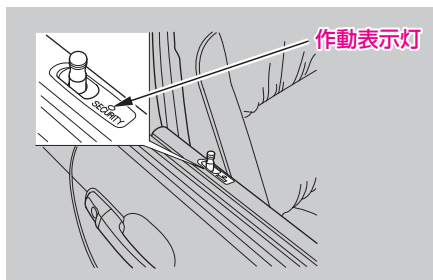
セットのしかた

次の操作がすべて行われると自動的にシステムがセットされます。

- ・ボンネットを閉める。
- ・トランクを施錠する。
- ・すべてのドアを閉め、運転席ドアを施錠する。

上記がすべて行われると、非常点滅表示灯が1回点滅し、運転席ドアにある作動表示灯が点滅を始めます。約15秒後に点滅間隔が変わり、システムがセットされたことを知らせます。

作動表示灯は、システムがセットされている間は、点滅を続けます。



セットを解除するときは、キーあるいはキーレスエントリー用発信器でドアを解錠します。非常点滅表示灯が2回点滅し、セットが解除されたことを知らせます。

知識

- 車から離れるときは、セキュリティシステムがセットされ、作動していることを表示灯で確認してください。

知識

- ボンネット、トランク、ドアのすべてが完全に閉まっていないと、セキュリティシステムはセットされません。メーター内のドア開閉警告灯、トランク開閉警告灯で閉まっていることを確認してください。ボンネット、トランクについては実際に手で押さえつけて確認してください。

メーター(セーフティー

インジケーター) →93ページ

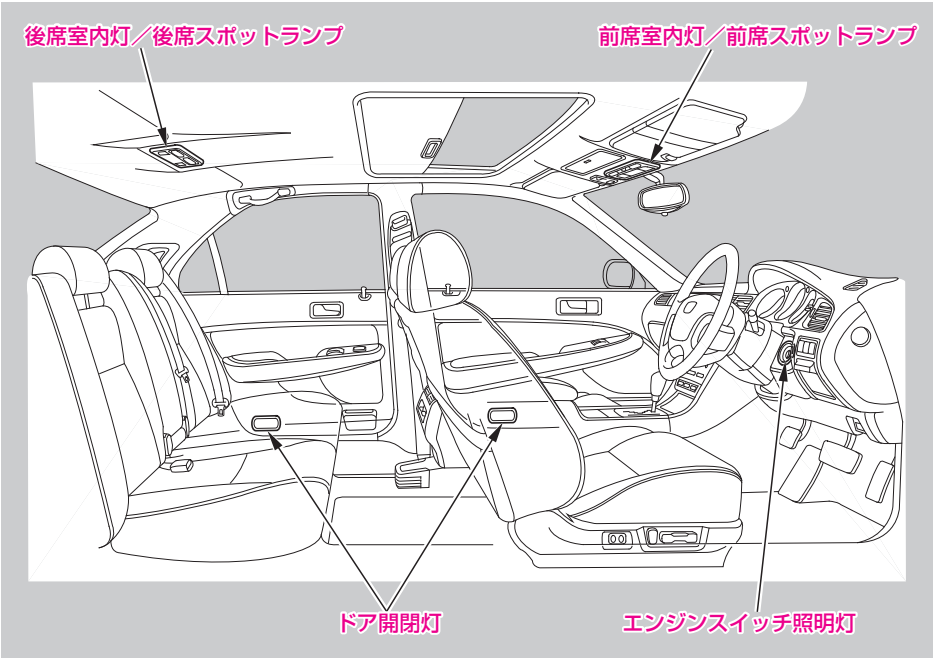
ボンネット →43ページ

トランク →45ページ

- 車内に人が乗っている状態またはウィンドーが開いた状態でもセキュリティシステムは作動します。警報装置の思わぬ作動を防ぐため、人が乗っている状態やウィンドーが開いた状態ではセキュリティシステムをセットしないでください。
- セキュリティシステムをセットしたあとに、バッテリーあがりなどでバッテリーの充電・交換をする際は、警報装置が作動する場合がありますので、キーあるいはキーレスエントリー用発信器でドアを解錠し、セキュリティシステムを解除してください。

室内照明

ドアを解錠したり開けたときなどに、室内の照明が自動的に点灯または消灯します。消灯するときは、徐々に減光してから消えます。



	室内灯 (中間位置)	ドア開閉灯	エンジン スイッチ照明灯
運転席ドアを開けたとき ※	○	○	○
他のドアを開けたとき ※	○	○	×
運転席を解錠したとき	△	△	×
キーをエンジンスイッチから抜いたとき	△	△	×

○…点灯します △…点灯し、その後消灯します ×…点灯しません

※：ドアを閉めると消灯します。また、ドアを開けたままでもエンジンスイッチが“II”以外の場合、約3分後に消灯します。

室内灯が点灯しているときに、運転席ドアを施錠したり、エンジンスイッチにキーが差し込まれた状態で運転席ドアを閉めたときは、室内灯は減光せずに消灯します。



室内灯

“ON”

ドアの開閉に関係なく点灯します。

(中間)

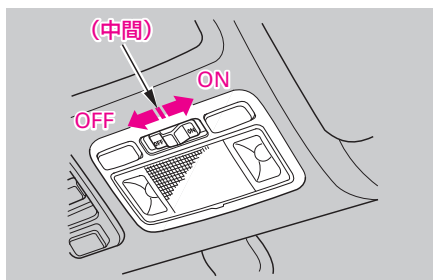
ドアを開いたときのみ点灯します。

(→202ページ)

“OFF”

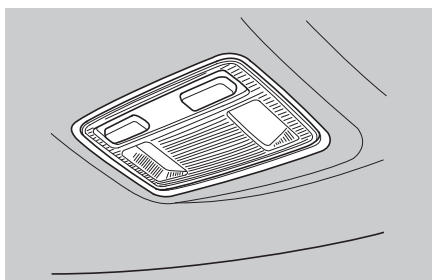
ドアの開閉に関係なく消灯します。

●前席用



●後席用

後席用室内灯の点灯・消灯は、前席用と連動します。

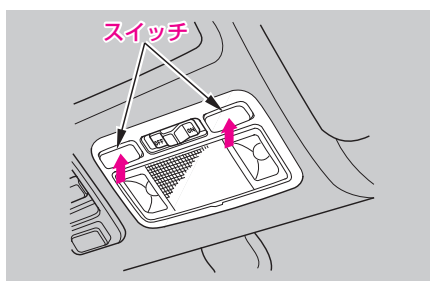


スポットランプ

●前席用

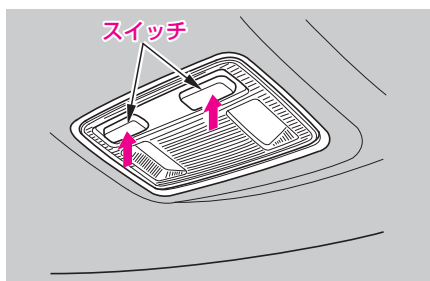
スイッチを押すと点灯し、もう一度押すと消灯します。

夜間、車を止めて地図などを見るときに便利です。



●後席用

ライトスイッチが“OFF”以外のとき(“AUTO”のときは車幅灯やヘッドライトが点灯している間のみ)スイッチを押すと点灯し、もう一度押すと消灯します。



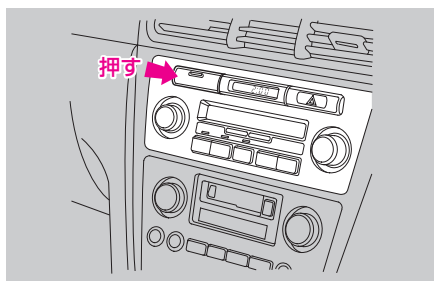
室内装備品

時計

ナビゲーションシステム非装備車

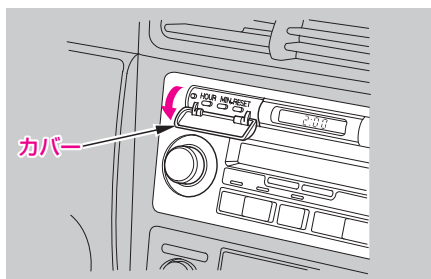
●時刻表示

エンジンスイッチが“II”で表示されます。
エンジンスイッチが“0”または“I”では
カバーを押している間、表示されます。



●表示の合わせかた

カバーを開け、エンジンスイッチを“II”
にします。



「時」の調整…“HOUR”スイッチを押しま
す。

「分」の調整…“MIN”スイッチを押します。

「時報合わせ」…時報と同時にRESET
スイッチを押します。

(例) 1:01 ~ 1:29の場合… 1:00
1:30 ~ 1:59の場合… 2:00



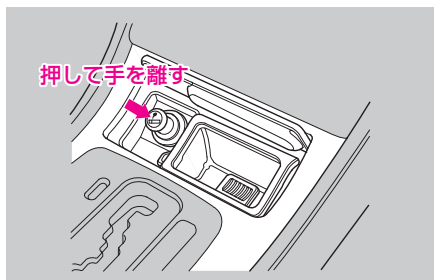
シガレットライター

エンジンスイッチが“Ⅰ”または“Ⅱ”のときだけ使えます。



ライターを押し込んで、手を離し、元の位置に戻るまで待ちます。

ヒーター部が赤熱すると自動的に戻ります。



ライター使用後は灰皿で灰を落としてからすみやかに元に戻してください。

⚠ 注意

- シガレットライターの金属部分には触れないでください。
やけどをするおそれがあります。

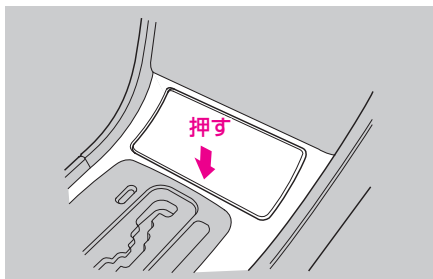
🎓 知識

- シガレットライターの損傷を防ぐため、次のことをお守りください。
 - ・ライターを押し込んだあと、押さえ続けしないでください。
 - ・ヒーター部に灰や異物が付着したまま使用しないでください。
 - ・ライターのさし込み口からは、**Honda**純正品以外の電気製品の電源を取り出さないでください。
- 他の車のライターを使ったり、自車のライターを修正したりしないでください。戻らなかったり、とび出したりするおそれがあります。
- ライターを押し込んでから、30秒以上たっても戻らないときは故障のおそれがありますので手で引き出し、ホンダクリオ店で点検を受けてください。

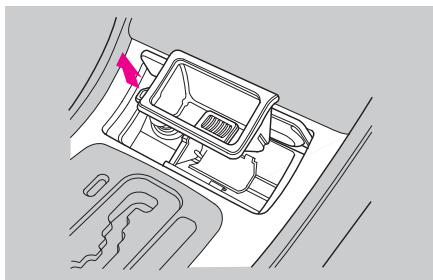
灰皿

●前席用

灰皿は矢印部分を押すと開きます。

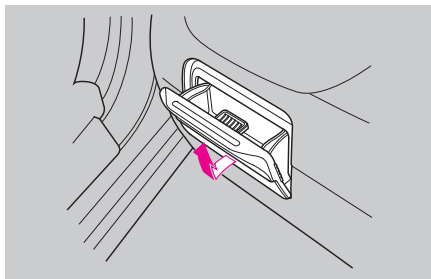


清掃するときは灰皿本体を引き抜けば、取り外すことができます。



●後席用

清掃するときは図の状態を取り外します。



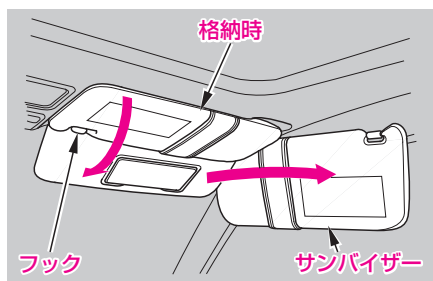
⚠ 注意

- タバコ、マッチなどは確実に火を消してから灰皿に捨て、灰皿は必ず閉めてください。
また、吸いがらをためすぎたり、紙くすなどの燃えやすいものを入れないでください。
タバコなどの火が燃え広がるおそれがあります。



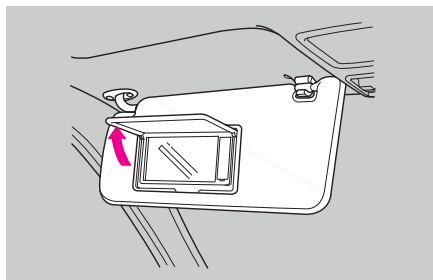
サンバイザー

サンバイザーを横にするときは、フックから外して行います。



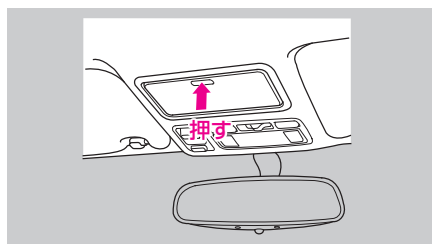
●バンティミラー(化粧鏡)

サンバイザーに鏡があります。お化粧のときなどに便利です。ライトスイッチが“OFF”以外のとき(“AUTO”)のときは車幅灯やヘッドライトが点灯しているときのみ)ふたを開けると照明灯が点灯します。

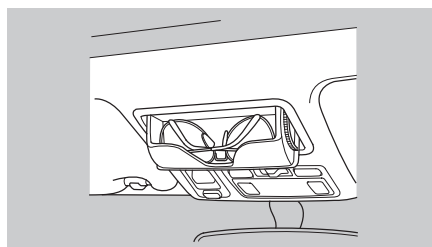


サングラスホルダー

矢印部を押すと開きます。もう一度押すと格納されます。



サングラスなどを入れることができます。



知 識

- 炎天下での駐車は高温になりますので、メガネなどを入れたままにしないでください。レンズやフレームが、変形やひび割れをおこすことがあります。
- 重い物や破損しやすい物、鋭利な物など入れないでください。
- 開閉は停車中に行い、走行中は必ず閉めておいてください。
- サングラスでも大きさ、形状により収納できないものがあります。

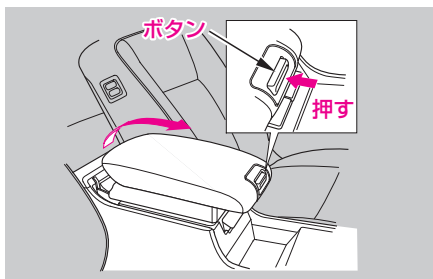
アームレスト

●前席用

高さを二段階に変えられます。



高くするときは、ボタンを押せば自動的に上がります。低くするときは、ボタンを押して確実に固定される位置まで下げます。

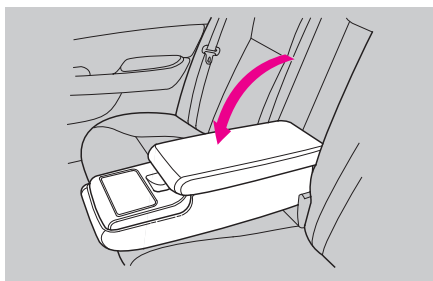


🎓 知識

- アームレストを下げるときは、指などをはさまないようにしてください。また、ボタンを押したままでは固定できないことがあります。

●後席用

引き出してアームレストとして使えます。



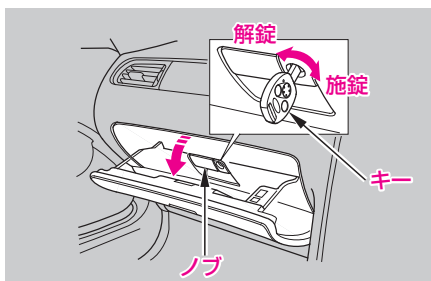
小物入れ

●グローブボックス

ノブを引くと開きます。

キーで施錠(解錠)できます。バレットキーでは施錠(解錠)できません。

ライトスイッチが“OFF”以外するとき(“AUTO”のときは車幅灯やヘッドライトが点灯しているときのみ)グローブボックスのふたを開けると、照明灯が点灯します。



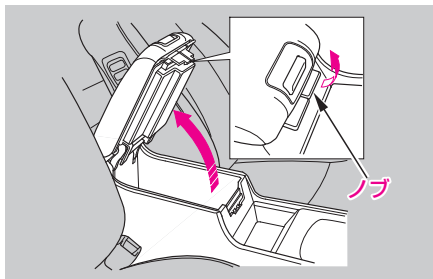
⚠ 警告

- 走行中は、グローブボックスのふたを必ず閉めてください。グローブボックスのふたが開いていると、衝突したときなどにふたにぶつかったり、内部の物がとび出したりして思わぬ事故につながります。

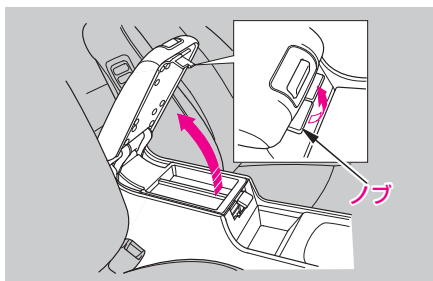


●コンソールボックス

助手席側のノブを引くと開きます。

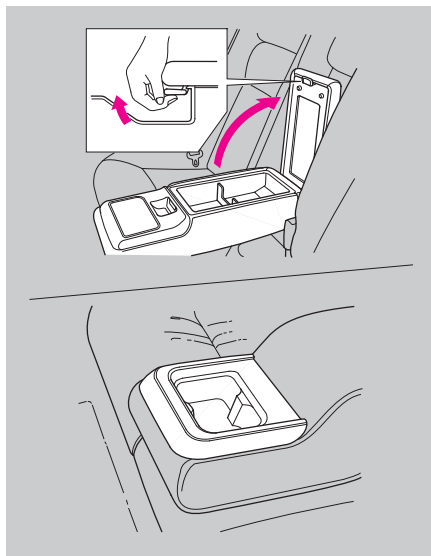


ふたの中も小物入れとして使えます。
運転席側のノブを引いて開けます。



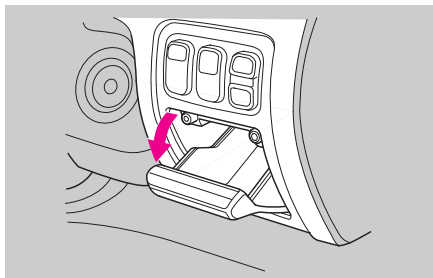
●後席用アームレスト タイプ別装備

アームレストの中を小物入れとして使えます。



コインボックス

ふたを下げると開きます。小銭を入れておく和有料道路の料金所などで便利です。ライトスイッチが“OFF”以外のときに(“AUTO”のときは車幅灯やヘッドライトが点灯しているときのみ)照明灯が点灯します。



カップホルダー

カップなどを置くときに使います。

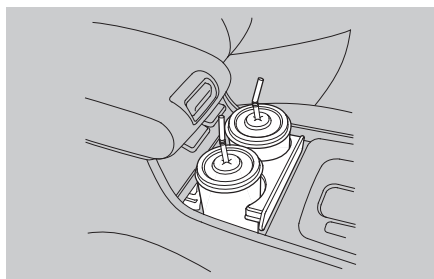
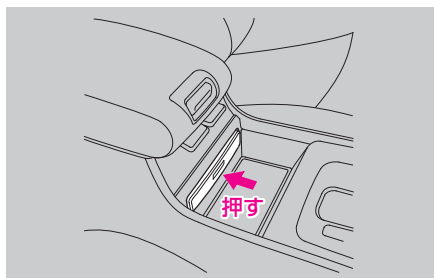
知識

- ドアの開閉や走行中の振動、車の動きなどで飲み物がこぼれることがあります。
熱い飲み物などはやけどのおそれがありますので注意してください。
- 飲み物がオーディオ等にかかる、故障の原因となりますので注意してください。



●前席用

カップホルダーは、押すと手前へ出てきます。

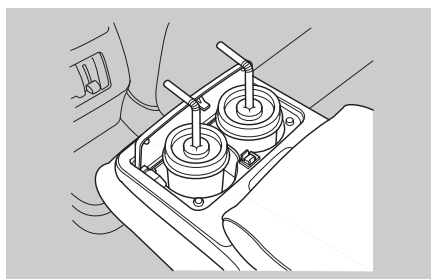
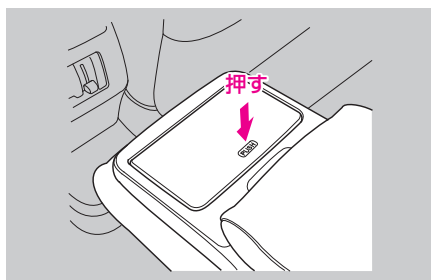


格納するときは、そのまま押し込みます。

●後席用

タイプ別装備

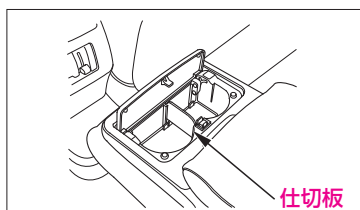
アームレストを引き出して使います。フタを押して開け、カップホルダーとして使えます。



カップホルダーを使わないときは、フタを閉めてください。

知識

- カップホルダー内の仕切板を外せば、小物入れとして使えます。



アクセサリースOCKET

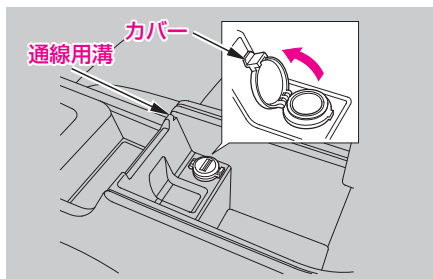
コンソールボックスの中にアクセサリースOCKETがあります。

カバーを開けて使用します。

Honda純正の電気製品の電源を取り出すのに使用します。

(定格120W[12ボルト、10アンペア]まで使用できます。)

電気製品のコードをコンソールボックスのふたにはさんで損傷しないように通線用溝に通してください。

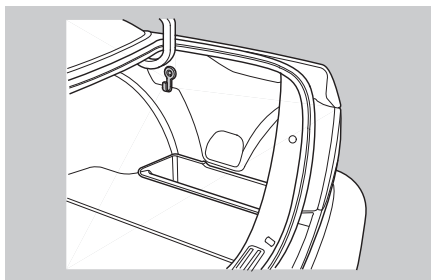


知 識

- **Honda**純正品以外の電気製品の電源を取り出さないでください。バッテリーあがりやアクセサリースOCKETの損傷の原因となります。
- バッテリーあがりを防ぐため、エンジンがかかっている状態でご使用ください。
- シガレットライターは差し込まないでください。発熱するおそれがあります。
- アクセサリースOCKETを使わないときは、異物の侵入を防ぐためカバーを閉めてください。

荷物フック

トランクルーム内にフックがあります。



5

万ーのとき

●工具・スペアタイヤ・発炎筒

格納場所 ……………214

工具の種類 ……………215

発炎筒について ……………215

●故障したとき

踏切で動けなくなったとき …216

高速道路で故障したとき ……216

道路で動けなくなったとき …217

故障の修理について ……………217

●事故が起きたとき ……………218

●けん引

けん引されるとき

(ロープによるけん引) ……220

故障車をけん引するとき ……223

●パンクしたとき

ジャッキの取り扱い ……………224

応急用スペアタイヤ ……………226

タイヤ交換 ……………227

●オーバーヒートしたとき

……………232

●電気系統が異常のとき

バッテリーあがりのとき ……234

ライト類が点灯しないとき、
電気装置が
作動しないとき ……………237

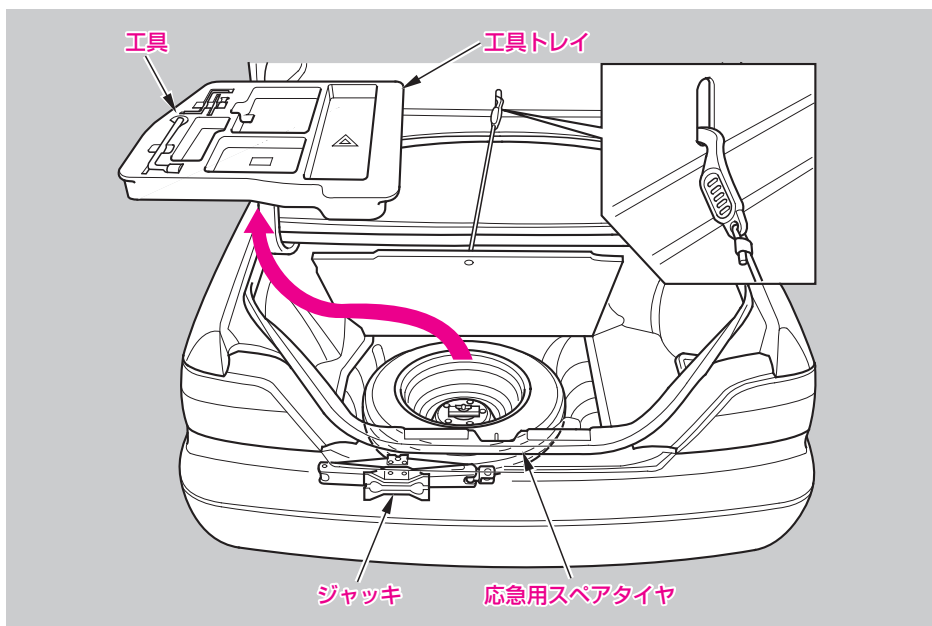
サンルーフが作動
しないとき ……………249

* 全国のHonda販売店およびJAFの電話番号は別冊の「サービス網一覧」に記載してあります。

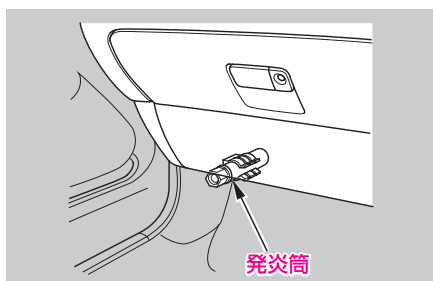
工具・スペアタイヤ・発炎筒

格納場所

●工具・スペアタイヤ



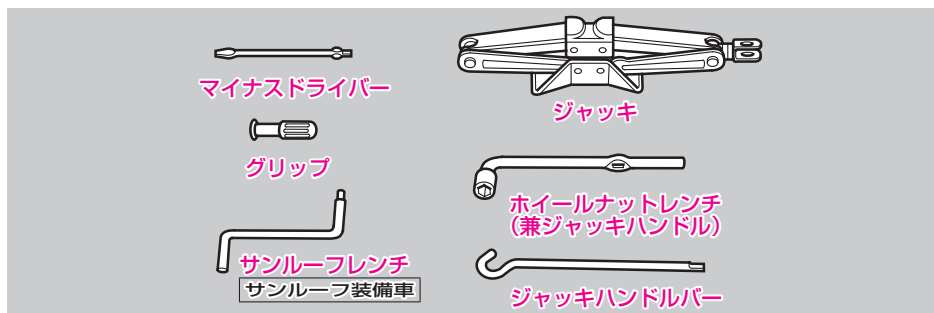
●発炎筒



発炎筒は助手席足元にあります。



工具の種類



知 識

- 工具の種類、ジャッキ、発炎筒の使いかたなどは万ーのとき困らないようあらかじめ確かめておきましょう。
- スペアタイヤ、ジャッキは走行中動かないように、所定の位置にしっかり固定してください。
- 高速道路で故障などにより停止するときは、停止表示器材による表示義務がありますので、停止表示板などを常時携帯するようにしましょう。

発炎筒について

高速道路、踏切などの危険な場所で故障したときに使います。発炎筒に記載されている次のことをよく読んであらかじめ確認しておいてください。

- ・ 使いかた
- ・ 使用上の注意
- ・ 発炎時間
- ・ 有効期限

警告

- ガソリンなどの燃えやすいもののそばでは使わないでください。火災や爆発のおそれがあります。

注意

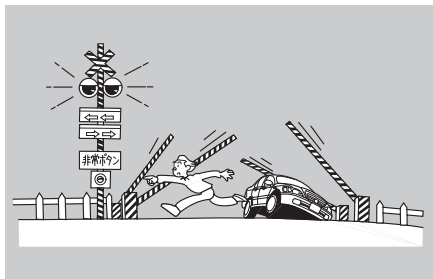
- お子さまにいらせないでください。いたずらなどにより発炎筒が発火して思わぬ事故ややけどの原因になります。
- 発炎筒を使うとき顔やからだに向けてとやけどなどをすることがあるのでおやめください。
- トンネル内では視界を悪くするので使用しないでください。トンネル内では非常点滅表示灯を使ってください。

故障したとき

車を路肩に停め、非常点滅表示灯を点滅させます。必要に応じて停止表示板(または停止表示灯)、発炎筒を使い、後続する車に故障車とわかるようにします。

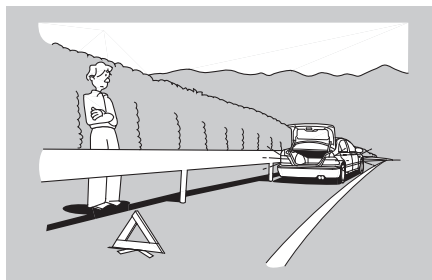
踏切で動けなくなったとき

脱輪などで踏切内で動けなくなったときは、踏切の非常ボタンを押してください。非常ボタンがわからず、緊急を要するときは、発炎筒で合図をしてください。



高速道路で故障したとき

車を路側帯に寄せ、非常点滅表示灯を点滅させ、車両後方に停止表示板(または停止表示灯)を置いて表示してください。法律で義務づけられています。

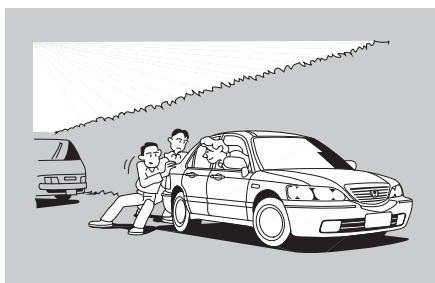


人は車からおりて、安全な場所に避難してください。



道路で動けなくなったとき

一般道路で動けなくなったときは、付近の人に安全な場所まで押してもらってください。



知 識

- オートマチック車はスターターを回して車を動かすことはできません。

故障の修理について

ホンダクリオ店へお申しつけください。



お持ちこみいただければ、簡単なものはその場で修理いたします。長くかかるものは、予定をお知らせします。

お持ちこみのむずかしいときには電話でご連絡ください。

遠出などのときは全国どこでもHonda販売店へご連絡ください。

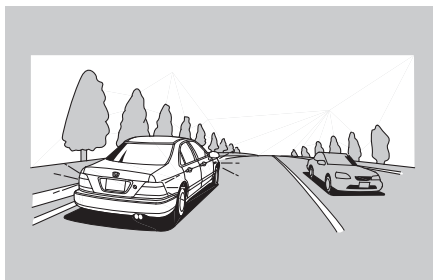
Honda販売店およびJAFの電話番号については別冊の「サービス網一覧」をご覧ください。

事故が起きたとき

あわてずに次の処置をとります。

1 事故の続発を防ぐ。

他の交通のさまたげにならないような安全な場所(路肩、あき地など)に車を移動させ、エンジンを止めます。



2 負傷者がいる場合は、応急手当を行う。

医師、救急車などが到着するまでの間、可能な応急手当を行います。

この場合、とくに頭部に傷などがあるときは、そのままの姿勢で動かさないようにしますが、後続事故の心配があるときは安全な場所に移動させます。



知 識

- 外傷がなくても医師の診断を受けましょう。後になってから後遺症が出るおそれがあります。



3 警察へ連絡する。

事故が発生した場所、状況、負傷者や負傷の程度などを警察官に報告し、指示を受けます。



4 相手方、事故の状況をメモする。

5 ご購入された販売店や保険会社へ連絡する。

けん引

けん引は専門業者に依頼し、できるだけ四輪または前輪を持ち上げて行ってください。



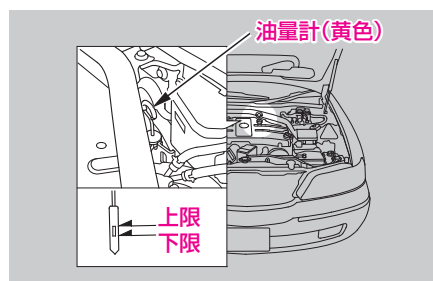
アドバイス

- 車輪が動かないときなど動力伝達装置に異常があると思われるときは、必ず四輪または前輪を持ち上げてけん引してください。

けん引されるとき (ロープによるけん引)

やむをえず四輪を接地させてロープでけん引を行う場合は、次の方法で行ってください。

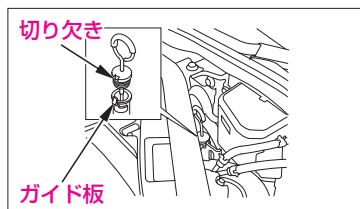
- ①トランスミッションオイルの量が目盛りの上限と下限の間にあるかを点検します。



下限より下がっている場合は、四輪または前輪を持ち上げてけん引してください。

知識

- 油量計は、ゴム部の切り欠きを注入口のガイド板にあわせて、いっぱい差し込んでください。

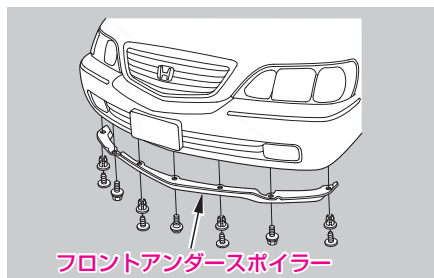




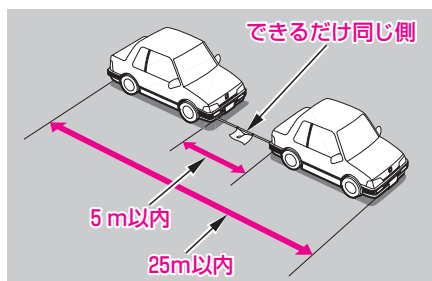
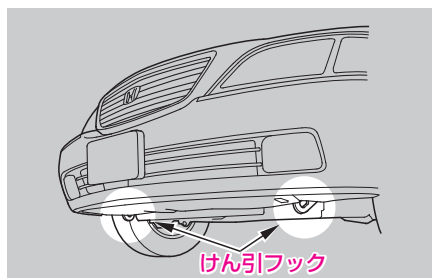
- ②フロントアンダースポイラーを外します。

 アドバイス

- 外さないでけん引されると、フロントアンダースポイラーに傷をつけるおそれがあります。



- ③ロープをけん引フックにかけ、ロープ中央部に白い布(0.3m平方以上)を付けます。



- ④セレクトレバーはN(ニュートラル)に、エンジンスイッチは“Ⅰ”または“Ⅱ”にします。
- ⑤パーキングブレーキを解除し、けん引されます。けん引中は、前の車の制動灯に注意してロープをたるませないようにしてください。
- ⑥速度30km/h以下、走行距離80km以内でけん引してください。

アドバイス

- けん引フックにロープをかけるときは、車体やフックの破損・変形を防ぐために次のことに気をつけてください。
 - ・けん引フック以外のところにロープをかけないでください。
 - ・けん引時にけん引フックに大きな衝撃が加わるような運転をしないでください。
- ワイヤーロープや金属製のチェーンなどを使ってけん引されるときは、車体にあたる部分のチェーンに布をまくなどして行ってください。
そのままけん引されると、バンパーに傷をつけるおそれがあります。

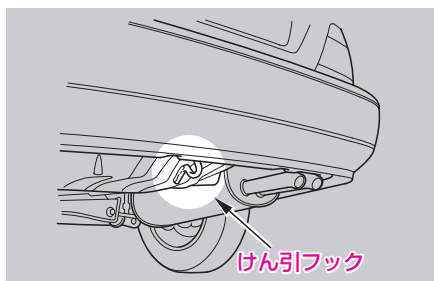
知 識

- エンジンが停止している状態でのけん引は、次のことに気をつけてください。
 - ・ブレーキの倍力装置がはたらかなくなるので、ブレーキのききが悪くなります。
 - ・パワーステアリングのパワー装置がはたらかなくなるので、ハンドル操作が重くなります。
- 長い下り坂では、ブレーキ部の温度が上がりブレーキがきかなくなるおそれがあります。レッカー車にけん引してもらってください。



故障車をけん引するとき

やむをえず故障車をけん引するときは、自車より重い車のけん引は避けてください。



アドバイス

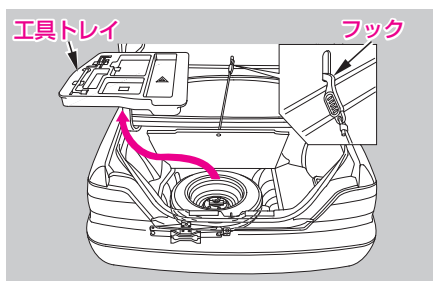
- けん引フックにロープをかけるときは、車体やフックの破損・変形を防ぐために次のことに気をつけてください。
 - ・けん引フック以外のところにロープをかけないでください。
 - ・けん引時にけん引フックに大きな衝撃が加わるような運転をしないでください。
- ワイヤーロープや金属製のチェーンなどを使ってけん引するときは、車体に当たる部分のチェーンに布をまくなどして行ってください。そのままけん引すると、バンパーに傷をつけるおそれがあります。

パンクしたとき

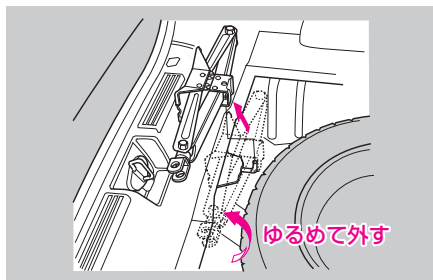
ジャッキの取り扱い

●ジャッキの取り出しかた

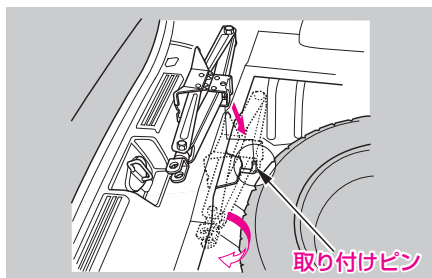
- ①リッドを開け、フックを図の位置にかけます。工具トレイを取り出します。



- ②ジャッキをゆるめて外します。



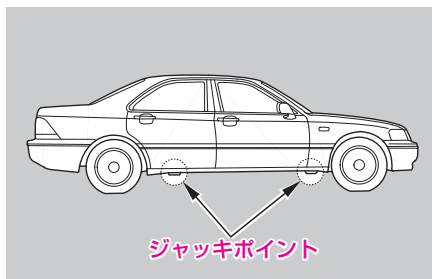
ジャッキを取り付けるときは、ジャッキの穴をトランク内の取り付けピンに合わせて締めます。



知 識

- ジャッキを格納するときはドライバーなどで無理に締めないでください。
ジャッキ取り付け部が変形するおそれがあります。

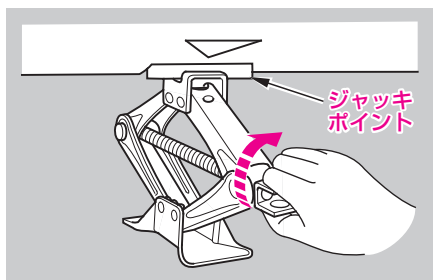
●ジャッキをかける位置



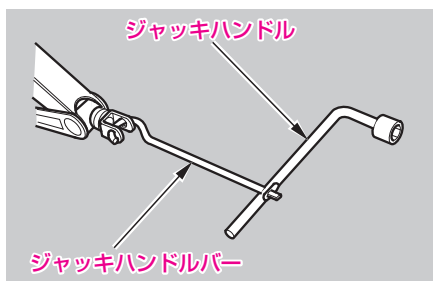


●ジャッキのかけかた

- ①地面が固い平らなところに車を停めます。
- ②パーキングブレーキを十分にかけ、交換するタイヤと対角線上にあるタイヤの前後に石などで輪止めをします。
- ③ジャッキを地面に置き、手で回してジャッキの溝がジャッキポイントに入るまで上げます。



- ④ジャッキハンドルとジャッキハンドルバーを使って、タイヤと地面が少し離れるまで車体を上げます。



⚠警告

- 車がジャッキだけで支えられているときは、不安定な状態にあるので車の下に入ったりしないでください。
万一、ジャッキが外れると、思わぬ事故につながります。

⚠注意

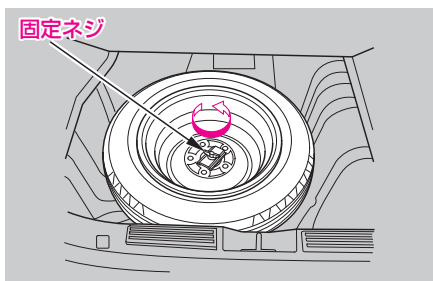
- ジャッキを使うときは安全のため、次のことを必ず守ってください。
 - ・エンジンをかけたままにしない。
 - ・地面が固い平らなところ以外では使用しない。
 - ・指定された位置以外にかけない。
 - ・人や荷物をのせたままにしない。
 - ・ジャッキの上や下に物をいれたりしない。
 - ・タイヤ交換やタイヤチェーン着脱以外には使用しない。

🎓知識

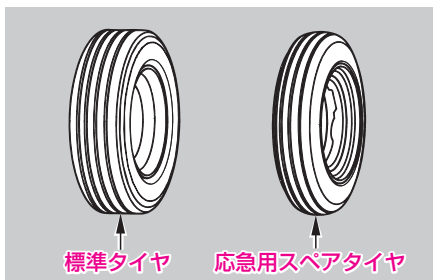
- この車に搭載されているジャッキをお使いください。他のジャッキでは支えられる重量(呼荷重)が不足したり、形状が合わないことがあります。

応急用スペアタイヤ

工具トレイを取り出し、固定ネジをゆるめて取り出します。



応急用スペアタイヤは、タイヤがパンクしたときの応急用としてのみに使うタイヤです。



お使いになるときは次のことをお守りください。

知 識

- 空気圧はときどき点検し、指定空気圧でお使いください。

指定空気圧：

420 kPa (4.2 kgf/cm²)

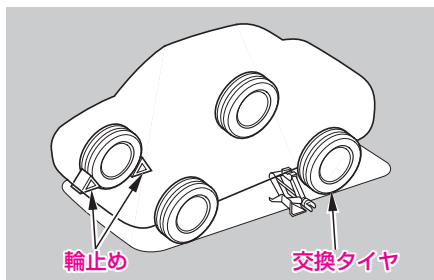
- 応急用スペアタイヤを装着したときは、100km/h以下で走行し、できるだけ早く標準タイヤに交換してください。
- 応急用スペアタイヤは標準タイヤと比べて直径が小さいため車高が低くなります。突起物など乗り越えるときは、車の下にひっかけないように注意してください。
- この応急用スペアタイヤとホイールはこの車の専用品です。他のタイヤやホイールと組み合わせたり、他の車に使わないでください。
- 応急用スペアタイヤにはタイヤチェーンは装着できません。チェーン装着時に前輪がパンクしたときは、応急用スペアタイヤを後輪に装着し、外した後輪タイヤを前輪に取り付け、これにタイヤチェーンを装着してください。



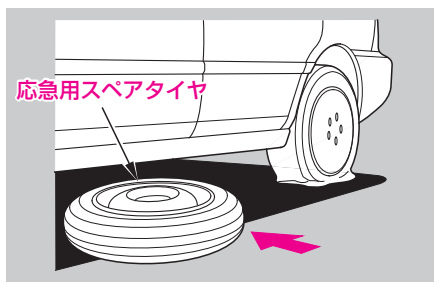
タイヤ交換

1 はじめに

- ①車を地面が固く平らで安全な場所に停め、工具類、応急用スペアタイヤを取り出します。
- ②パーキングブレーキを十分にかけ、交換するタイヤと対角線上にあるタイヤの前後に石などで輪止めをします。

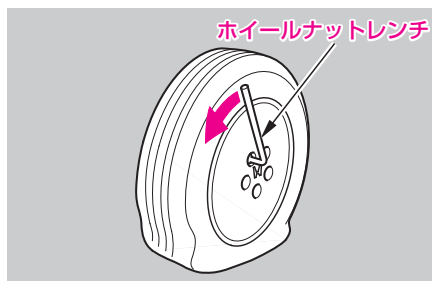


- ③応急用スペアタイヤは交換するタイヤ近くの車体の下にホイール表面を上にして置きます。

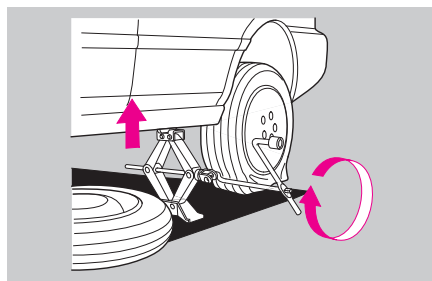


2 ジャッキで車体を上げる

- ①ジャッキをセットします。→224ページ
- ②ホイールナットをホイールナットレンチで少し(約1回転)ゆるめます。

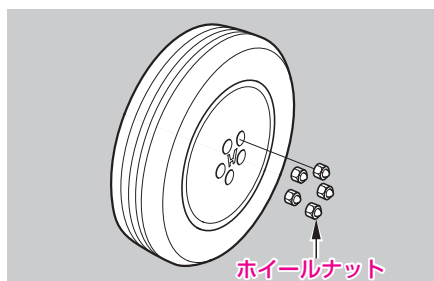


- ③タイヤと地面が少し離れるまでジャッキで車体を上げます。



3 タイヤを交換する

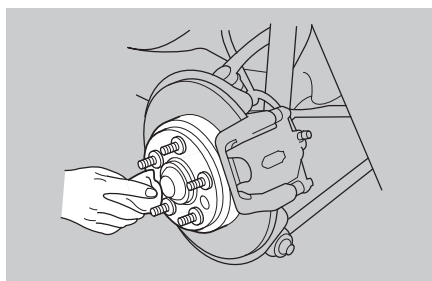
- ① ホイールナットを外し、タイヤを外します。



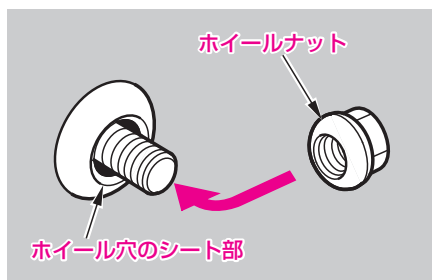
知 識

- タイヤを地面に置くときは、ホイール表面を上にして置いてください。
下にして置くと、ホイールに傷がつくおそれがあります。

- ② 応急用スペアタイヤのホイールの接触面のよごれをふき取ります。



- ③ 応急用スペアタイヤを取り付けます。
④ ホイールナットがホイール穴のシート部に軽く当たり、ホイールがガタつかない程度までホイールナットを締めます。

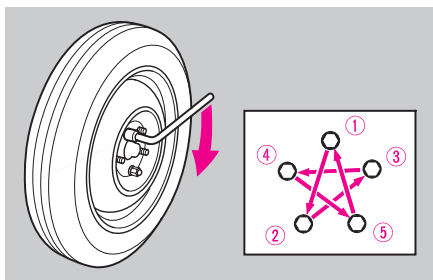




- ⑤ジャッキをおろし、図の番号順に2～3度にわたり、ホイールナットをしっ
かり締め付けます。

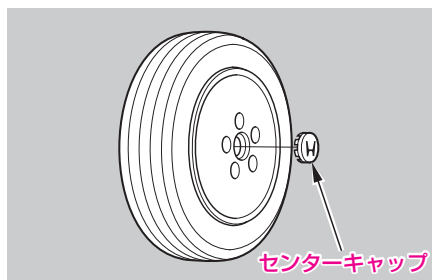
ホイールナット締め付けトルク：

98－118 N・m (10.0－12.0 kgf・m)

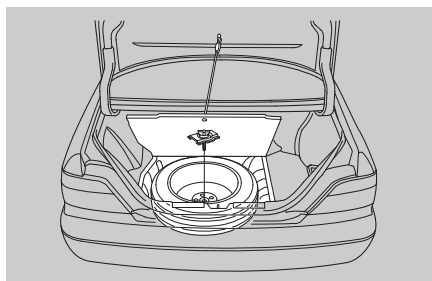


4 標準タイヤを収納する

- ①パンクした標準タイヤはセンターキャ
ップを外します。

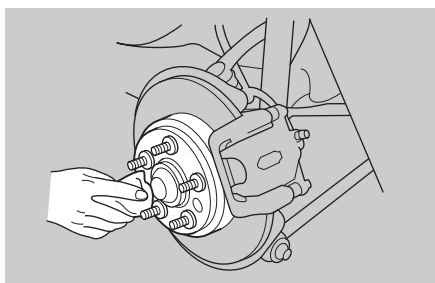


- ②パンクした標準タイヤをしまい、固定
ネジで締め付けます。



5 標準タイヤを取り付けるときは

- ①標準タイヤのホイールの接触面のよごれをふき取ります。

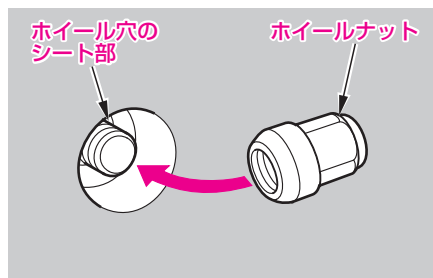


知 識

- タイヤを地面に置くときは、ホイール表面を上にして置いてください。
下にして置くと、ホイールに傷がつくおそれがあります。

- ②標準タイヤを取り付けます。

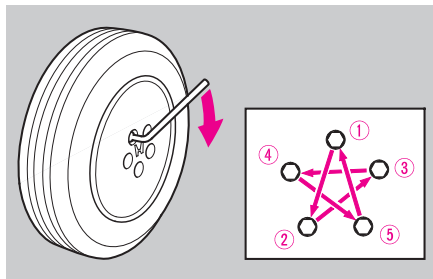
- ③ホイールナットがホイール穴のシート部に軽く当たり、ホイールがガタつかない程度までホイールナットを締めます。



- ④ジャッキをおろし、図の番号順に2～3度にわたり、ホイールナットをしっかり締め付けます。

ホイールナット締め付けトルク：

98－118 N・m (10.0－12.0 kgf・m)





アドバイス

- VSA装備車は、四輪とも同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤをお使いください。
サイズ、種類、銘柄や摩耗度合いの異なるタイヤを混用するとVSAが正常に機能しなくなることがあります。



知識

- この車専用のホイールをお使いください。
専用以外のホイールを使うと走行装置やブレーキ装置に支障をきたすおそれがあります。ホイール交換に際しては、必ずホンダクリオ店にご相談ください。
- レンチを足で踏んだり、パイプなどを使って必要以上に締め付けないでください。
トルクがかかりすぎることがあります。
- パンク修理、タイヤの摩耗、リムの変形などでホイールバランスが狂うことがあります。車体の振動などの異常を感じたらホンダクリオ店で点検を受けてください。
- タイヤ交換は安全のため、地面の硬い平らな場所で、他の交通に十分注意して行ってください。必要に応じて停止表示板、非常点滅表示灯を使ってください。
- 必ず指定サイズ、同一種類のタイヤを使ってください。指定サイズ以外のタイヤや種類の異なるタイヤを使うと安全性を損ないます。
- 応急用スペアタイヤの空気圧は使うときに調整してください。
やむをえず、未調整のまま走る場合は、速度を控えめにしてください。
タイヤの空気圧 →288ページ
- パンク修理などでホイールを取り付け直したときには、念のため1,000km走行時にホイールナットのゆるみの有無を点検してください。

オーバーヒートしたとき

次のようなときは、オーバーヒートです。

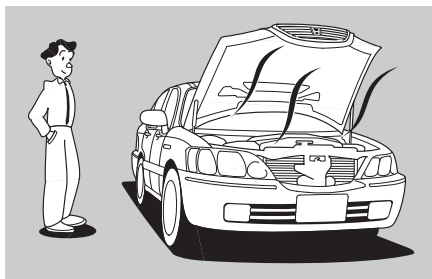
- ・水温計の針が“H”の目盛に入ったり、エンジンの力が急に落ちる。
- ・エンジンルームから蒸気が立ちのぼっている。

⚠ 警告

- エンジンルームから蒸気が出ているときは、ボンネットを開けないでください。
蒸気や熱湯がふき出し、やけどなどの重大な傷害を受けるおそれがあります。
- エンジンが十分に冷え、水温が下がるまでラジエーターキャップを外さないでください。
冷却水には圧力がかかっているため、蒸気や熱湯がふき出し、やけどなどの重大な傷害を受けるおそれがあります。

●処置のしかた

- ①車を安全な場所に停めます。
- ②エンジンをかけたままボンネットを開けて風通しをよくします。



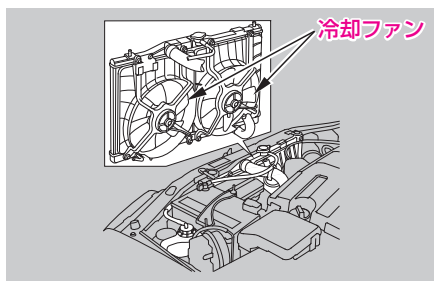
🎓 知識

- エンジンルームから蒸気が出ているときは、エンジンを止めます。
蒸気が出なくなってからボンネットを開け、エンジンをかけてください。



- ③冷却ファンの作動を確認し、水温計の針が下がってきてからエンジンを止めます。

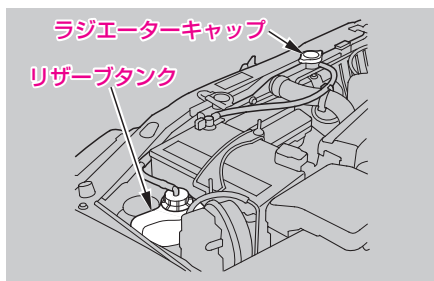
冷却ファンが作動していないときはすぐにエンジンを止めてください。



アドバイス

- 冷却ファンが作動していない場合は、故障が考えられますので、ホンダクリオ店へご連絡ください。

- ④エンジンが冷えてから、冷却水量、ホースなどからの水漏れを点検します。



- ⑤冷却水量が不足していたらラジエーターとリザーブタンクに冷却水を補給します。冷却水がない場合は、応急的に水を補給します。

アドバイス

- エンジンが熱いときに冷却水を入れないでください。急に冷たい冷却水を入れると、エンジンが損傷するおそれがあります。冷却水はエンジンが冷えてからゆっくりと入れてください。

- ⑥なるべく早くホンダクリオ店で点検を受けてください。

電気系統が異常のとき

バッテリーあがりのとき

次のようなときは、バッテリーあがりです。

- ・スターターが回らないか、回っても回転が弱くエンジンがかからない。
- ・ライトがいつもより極端に暗かったり、ホーンの音が小さい。

●処置のしかた

救援車のバッテリーを利用してエンジンを始動させます。

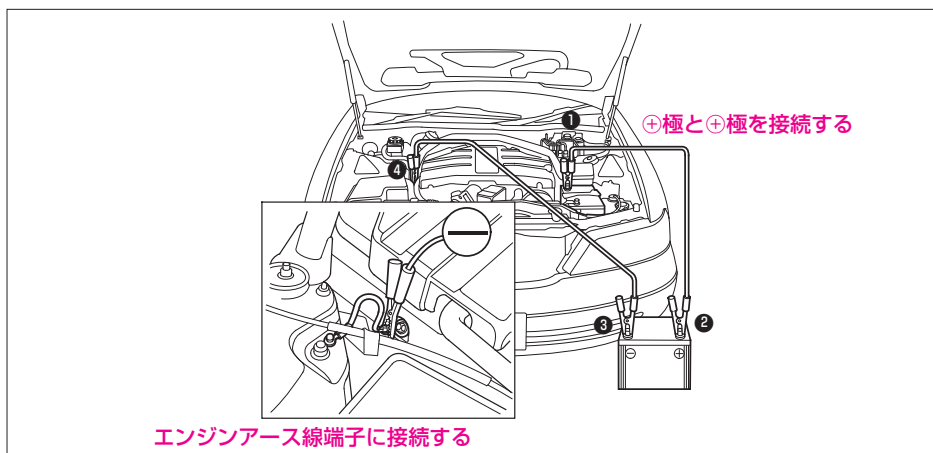
①ブースターケーブルを次の順番でつなぎます。

1 本目

- ①自車のバッテリーの⊕端子
- ②救援車のバッテリーの⊕端子

2 本目

- ③救援車のバッテリーの⊖端子
- ④自車のエンジンのアース線端子



②救援車のエンジンを始動し、回転数を少し高めにします。

③自車のエンジンをかけます。

④ブースターケーブルをつないだときと逆の順番で外します。

⑤Honda販売店や最寄りのガソリンスタンドなどで点検を受けてください。



⚠ 警告

- バッテリーを取り扱うときは次のことを必ず守ってください。
バッテリーから発生する可燃性のガスに引火すると爆発のおそれがあります。
 - ・ バッテリー液が不足しているときは、エンジンの始動または充電を行わないでください。
 - ・ 火気を近づけないでください。
 - ・ 帯電した体でバッテリーに触れないでください。
 - ・ 換気に十分注意し、換気の悪い場所では充電を行わないでください。
 - ・ バッテリーを充電するときは、すべてのキャップを外してください。
- ブースターケーブルをつなぐときは次のことを必ず守ってください。火花が出て、バッテリーから発生する可燃性のガスに引火すると爆発のおそれがあります。
 - ・ 自車のバッテリーの⊖端子に直接ケーブルをつながないでください。
 - ・ ⊕端子と⊖端子を間違えないでください。
 - ・ ケーブルの先端どうしを接触させないでください。
- バッテリー液は希硫酸です。目や皮ふに着くとその部分が侵されますので十分注意してください。
万一、付着したときはすぐに多量の水ですくなくとも5分間以上洗浄し、飲み込んだときはすぐに多量の飲料水を飲んでください。応急処置後は、専門医の診察を受けてください。

知 識

- バッテリー液が不足しているときは、使用しないでください。
バッテリー内部の劣化の進行が促進するおそれがあります。
- ブースターケーブルのクリップは、エンジン始動時などの振動で外れたりしないように確実に固定してください。また、ブースターケーブルが冷却ファンやベルトに巻き込まれないように十分気をつけてください。
- 救援車には、12Vのバッテリーを装着している車を使用してください。
- バッテリーを外したときは、エンジンのアイドリング回転数を安定させるための学習機能の記憶が消されますので、安全な場所に停車してエアコンスイッチを“OFF”にし、冷却ファンが回るまでエンジンを暖めた後さらに5分間以上アイドリングを行ってください。
- バッテリー交換などでバッテリーケーブルを取り外すと、ラジオにセットされた周波数が消去されます。また、バッテリーを取り付けた後は運転席パワーウィンドーのオート作動ができなくなります。その場合は、オート作動の機能を復帰させてください。

はさみ込み防止機構 →49ページ



ライト類が点灯しないとき、 電気装置が作動しないとき

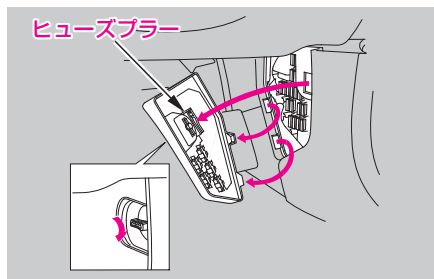
バッテリーがあがっていないときは、ヒューズ切れや電球(バルブ)切れが考えられます。

- ① エンジンスイッチを“0”の位置にします。
- ② ヒューズが切れていないかを点検します。
 - ・故障の状況から点検すべきヒューズをヒューズボックスの表示で確認し、点検します。
- ③ 必要に応じて、ヒューズや電球を交換します。

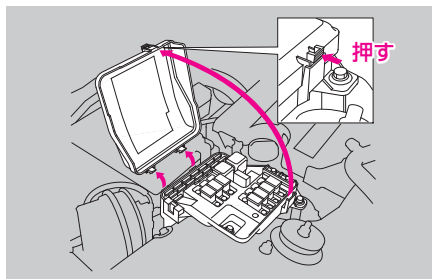
●ヒューズの点検、交換

ヒューズボックスの位置

・運転席足元

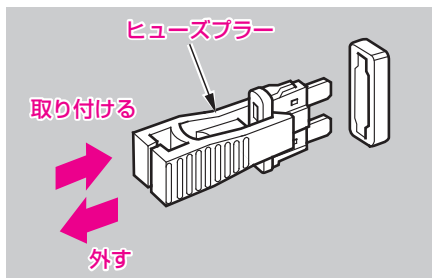


・エンジンルーム内

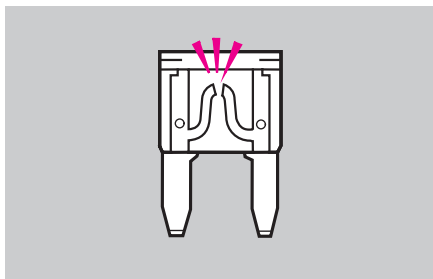


ヒューズの外しかた

備え付けのヒューズプラーでヒューズを外します。



ヒューズが切れているとき



ヒューズボックスの表示に従い規定容量のヒューズに交換します。



アドバイス

- 規定容量のヒューズ以外のものは絶対に使わないでください。配線コードなどを焼損させる原因となります。

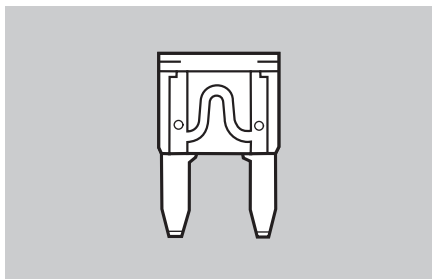


知識

- 交換しても、またヒューズが切れる場合は、電気系統の異常が考えられますので、ホンダクリオ店で点検を受けてください。
- オーディオのヒューズが切れると、ラジオにセットされた周波数が消去されます。
- 運転席パワーウィンドーのヒューズが切れると、ヒューズを交換した後も運転席パワーウィンドーのオート作動ができなくなります。その場合は、オート作動の機能を復帰させてください。

はさみ込み防止機構 →49ページ

ヒューズが切れていないとき



- ライト類が点灯しないときは、電球切れが考えられます。電球を点検し、切れているときは交換してください。



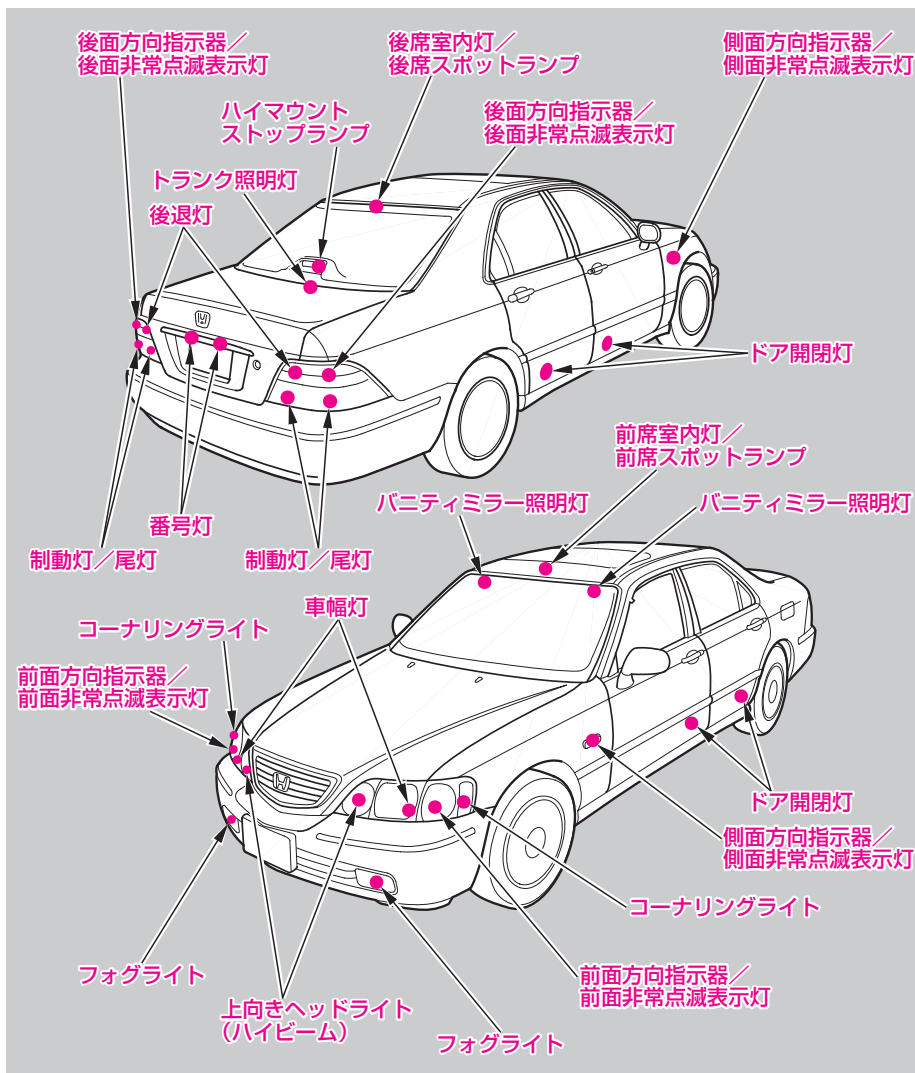
知識

- 電球が切れていない場合は、電気系統の異常が考えられますので、ホンダクリオ店で点検を受けてください。
- ライト類以外の電気装置が作動しないときは、電気系統の異常が考えられますので、ホンダクリオ店で点検を受けてください。



●電球(バルブ)の交換

ヒューズが切れていないのにライト類が点灯しないときは、電球切れが考えられます。電球を点検し、切れているときは交換してください。



知 識

- ランプ本体やレンズを外すときは、ボディに傷を付けないように注意してください。
- 電球を交換するときはワット(W)数の違うものを使わないでください。

電球のワット数 →285ページ

- ハロゲンバルブはガラス球内部の圧力が高いため、落したり、物をぶつけたり、傷をつけたりすると破損してガラスがとび散ることがあります。

取り扱いには十分に注意してください。

また、ハロゲンバルブの電球の表面に手などが、触れないようにしてください。使用時電球が高温になるため、油などが付着すると寿命が短くなります。触れた場合は、中性洗剤の薄い水溶液を柔らかい布に含ませてよくふき取ってください。

- ヘッドライト、制動灯などのランプは、雨天走行や洗車などの使用条件によりレンズ内面が一時的に曇ることがあります。これはランプ内部と外気の温度差によるもので、雨天時などに窓ガラスが曇るのと同様の現象であり、機能上の問題はありません。

ただし、レンズ内面に大粒の水 droplet がついているときやランプ内に水がたまっているときは、ホンダクリオ店にご相談ください。

ヘッドライト(ロービーム)について

ヘッドライト(ロービーム)の電球切れの点検、交換は必ずホンダクリオ店で行ってください。

注意

- ディスチャージヘッドライトは高電圧を使用しており、不適切な取り扱いや分解を行うと感電するおそれがあります。

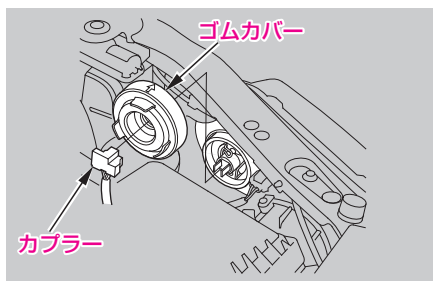


ヘッドライト(ハイビーム)

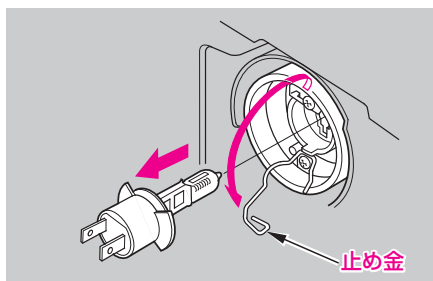
ハロゲンバルブを使用していますので、取り扱いに注意してください。

ハロゲンバルブ →240ページ

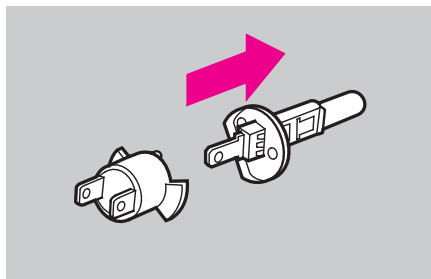
- ①カブラーを抜き取ります。
- ②ゴムカバーを外します。



- ③止め金を外し、電球を外します。



- ④電球本体を抜き取ります。

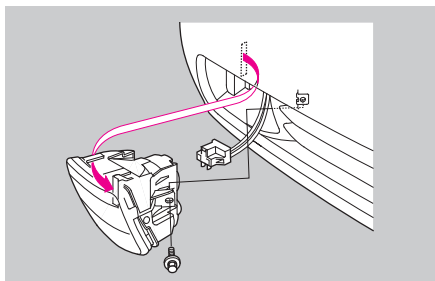


フォグライト

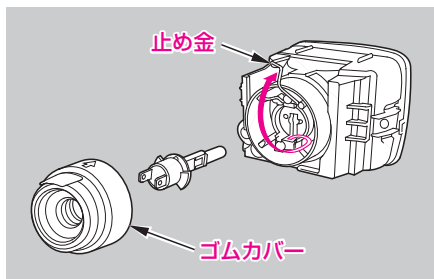
ハロゲンバルブを使用していますので、取り扱いに注意してください。

ハロゲンバルブ →240ページ

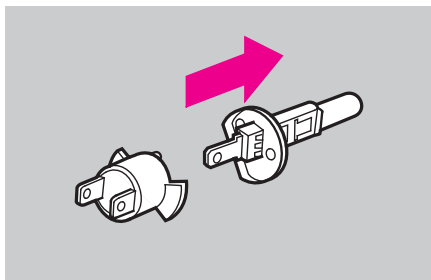
- ①取り付けボルトを外してライト本体を取り外します。
- ②カブラーを抜き取ります。



- ③ゴムカバーを外します。
- ④止め金を外し、電球を外します。



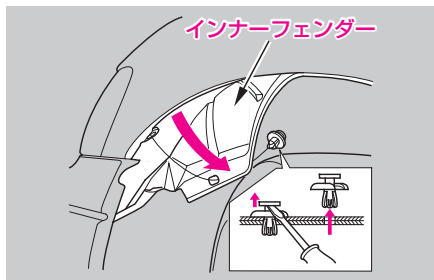
- ⑤電球本体を抜き取ります。



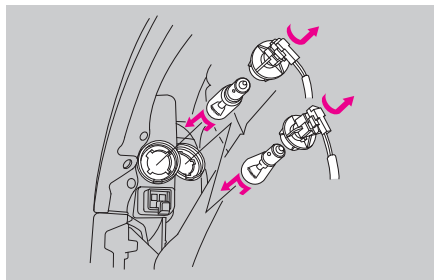


前面方向指示器／前面非常点滅表示灯、 コーナリングライト

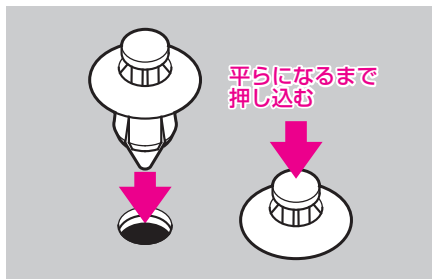
- ①交換する側と反対にハンドルをいっばいに切ります。
- ②クリップを外してインナーフェンダーをめくります。



- ③ソケットを左へ回して外し、電球を押しながら左へ回して抜き取ります。

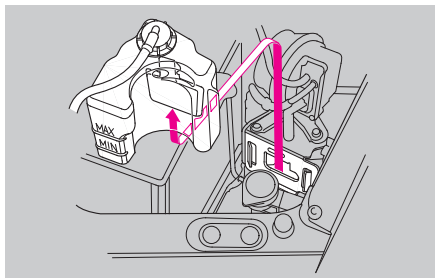


インナーフェンダーを固定するときは、クリップの中央部のピンを起こしたままインナーフェンダーに差し込み、ピンを平らになるまで押し込みます。

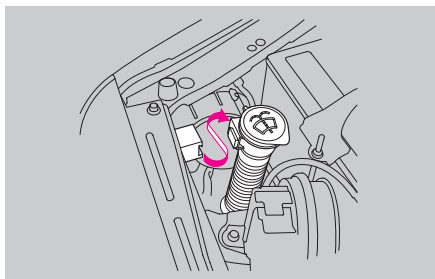


車幅灯

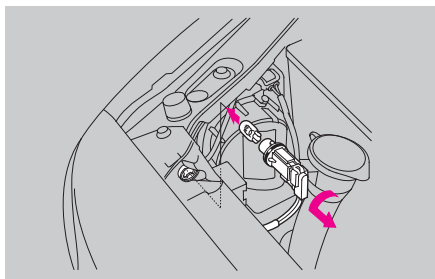
- ①左側を交換するときは、ラジエーターリザーブタンクを引き上げて外します。



- ②ウォッシャータンクの注入口を外します。



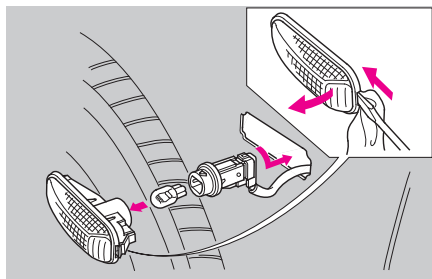
- ③ソケットを左に回して外し、電球を抜き取ります。



側面方向指示器／側面非常点滅表示灯

ドライバーの先端に布などを巻き、後方よりスプリングを押しながらランプ本体を外します。

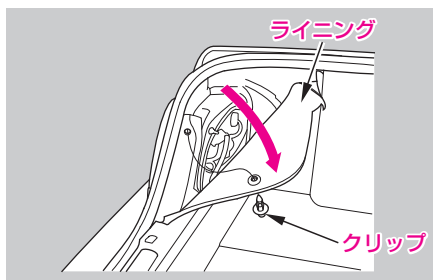
ソケットを左へ回して外し、電球を抜き取ります。



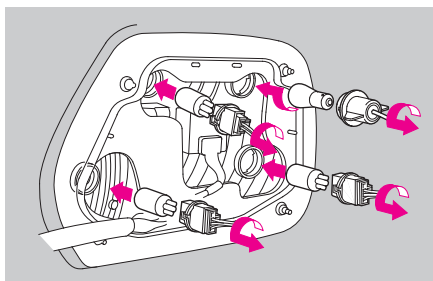


制動灯／尾灯、後面方向指示器／後面非常点滅表示灯、後退灯

- ① 交換する側のライニングからクリップ 1 個を引き抜き、ライニングをめくります。

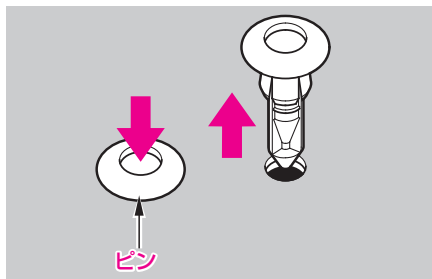


- ② ソケットを左へ回して外し、電球を抜き取ります。

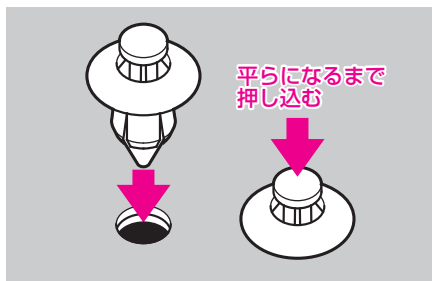


・クリップの脱着のしかた

クリップ中央部のピンを“カチッ”と音がするまで軽く(2 mm程度)押し込んでクリップを引き抜きます。

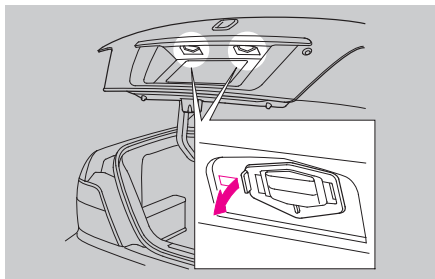


固定するときは、クリップ中央部のピンを押し戻して、取り付けたライニングに差し込み、ピンを平らになるまで押し込みます。

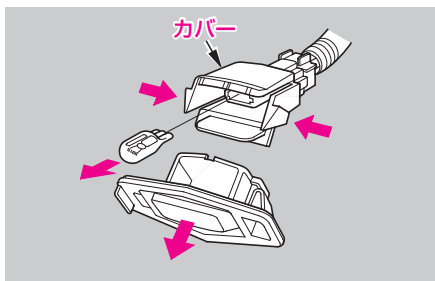


番号灯

①ランプ本体を外します。

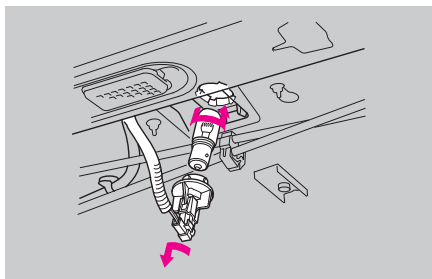


②カバーのツメを押しながらカバーを外し、電球を抜き取ります。



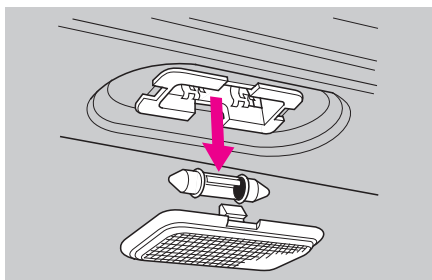
ハイマウントストップランプ

トランクを開け、内側からソケットを左へ回して外し、電球を押しながら左へ回して抜き取ります。



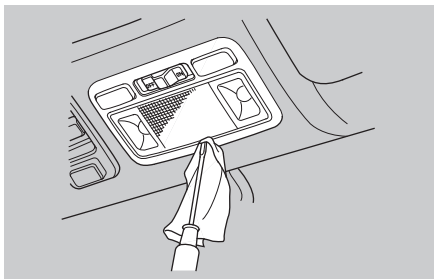
トランク照明灯

カバーを開け、電球を抜き取ります。

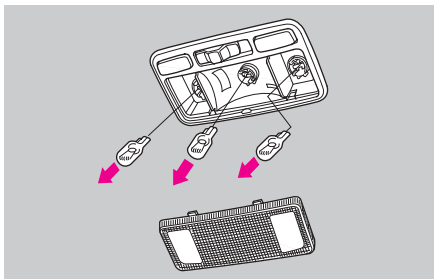


**前席室内灯／前席スポットランプ**

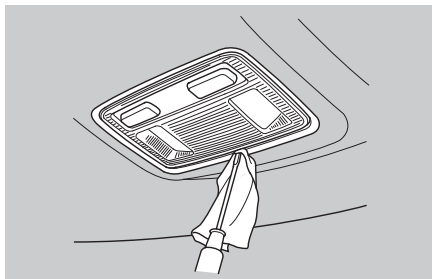
① レンズを外します。



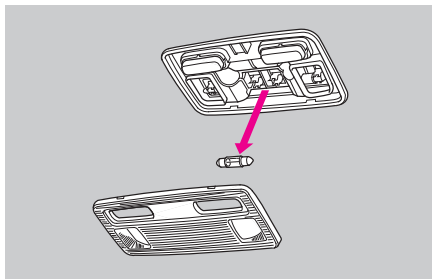
② 電球を抜き取ります。

**後席室内灯／後席スポットランプ**

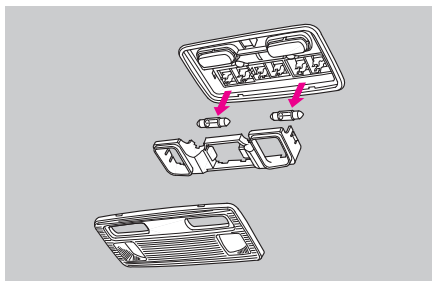
① レンズを外します。



② 電球を抜き取ります。

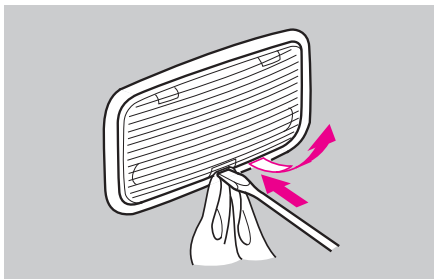


③ スポットランプは、内側のカバーを外し、電球を抜き取ります。

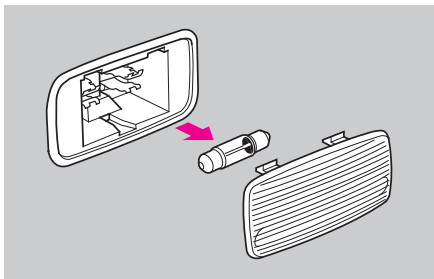


ドア開閉灯

①レンズを外します。

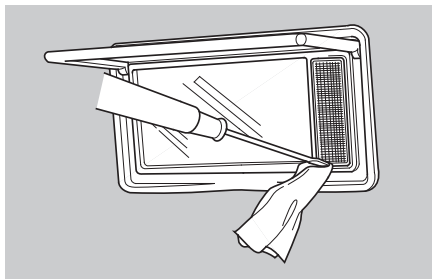


②電球を抜き取ります。

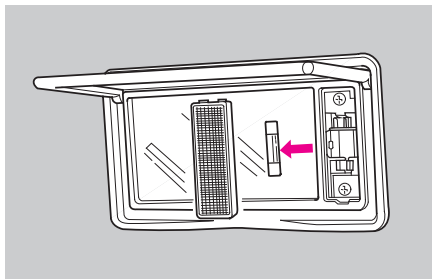


バニティミラー照明灯

①レンズを外します。



②電球を抜き取ります。





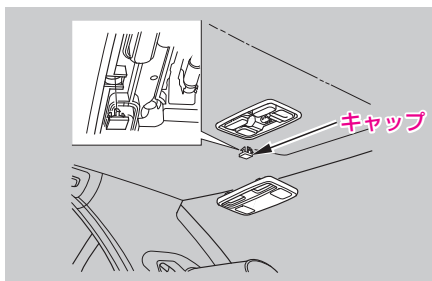
サンルーフが作動しないとき

サンルーフ装備車

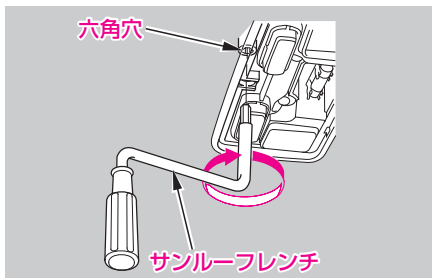
万一、電動でサンルーフが閉まらなくなった場合は、応急処置として工具トレイ内のサンルーフレンチを使って閉めてください。

工具 →215ページ

- ①後席室内灯のレンズを外し、四角のキャップを取り外します。



- ②六角穴にサンルーフレンチを差し込んで回します。



知 識

- サンルーフが閉まった後もレンチを回し続けるとサンルーフ後部が持ち上がりますので、そのときはレンチを反対方向に回して正しい位置まで戻してください。
- 応急処置後はホンダクリオ店で点検を受けてください。



車の手入れ

●点検・整備について ……252

●日常の手入れ

外装の手入れ ……256

内装の手入れ ……260

タイヤについて ……262

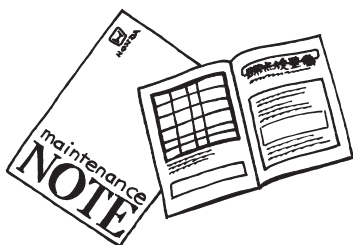
アルミホイールについて ……264

●車にあった部品の使用 ……266

点検・整備について

車は走行するにしたいが、また時間が経過するとともに部品の劣化や摩耗などが進んでいき、適切な点検整備を行わないと、安全・快適に乗っていただけなくなるばかりか大気汚染や騒音の増加などを引き起こすことがあります。

このようなことから点検整備が必要であり、ドライバー（運転者）は点検整備を実施することが法律でも義務づけられています。



詳しくは、別冊のメンテナンスノートに記載してありますので、よくお読みになり必ず点検整備を行ってください。

●点検整備の種類

日常点検

日常の車の使用状況に応じて、お客様の判断で適時行う点検で、お客様自身で実施が可能な項目となっています。

点検時期の目安としては長距離走行前や洗車時、給油時などに実施します。





法定定期点検

年間走行距離が10,000km程度の標準的な使用を前提に、12か月および24か月毎に実施する点検です。法律で定められているものと、Hondaが指定するものがあります。



その他

新車時の無料点検や定期交換、厳しい使われかたをしたときの点検整備があります。



日常の手入れ

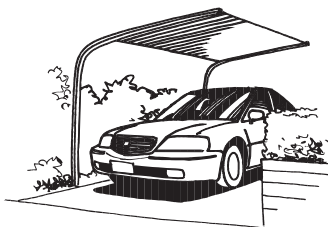
走行後は

- 塗装面に付着したほこりを毛ばたきなどではらい落としましょう。
- とび石などによる塗装面の傷は錆の原因となります。見つけたら早めに補修してください。



保管、駐車は

- 風通しのよい車庫や、屋根のある場所をおすすめします。





洗車を忘れずに

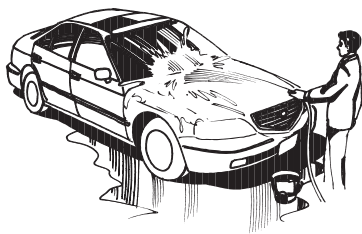
- 少なくとも月に一度は洗車しましょう。
- 次の場合は、必ず洗車してください。

- ・凍結防止剤を散布した道路を走行したとき、海岸地帯を走行したとき。

錆の原因となるので車体の下回り、フェンダーの内側を念入りに洗ってください。

- ・コールドタール、ばい煙、鳥のふん、虫、樹液などがついたとき。化学変化で塗装面にむらができるので、中性洗剤で洗ってから水で完全に流し、必要に応じてポリシングワックス(ワックス乳液)で磨いてください。

ポリシングワックスは、**Honda**純正ケミカル用品をお使いください。

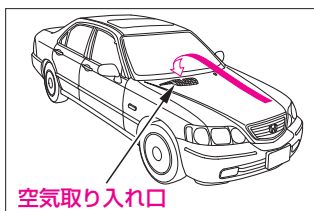


外装の手入れ

●洗車のしかた

- 十分に水をかけながら、下回り、足まわりの汚れを落とします。
- 塗装面は屋根から順に下のほうへ水をかけながら、スポンジかセーム皮のような柔らかいもので洗います。
- 汚れがひどいところは中性洗剤で洗い、さらに水で完全に洗い落とします。
- 水が乾かないうちに拭き取ります。

- ボンネットの裏のインシュレーターには、直接水をかけて洗わないでください。
- 故意に空気取り入れ口やエンジンルーム内の電気部品に水をかけないでください。故障のもとになります。



自動洗車機を使うとき

ドアミラーを格納して洗車してください。

- 自動洗車機を使うと、ブラシの傷がつき光沢が失われたり、劣化を早めることがあります。



コイン洗車機を使うとき

洗車ノズルと車体の距離を十分に離して洗車してください。

ウィンドーまわりは、特に注意して行ってください。近づけすぎると室内へ水が侵入することがあります。

●ワックスをかけるとき

月に一回程度または水をはじかなくなったときに行います。

洗車したあと、日陰が車体表面が体温以下になっているときにワックスをかけます。

- ワックスはHonda純正ケミカル用品をお使いください。



- みがき粉(コンパウンド)入りのワックスは使わないでください。
塗装面に細かい傷が残ることがあります。

●樹脂塗装部品

(バンパーなど)の手入れ

ガソリン、オイル、ラジエーター液、バッテリー液などが付着すると、しみの発生や塗膜がはがれる原因となります。

すみやかに柔らかい布で拭き取ってください。

- 樹脂塗装部品の傷の補修をする場合は、ホンダクリオ店にご相談ください。不適當な塗料を使うと塗膜を傷めます。

●ガラスの手入れ

ガラスの油膜を取るときは、ガラスクリーナーをお使いください。

- ・ガラスクリーナーは**Honda**純正ケミカル用品をお使いください。



はっ水ガラスについて

前席ウィンドー(ドアガラス)にははっ水膜がコーティングしてあり、水滴をはじきます。

知 識

- 水滴をはじく効果の持続時間には限りがありますが、できるだけ長持ちさせるために次のことをお守りください。
 - ・ 前席ウィンドーが汚れているときは、水洗いをするか柔らかい湿った布などでふき取ってください。
また、泥などの汚れがひどいときは、前席ウィンドーの開閉をなるべく行わないでください。
 - ・ みがき粉(コンパウンド)入りガラスクリーナーやワックス、洗剤等は使わないでください。
 - ・ 金属製の物で霜取りなどを行わないでください。
 - ・ 自動洗車機を使うときは、先に泥などの汚れを落してから行ってください。
- ガラスクリーナーを使うと一時的に水はじきが悪くなる場合がありますが、水洗いをすれば元に戻ります。
- 水はじきが悪くなったときは、補修できますのでホンダクリオ店にご相談ください。

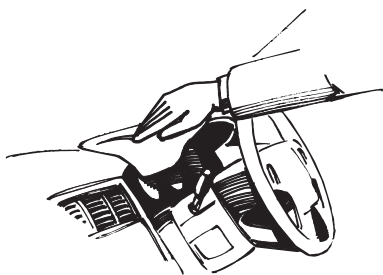
リヤガラスの清掃をするとき

リヤガラスの内側に電熱線やアンテナ線が装着されていますので、これに沿って柔らかい布で拭いてください。

内装の手入れ

- ①中性洗剤の水溶液を柔らかい布に軽く含ませて、汚れを落とします。
 - ・飲食物などをこぼしたときは、すぐに汚れを落としてください。
- ②真水を含ませた柔らかい布で、残った洗剤分をきれいに拭き取ります。
- ③直射日光を避け、風通しのよい日陰で乾燥させます。

- 室内に水をかけないでください。電気部品に水がかかると故障の原因となります。



●ケミカル類、 液体芳香剤について

ケミカル類、液体芳香剤はその成分によっては、樹脂部品、布材、本革の変色、しみ、ひび割れを起こすことがあります。

取り扱いには十分にご注意ください。

- ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤や酸、アルカリ性の溶剤は使わないでください。
また、ケミカル類には、これらの成分が含まれているおそれがあります。ご使用前に確認してください。
- ケミカル類を使用したあとは、必ず乾いた布で軽く拭き取ってください。
また、使用した布はそのまま樹脂部品、布材の上に長時間放置しないでください。
- 液体芳香剤はこぼさないように、容器を確実に固定してください。
芳香剤の使用にあたっては固形タイプのものをおすすめします。

**● 本革の取り扱い****注文装備**

- ① ウール用中性洗剤の5%水溶液を柔らかい布に軽く含ませて、汚れを落とします。
- ② 真水を含ませた柔らかい布で、残った洗剤分をきれいにふき取ります。
- ③ 直射日光を避け、風通しのよい日陰で乾燥させます。

知 識

- 本革部分に油污れなどが付くとカビなどの原因となるので、早めに落としてください。
- 本革部分を直射日光に長時間さらすと、変質、縮みの原因となります。駐車するときは、日よけに心がけてください。
- 夏期などは、ビニール類を本革部分の上に置かないでください。

室内が高温になっていると、ビニールが変質して本革部分に付着するおそれがあります。

● 助手席シート

乾燥していない状態で使用するとサイドエアバッグの乗員姿勢検知システムが正しく作動しないおそれがあります。

タイヤについて

タイヤの異常摩耗、亀裂、損傷および指定外の空気圧は、乗り心地、操縦性、タイヤの寿命を損ないます。また、摩耗したタイヤは雨天時の高速走行で通常よりもハイドロプレーニング現象を起こしやすくなります。

- 安全のため、こまめに点検を行ってください。

また、必ず指定サイズ、同一種類のタイヤをお使いください。

⚠ 警告

- 次のようなタイヤは使わないでください。

コントロールを失うことがあり、思わぬ事故につながります。

- 摩耗限度を超えたタイヤ
- 指定空気圧に調整されていないタイヤ

タイヤの空気圧

→288ページ

⚠ 注意

- タイヤの空気圧を調整するときは、規定圧力を守ってください。

空気を入れ過ぎると、タイヤが破裂しけがをするおそれがあります。

- VSA 装備車は、四輪とも同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤをお使いください。サイズ、種類、銘柄や摩耗度合の異なるタイヤを混用すると VSA が正常に機能しなくなることがあります。

摩耗限界表示 (ウェアインジケーター)

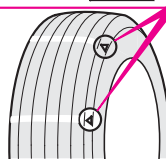
ウェアインジケーターが表れたらタイヤを交換してください。

- ウェアインジケーターは、タイヤの接地面にあり、他の部分より溝が1.6mmだけ浅くなっています。

ウェアインジケーターの位置を示すマークの代表例です



ウェアインジケーターが表われたとき(タイヤの溝がなくなったとき)は交換





●位置交換 (タイヤローテーション)

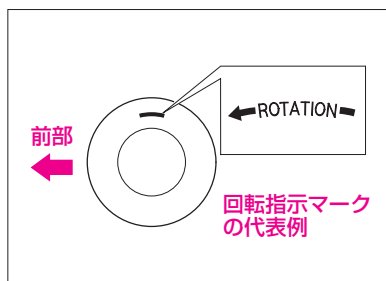
5,000kmごとにタイヤの位置を交換します。

- ・同じ位置で長く走ると偏摩耗し、タイヤの寿命を縮めるだけでなく走行性、制動力にまで悪影響を与えます。

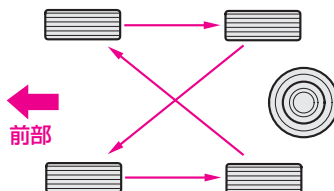
- 応急用スペアタイヤは、位置交換に使わないでください。

タイヤ回転指示マーク

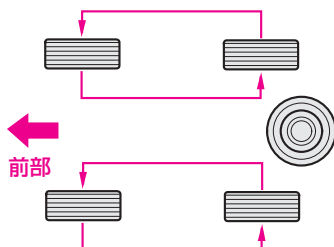
タイヤの性能上、回転方向が指定されているタイヤには、タイヤ側面に回転指示マークがあります。回転指示マークが前部へ向くように取り付けてください。



回転指示マークがないタイヤの場合



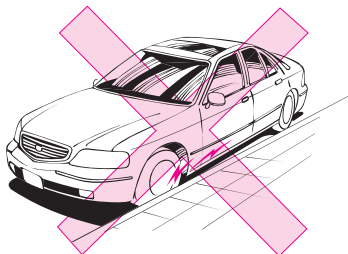
回転指示マークがあるタイヤの場合



アルミホイール について

アルミホイールは一般的なスチールホイールと取り扱いかたが異なります。

アルミホイールの特性を維持するため、必ず次のことをお守りください。



●取り扱い

- この車専用のホイールをお使いください。専用以外のホイールを使うと、走行装置やブレーキ装置に支障をきたすおそれがあります。ホイール交換に際しては、必ずホンダクリオ店にご相談ください。
- パンク修理などでホイールを取り付け直した際には、念のため1,000km走行時にホイールナットのゆるみの有無を点検してください。
- アルミホイールは傷つきやすいので歩道の縁石などに乗り上げたり、すり当てたりすることを避けてください。
- バランスウェイトやバルブはHonda純正のアルミホイール専用部品をお使いください。ホイールに傷をつけたり、機能を損なうことがあります。
- タイヤチェーンを装着するときは、正しく装着してください。ホイールに対して片寄ったり、ゆるかったりするとホイールに傷をつけるおそれがありますので注意して装着してください。



●手入れ

- アルミホイールは、塩分や汚れを嫌いますので、海水や道路凍結防止剤などが付いたときには、スポンジに中性洗剤を含ませ、汚れを早めに落としてください。
- ホイールの光沢を維持するため、時々ワックスがけをしてください。
- アルミホイールは傷つきやすいので、砂入り石鹼や硬いブラシを使わないでください。高速洗車機（ホイール専用ブラシ付きのもの）によるホイールの洗浄は避けてください。
- スチーム洗浄などで、熱湯がホイールに直接かからないようにしてください。
光沢を失うおそれがあります。

車にあった部品の使用

車の性能、品質を維持するために、Honda車に最も適したHonda純正部品をお使いください。

純正部品は厳しい検査を実施し、Honda車に適合するように作られています。お求め、装着に際しては、ホンダクリオ店にご相談ください。

- 純正部品には下のマークがついています。



HONDA
GENUINE PARTS

- **Honda**純正部品以外の車の性能や機能に適さない部品を使用しないでください。
適正な性能や機能を発揮しなかったり、思わぬ事故のもとになったりすることがあります。
- 車の改造はしないでください。
不正改造は、法律に触れることはもちろん思わぬ事故を起こす場合があります。

7

車との上手なつきあいかた

●積雪・寒冷時の取り扱い

運転するまえ	268
運転するとき	270
駐車するとき	274
冬期の手入れ	276

●こんなときは

雨の日の運転	278
夏場の取り扱い	280
経済走行のために	281

積雪・寒冷時の取り扱い

運転するまえ

●車に積もった雪や着氷は 取り除く

屋根に積もった雪

走行時にガラス面に落ちた雪が視界のさまたげとなり危険です。走行するまえに取り除いてください。

- ・氷結している部分を無理に取り除くと塗装などを傷めます。氷が溶けてから取り除いてください。



ガラス面の雪や霜

雪や霜を落として視界を確保してください。

- ・プラスチックの板などを使うとガラスに傷をつけずに落とすことができます。

知 識

- 前席ウィンドー（ドアガラス）には、はっ水膜がコーティングしてありますので、金属製の物で霜取りなどを行わないでください。

はっ水ガラスについて

→259ページ

- 通常格納位置のワイパーの上に雪が積もるとワイパーモーターの故障の原因になります。積雪が予想される場合はワイパーを積雪時の停止位置で止めておいてください。

ワイパーアームの停止位置

について →102ページ

足まわりの着氷

足まわりなどに氷塊が付着している場合は、部品を損傷しないように十分注意して取り除いてください。



●凍結しているとき

ドアの凍結

無理に開けるとドアまわりのゴムがはがれたりするので、お湯をかけて氷を溶かしてから開けてください。

- ・ドアキー穴部には、お湯をかけないでください。凍結すると、キーが差し込めなくなります。



お湯をかけたあとは、凍結防止のために水分をよく拭き取ってください。

ワイパーの凍結(ガラス面が着氷、積雪しているとき)

ワイパーブレード(ゴム部)を損傷したり、モーターの故障となりますので、氷や雪を取り除いてから動かしてください。

●乗車するとき

靴にこびりついた雪をよく落としてから、乗車してください。

- ・ペダル類を操作するときに滑ったり、室内の湿気が多くなりガラスが曇ったりすることがあります。



運転するまえに

ペダル類やハンドルの動きが円滑かどうか確認してください。

運転するとき

- 雪道や凍結路では、たいへん滑りやすくなっているので、速度を落とし車間距離を十分とって運転しましょう。
- また、ハンドルやブレーキの操作は特に慎重にしてください。
- ・ 急加速、急減速、急ブレーキや急ハンドルは横すべりを起こして方向性を失います。



- 冬用タイヤ、タイヤチェーンを装着して走行してください。

タイヤチェーンについて

→272ページ

- ・ 冬用タイヤを装着するときは、四輪とも同じ種類のものに交換してください。
 - ・ 地区条例により違いがありますので、その地区の条例に従ってください。
- 冬用タイヤを装着したときには、安全のため高速走行は避けてください。



●ブレーキのききについて

ブレーキ装置に付着した雪や水が凍結し、ブレーキのききが悪くなることがあります。

その際には、前後の車に十分注意して、ブレーキペダルを軽く踏みながら低速で走行し、ブレーキのしめりを乾かしてください。



- ブレーキのききが回復しないときは、ブレーキ系統に異常が考えられますので、ただちにホンダクリオ店で点検を受けてください。

●ウォッシャー液を噴射するとき

先にヒーターを使ってフロントガラスを暖めてからウォッシャー液を噴射します。

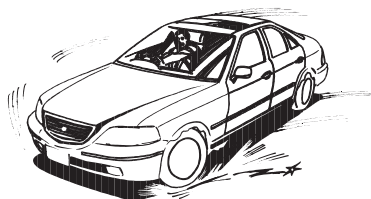
⚠ 注意

- 寒冷時はフロントガラスが暖まるまでウォッシャー液を噴射しないでください。ウォッシャー液が凍りついて視界のさまたげとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

●ハンドルのきれについて (タイヤまわりの着氷)

フェンダー裏側に付着した雪が氷結し、次第にたい積してハンドルのきれが悪くなる場合があります。

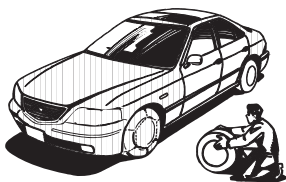
ときどき確認し、着氷が大きくなる前に取り除いてください。



●パンクしたとき (タイヤチェーン装着時)

前輪がパンクしたときは、応急用スペアタイヤを後輪に付け、外した後輪タイヤを前輪につけてタイヤチェーンを装着します。

- 応急用スペアタイヤには、タイヤチェーンは装着できません。



●タイヤチェーンについて

推奨タイヤチェーン

フェンダーやホイール表面を傷つけるおそれがありますので、Honda 純正スーパースリッパチェーンをお使いください。

お求めはホンダクリオ店へお申し付けください。

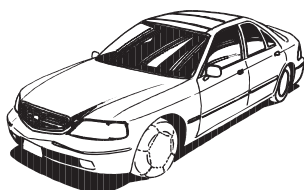
- タイヤチェーンはタイヤに合った適正なものをお使いください。

推奨タイヤチェーン以外のものを使うと、ブレーキ配管やフェンダーなどを破損するおそれがあります。



標準的なタイヤチェーンの 取り付け方

タイヤチェーンは、駆動輪の前輪に装着してください。

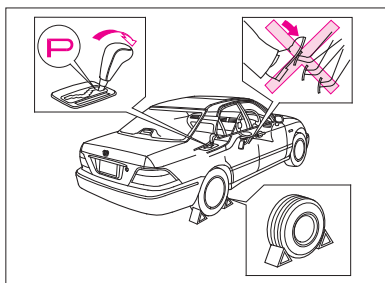


- タイヤチェーンに付属の取扱説明書にしたがって、正しく取り付けてください。
- タイヤチェーンは平らな所で他の交通に十分注意して取り付けてください。
必要に応じて非常点滅表示灯などを使ってください。
- 応急用スペアタイヤには、タイヤチェーンは装着できません。
チェーン装着時に前輪がパンクしたときは、応急用スペアタイヤを後輪に装着し、外した後輪タイヤを前輪に取り付け、これに標準タイヤ用のタイヤチェーンを装着してください。
- タイヤチェーンを取り付けたときには、安全のため雪道、凍結路では30km/h以下の速度で運転してください。
なお乾燥路面ではタイヤチェーンを装着したままで走行するのは避けてください。チェーンの摩耗を早めます。

駐車するとき

パーキングブレーキの凍結を防ぐために、パーキングブレーキは使わないでください。

セレクトレバーをPに入れます。
石などで輪止めをしておきます。



●屋外に駐車するとき

- エンジンの冷えすぎを防ぐために、車の前部を風下や日の当たる方向に向けて停めてください。
 - ・エンジンが冷えすぎると始動しにくくなることがあります。
- 落雪や積雪を避けるために、軒下や樹木の下などには停めないでください。
 - ・車の屋根などがへこむことがあります。
- ワイパーアームは浮かせてください。
 - ・雪の重みでアームの取り付け部がこわれることがあります。

ワイパーアーム停止位置の
切り換え →103ページ



●長期間使わないで 屋外におくとき

塗装面の保護とドアまわりの凍結を防ぐために、ボディカバーを使ってください。

⚠注意

- 格納するとき、エンジン部を毛布で覆ったり、ラジエーターのまわりに段ボールや新聞紙をはさみ込んだりしないでください。

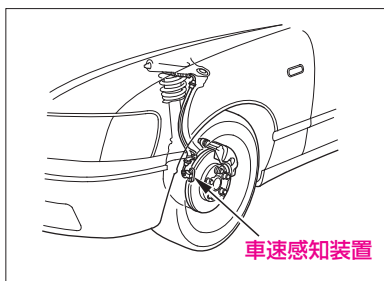
そのまま走行すると、火災のおそれがあります。



冬期の手入れ

●雪道走行後の手入れ

- フェンダー裏側や足まわりに付着した泥、雪は周囲の部品を損傷しないように取り除いてください。足まわり(前、後輪の4か所)に車速感知装置が取り付けられていますので、傷をつけないように特に注意してください。



- 積雪時には道路に凍結防止剤がまかれていることがあります。錆の原因になりますので、走行後はすぐに洗車してください。特に下回りは念入りに行ってください。

●点検・整備

バッテリーについて

気温が下がるとバッテリーの性能が低下し、エンジン始動に支障をきたすことがありますので、液量、比重の確認をし、必要に応じて液の補給や充電をしてください。

エンジンオイルについて

冬期はオイルの劣化が激しくなります。冬期に主として短距離、または市街地を運転される方は、早めに交換してください。



冷却水について

冷却水の凍結を防ぐために点検してください。

ウォッシャー液について

ウォッシャー液の凍結を防ぐために、ウォッシャー液の濃度を上げてください。

- 点検方法はメンテナンスノートを参照し、交換はホンダクリオ店にご相談ください。

こんなときは

雨の日の運転

雨の日は視界が悪くなるうえ、窓ガラスが曇ったり、路面が滑りやすくなるなど悪条件が重なるので通常より注意深い運転が必要です。

- ・急加速、急ブレーキや急ハンドルを避け、晴れの日よりも速度を落とし、車間距離を十分にとって運転しましょう。
- ・ハイドロプレーニング現象に注意しましょう。
- ・雨の降り始めの舗装道路は滑りやすいので特に気を付けましょう。
- ・冠水路などの深い水たまりは走行しないでください。

エンジンの破損や電装品の故障および車両故障につながるおそれがあります。

⚠ 警告

- 滑りやすい路面では、急加速、急ブレーキや急ハンドルは避けてください。
車のコントロールを失い思わぬ事故につながります。

ハイドロプレーニング現象とは

路面が水でおおわれているところを高速で走行しようとしたときに、タイヤと路面の間に水の膜ができ、タイヤが浮いた状態になることをいいます。

- ・このような状態になると、ハンドルやブレーキがきかなくなり、非常に危険です。



● ガラスの曇りをとりたいとき

ガラスが曇って外が見にくいときは、エアコンのデフロスターを使って曇りをとります。

リヤガラスの曇りは

リヤデフロスタースイッチを押して、曇りをとります。

● ガラスの油膜をとりたいとき

油膜があると、雨の夜は対向車のライトなどが乱反射します。ガラスクリーナーを使ってガラスの表面をきれいにします。

- ・ ガラスクリーナーはHonda純正ケミカル用品をお使いください。

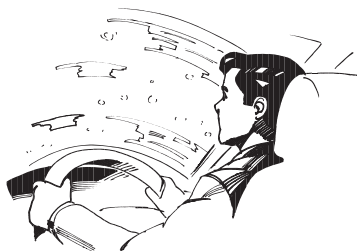
知 識

- 前席ウィンドー（ドアガラス）には水膜がコーティングしており、水滴をはじきます。
はっ水ガラスについて

→259ページ

● ワイパーのふきむらがあるとき

ワイパーブレードのラバーが傷んでいると、ふきむらが出て視界のさまたげとなります。また、ガラス面を傷つけることがありますので、早めに交換してください。

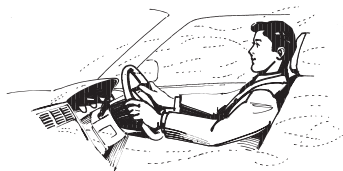


夏の 取り扱い

●エアコンの上手な使いかた

- ・冷媒(ガス)が不足していると、冷房性能が低下します。
夏になる前に点検、補充をしておきましょう。
- ・室内温度が高いときは、窓を開けて熱気を逃がしてからエアコンをかけましょう。
- ・エアコンの冷やしすぎは健康上良くありません。

●この車の冷媒は、環境保護のため、新冷媒HFC-134a (R-134a)を使用しています。
補充・交換が必要な場合は、ホンダクリオ店にご相談ください。



●炎天下に駐車するときは

- ・ボディーに覆いをかけたり、ハンドルやシートにタオルなどをかけて、室内温度の上昇を抑えましょう。
- ・フロントガラスにアルミ光沢性の日除けバイザーを使うと、反射光が集光し、インストルメントパネルなどが変色、変形することがあります。

●海から帰ってきたときは

海に出かけた後は車も塩分を浴びています。錆の原因になりますので早めに洗車してください。下回りも念入りに洗いましょう。

●オーバーヒートを防ぐために

冷却水の量が不足しないように、こまめに点検します。

- ・走行中、水温計の針が“H”の目盛に入った場合は、オーバーヒートのおそれがあります。安全な場所に停車してエンジンを冷やしてください。

オーバーヒートしたとき

→232ページ



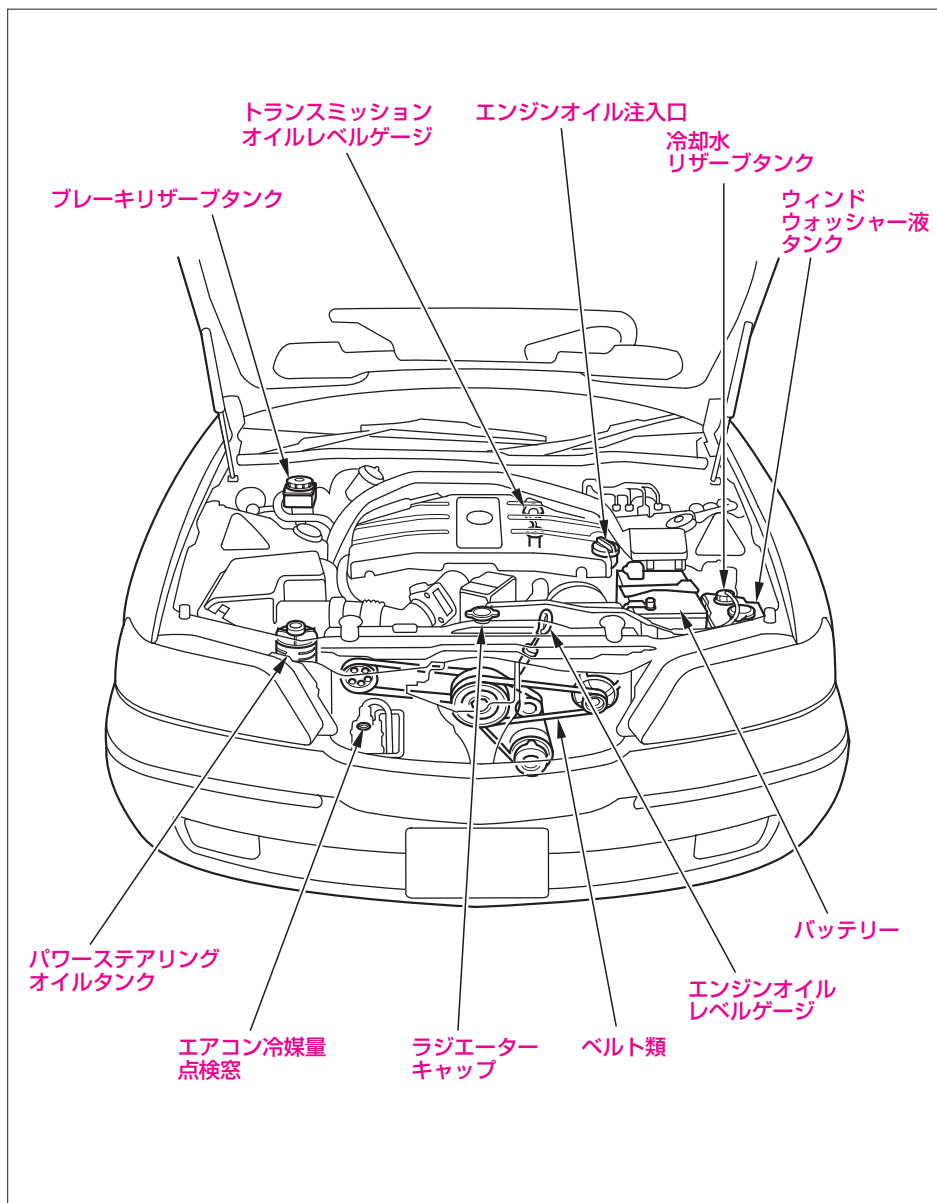
経済走行の ために

- 不必要な急加速、急減速などアクセルペダルをバタつかせるような運転をしないでください。
- 変速位置の選択は、走行速度に応じて適切に行ってください。
- 点検整備をきちんとし、タイヤの空気圧を適正にしましょう。



- 長すぎる暖機運転をしないようにしましょう。
- 駐車時にはエンジンを止めましょう。
- 高速道路でも不必要な高速走行は避けましょう。
- 車間距離は十分にとり、不必要なブレーキをかけないようにしましょう。
- トランクルームには不必要な荷物は載せないようにしましょう。

サービスデータ



点検整備については「メンテナンスノート」も合わせてご覧ください。

項 目		サ ー ビ ス デ ー タ	
点 火 プ ラ グ ※	タ イ プ	NGK	PFR5G-11
		DENSO	PK16PR-L11
	電 極 の す き 間 (限度値)	1.0－1.1 mm (1.3 mm)	

※：ISO(国際標準化機構)規格品の突出しタイプを使用しています。、のマークがついています。

白金プラグを使用していますので、次のことに注意してください。

- ・白金チップの微粒子膜を損傷するおそれがあるので、ワイヤーブラシ等による清掃は行わないでください。
- ・プラグギャップは調整できません。限度値をこえているものは交換してください。
(清掃はクリーナーにて20秒以下で行ってください。)

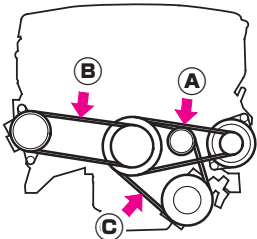
エアクリーンフィルターの交換

エアコンには、空気中のちり・ほこり・粉じん等を集じんするエアクリーンフィルターが取り付けられています。

エアクリーンフィルターの交換は、通常1年または15,000kmごとに、ホンダクリオ店で行ってください。

ただし、使用条件により異なりますので粉じんの多い場所などでは、早めの交換をおすすめします。

- ・エアコンの風量が著しく減少したり、ガラスが曇りやすくなったときなどは、フィルターの目詰まりが考えられます。
ホンダクリオ店で点検を受けてください。

項 目		サ ー ビ ス デ ー タ	
ベルトのたわみ量			↓ の位置を押す
	発 電 機 ベ ル ト	ナビゲーションシステム非装備車	9.5－11.5 mm {約98N(10kgf)の力}
		LUXMANオーディオシステム非装備車	
		ナビゲーションシステム装備車	9.0－11.0 mm {約98N(10kgf)の力}
		LUXMANオーディオシステム装備車	
	パワーステアリングベルト	10.5－12.5 mm {約98N(10kgf)の力}	
	エアコンディショナーベルト	8.0－11.0 mm {約98N(10kgf)の力}	
ブレーキペダル	遊 び	1－5 mm	
	床板とのすき間	124 mm以上 {約196N(20kgf)の力}	
	カーペットとのすき間 (参考値)	105 mm以上 {約196N(20kgf)の力}	
パーキングブレーキ	踏 み し ろ	6－8回 {約196N(20kgf)の力}	

項 目		サ ー ビ ス デ ー タ
バ ッ テ リ ー	容 量 / タ イ プ	55AH(5)/80D26R
電 球 (バ ル ブ)	W (ワット) / CP (キャンドルパワー)数 [CP(キャンドル パワー) :光度の単位]	ヘッドライト(外側)..... 12V-35W ^{※1}
		(内側)..... 12V-55W ^{※2}
		フォグライト..... 12V-55W ^{※2}
		前面方向指示器/前面非常点滅表示灯・・ 12V-21W
		車幅灯..... 12V-5W
		コーナリングライト..... 12V-45CP (27W)
		側面方向指示器/側面非常点滅表示灯・・ 12V-5W
		後面方向指示器/後面非常点滅表示灯・・ 12V-21W
		番号灯..... 12V-3CP (5W)
		制動灯/尾灯..... 12V-21/5W
		ハイマウントストップランプ..... 12V-45CP (27W)
		後退灯..... 12V-21W
		前席室内灯/前席スポットランプ・・ 12V-5W
		後席室内灯/後席スポットランプ・・ 12V-5W
		ドア開閉灯..... 12V-3.4W
		トランク照明灯..... 12V-3.4W
		バニティミラー照明灯..... 12V-2W

※1：ディスチャージヘッドライト

※2：ハロゲンバルブ

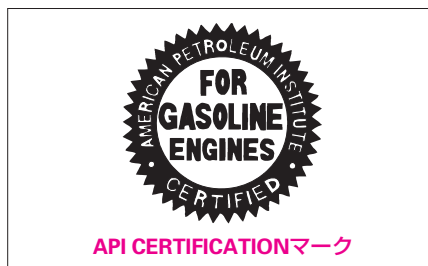
⚠ 注意

- ディスチャージヘッドライトのバルブを交換する場合は、必ずホンダクリオ店で行ってください。
ディスチャージヘッドライトは高電圧を使用しており、不適切な取り扱いや分解を行うと感電するおそれがあります。

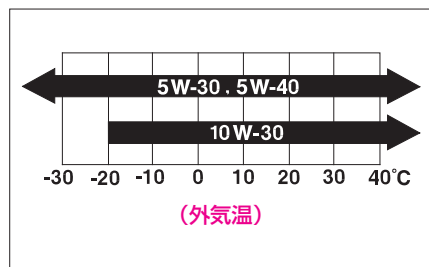
項 目		サ ー ビ ス デ ー タ	
エ ン ジ ン オ イ ル	推 奨 オ イ ル	Honda純正オイル(4サイクル四輪車用) ウルトラLTD SL(API SL/GF-3級SAE 5W-30) ウルトラGOLD SL(API SL級SAE 5W-40) ウルトラMILD SL(API SL/GF-3級SAE 10W-30)	
	規 定 量	オイル交換時	4.3 ℓ
		オイル、オイルフィルター 同時交換時	4.6 ℓ

推奨エンジンオイル

Honda純正エンジンオイルまたはAPI S J 級以上か、オイル缶にAPI CERTIFICATION(エーピーアイ サーティフィケーション)マークの入ったエンジンオイルをお使いください。



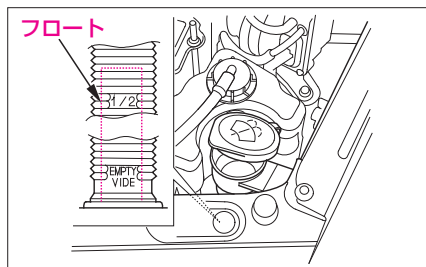
市販のエンジンオイルは、外気温に応じた粘度のものを下表にもとづきお使いください。



項 目		サ ー ビ ス デ ー タ
燃 料	指 定 燃 料	無鉛プレミアムガソリン(無鉛ハイオク)
	タ ン ク 容 量	68 ℓ
トランスミッション オ イ ル	指 定 液	Honda純正ウルトラATF-Z1
	規 定 量 (交換時)	3.0 ℓ
デファレンシャル オ イ ル	推 奨 オ イ ル	ハイポイドギヤオイル(API GL4またはGL5相当、SAE90)
	規 定 量 (交換時)	1.05 ℓ
冷 却 水	指 定 液	Honda純正ウルトラクーラント液
	規 定 濃 度	50%
	規 定 量 (交換時リザーブ タンク0.65ℓ含む)	6.1 ℓ
ブ レ ー キ 液	指 定 液	Honda純正ウルトラブレーキフルードDOT 3 またはDOT 4
パワーステアリング液	指 定 液	Honda純正ウルトラパワーステアリングフルード-Vまたは-II
ウォッシャー液	タ ン ク 容 量	2.5 ℓ
エアクリーナー エ レ メ ン ト	タ イ プ	乾式

ウォッシャー液の量の点検

ウォッシャー液の量は、注入口の中
のフロートの高さにより確認します。



Exclusive

項 目		タイヤ空気圧 kPa (kgf/cm ²)		リムサイズ [※]	
		前輪	後輪	スチールホイール	アルミホイール
タイヤサイズ					
標準タイヤ	205/65R15 94H	200 (2.0)		15×6½JJ	
	215/60R16 95H	200 (2.0)			16×6½JJ
	215/55R16 91V	220 (2.2)			16×6½JJ
応急用スペアタイヤ	T135/90D15 100M	420 (4.2)		15×4T	

Euro、Euro Exclusive

項 目 タイヤサイズ		タイヤ空気圧 kPa (kgf/cm ²)		リムサイズ [※]	
		前輪	後輪	スチールホイール	アルミホイール
標準タイヤ	215/60R16 95H	200 (2.0)		16×7JJ	16×7JJ
	215/55R16 91V	220 (2.2)		16×7JJ	16×7JJ
応急用スペアタイヤ	T135/80D16 101M	420 (4.2)		16×4T	

タイヤの溝の深さ	1.6 mm 以上
位置交換時期(タイヤローテーション)	5,000 km ごと

※：この車専用のホイールをお使いください。

専用以外のホイールを使うと、走行装置やブレーキ装置に支障をきたすおそれがあります。
ホイール交換に際しては、必ずホンダクリオ店にご相談ください。

名称	排気量 (cm ³)	車体形状	乗車定員 (人)	タイプ
レジェンド	3,473	4 ドア ノッチバック	5	Euro
				Euro Exclusive
				Exclusive

さくいん

ア

アームレスト	208
アクセサリーソケット	212
雨の日の運転	278
アルミホイール	264
アンチロックブレーキシステム(ABS)	
運転のしかた	148
ABSのしくみ	148
警告灯	92・149
取り扱いについて	149
アンテナ	176

イ

イグニッション(エンジン)	
キー	32
スイッチ	94
イモビライザー	
システム	34
表示灯	85
イルミネーションコントロール	105

ウ

ウィンカー	
スイッチ	98
電球の交換	243・244・245
表示灯	84
W(ワット)数	285
ウィンドー	48
ウォッシュ液	
スイッチ	102
タンクの容量	287
冬期の手入れ	277
補給	287
運転のしかた	106

エ

エアクリーナーエレメント	287
エアクリーンフィルター	158
エアコン	156
インデックス	159
使いかた	160・166
吹き出し風の調節	157
ベルト	284
AM/FMラジオ一体式カセットステレオ	178・187
SRSエアバッグシステム	
SRSエアバッグシステムのしくみ	128
お子さまを乗せるときは	133
警告灯	91・135
作動しないとき	131
作動するとき	130
取り扱いについて	134
エンジンオイル・フィルター	
オイル量	286
冬期の手入れ	276
エンジンキー(キー)	32
エンジンスイッチ	94
照明灯	202
エンジンのかけかた	106
エンジンブレーキ	18
エンジンルーム	282

オ

応急用スペアタイヤ	
格納場所	214
空気圧	288
サイズ	288
スペアタイヤについて	226
オーディオ	174
インデックス	177
上手な使いかた	174
リモートコントロールスイッチ	196
オートマチックトランスミッション	
運転のしかた	114
オイル	287
セレクトレバー	110
オーバーヒートしたとき	232
オドメーター	79
オートライトコントロール警告灯	91
温度感知装置	165・171

カ

外装の手入れ	256
学童用(ジュニア)シート	15・71
カセットプレーヤーの使いかた	182・191
カップホルダー	210
ガラスの手入れ	258
換気	13
寒冷時の取り扱い	268

キ

キー	32
キー抜き忘れ警告ブザー	95
キーレスエントリー	39
キーレストランクオープナー	44
キックダウン	20

ク

曇り取り(デフロスター)	164・170
クリープ現象	20
クルーズコントロール	123
作動表示灯	85
車にあった部品の使用	266
グローブボックス	208

ケ

警告灯	
警告灯類	86
電球切れの点検	93
経済走行	281
ケミカル類	260
けん引	
けん引されるとき	220
故障車をけん引するとき	223

コ

コインボックス	210
工具(ツール)	
格納場所	214
種類	215
高速道路で故障したとき	216
コーナリングライト	98
電球の交換	243
W(ワット)数	285
後退灯(バックランプ)	
電球の交換	245
W(ワット)数	285
故障したとき	216
故障の修理について	217
小物入れ	208
コンソールボックス	209

サ

サービスデータ	282
サイドエアバッグシステム	
警告灯	145
サイドエアバッグシステム	
自動停止表示灯	85
サイドエアバッグシステムのしくみ	136
作動しないとき	139
作動するとき	138
乗員姿勢検知システム	142
取り扱いについて	144
三点式シートベルト	69
サングラスホルダー	207
サンバイザー	207
サンルーフ	
作動しないとき	249
サンシェード(遮光板)	50
操作	50

シ

シート	52
シートヒーター	172
シートベルト	66
警告灯	90
種類	68
ショルダーアンカー	73
チャイルドシート固定機構	74
着用のしかた	72
シートベルトプリテンショナー	
シートベルトプリテンショナーの	
しくみ	146
取り扱いについて	147
CDチェンジャー	197
CDチェンジャーコントローラーの	
使いかた	184・193
シガレットライター	205
事故が起きたとき	218
室内照明	202
室内灯(ルームランプ)	
使いかた	203
電球の交換	247
W(ワット)数	285
シフトロック装置	23・117・154
霜取り・曇り止め	
前面・側面ガラス	164・170
ジャッキの取り扱い	224
車幅灯(ポジションランプ)	
電球の交換	244
W(ワット)数	285
車両挙動安定化制御システム(VSA)	
運転のしかた	151
警告灯	153
作動表示灯	85
取り扱いについて	152
VSAのしくみ	150
充電警告灯	89
樹脂塗装部品	258
ジュニア(学童用)シート	15・71
純正部品	266

ス

水温計	79
スイッチの使いかた	94
スノータイヤ(冬用タイヤ)	270
スパークプラグ(点火プラグ)	283
スピードメーター	79
スペアタイヤ	
格納場所	214
空気圧	288
サイズ	288
スペアタイヤについて	226
スポットランプ	
使いかた	203
電球の交換	247

セ

セキュリティシステム	
警報装置について	200
セットのしかた	201
セーフティインジケーター	93
制動灯(ブレーキランプ)	
電球の交換	245
W(ワット)数	285
整備	252
積雪・寒冷時の取り扱い	
運転するとき	270
運転するまえ	268
駐車するとき	274
冬期の手入れ	276
セレクトレバー	
操作	110
ポジション表示灯	84
洗車	256
前照灯(ヘッドライト)	
上向きと下向きの切り換え	97
上向き表示灯	84
追越合図(バッシング)	97
スイッチ	96
W(ワット)数	285
前席シート	54

ソ

速度計	79
速度範囲	112
その他の安全装備	154

タ

タイヤ

位置交換(ローテーション)	263
ウェアインジケーター	262
応急用スペアタイヤ	226
空気圧	288
交換	227
サイズ	288
スノータイヤ	270
チェーン	272
点検	262
タコメーター	79
正しい運転姿勢	52

チ

チェーン	272
チャイルド(幼児用)シート	15・71
チャイルドシート固定機構	
付きシートベルト	74
チャイルドブルーフ	41
駐車	
坂道	25
積雪・寒冷時の取り扱い	274
駐車ブレーキ(パーキングブレーキ)	
警告灯	88
積雪・寒冷時の取り扱い	274
操作	108
チルトステアリング	58

テ

デフレンシャルオイル	287
デフロスター	164・170
テレスコピックステアリング	58
点火プラグ	283
電気系統が異常のとき	234
電気装置が作動しないとき	237
電球(バルブ)	
交換	239
W(ワット)数	285
点検・整備について	252
電動リモコンドアミラー	64
テンションリデューサー	69

ト

ドア

開閉警告灯	93
施錠・解錠	36
積雪・寒冷時の取り扱い	269
ドア開閉灯(カーテシーランプ)	
電球の交換	248
ドアミラー	64
冬期の手入れ	276
道路で動けなくなったとき	217
時計	204
塗装の手入れ	257
ドライビングポジションシステム	60
トランク	
開閉	44
開閉警告灯	93
トランク照明灯	
電球の交換	246
W(ワット)数	285
トランスミッション	
オイルの容量	287
警告灯	90
トリップメーター	80

ナ

内装の手入れ	260
夏場の取り扱い	280

ニ

日常の手入れ	254
荷物フック	212
乳児用(ベビー)シート	15・71

ヌ

燃料(ガソリン)	
指定燃料	46・287
タンク容量	46・287
燃料計	79
燃料残量警告灯	90
補給口	46

ハ

パーキングブレーキ	
警告灯	88
積雪・寒冷時の取り扱い	274
操作	108
灰皿	206
ハイドロプレーニング現象	278
ハイビーム表示灯	84
ハイマウントストップランプ	
電球の交換	246
W(ワット)数	285
ハザードランプ(非常点滅表示灯)	
スイッチ	99
電球の交換	243・244・245
W(ワット)数	285
発炎筒	
格納場所	214
発炎筒について	215
はっ水ガラスについて	259
バックミラー(後写鏡)	
使いかた	62
バッテリー	
充電	235
冬期の手入れ	276
バッテリーあがり	234
容量/タイプ	285
発電機ベルト	284
バニティミラー(化粧鏡)	207
バニティミラー照明	
電球の交換	248
ハロゲンバルブについて	240
パワーウィンドー	48
パワードアロック	
(車速連動オートドアロック)	37
パンク	
積雪・寒冷時の取り扱い	272
パンクしたとき	224
番号灯(ライセンスランプ)	
電球の交換	246
W(ワット)数	285

ヒ

ビークルスタビリティアシスト(VSA)	
運転のしかた	151
警告灯	92・153
作動表示灯	85
取り扱いについて	152
VSAのしくみ	150
PGM-FI警告灯	89
非常点滅表示灯(ハザードランプ)	
スイッチ	99
電球の交換	243・244・245
W(ワット)数	285
尾灯	
電球の交換	245
W(ワット)数	285
ヒューズ	237
表示灯	82

フ

吹き出し風の調節	157
フォグライト	
スイッチ	98
電球の交換	242
W(ワット)数	285
踏切で動けなくなったとき	216
フューエルリッド	47
ブラグ	283
ブレーキ	
警告灯	88
積雪・寒冷時の取り扱い	274
倍力装置	18
ペダル	284
フロントシート	54

ヘ

ヘッドライト	
上向きと下向きの切り換え	97
上向き表示灯	84
追越合図(パッシング)	97
スイッチ	96
電球の交換	241
ロービームについて	240
W(ワット)数	285
ヘッドレスト	56
ベビー(乳児用)シート	15・71
ベルトのたわみ量	284

ホ

ホーンスイッチ	105
ホイールサイズ	288
芳香剤	260
方向指示器(ウィンカー)	
スイッチ	98
電球の交換	243・244・245
表示灯	84
W(ワット)数	285

マ

窓ガラスアンテナ 176
万一のとき 213

ミ

ミラー
 ドアミラー 64
 ルームミラー 62

ム

無線装置 27

メ

メーター(計器類) 78

ユ

油圧警告灯 88
雪道走行後の手入れ 276

ヨ

幼児用(チャイルド)シート 15・71

ラ

ライト消し忘れ警告ブザー	97
ライトスイッチ	96
ライト点灯表示灯	84
ライト類が点灯しないとき	237
ラジオの使いかた	180・189
ランバーサポート	55

リ

リムサイズ	288
リヤシート	56
リヤデフロスター	104

ル

ルームミラー(防眩式室内後写鏡)	62
------------------	----

レ

冷却水(ラジエーター液)	
水量	287
冬期の手入れ	277

ワ

ワイパー	
アームの停止位置	102
アームの停止位置切り換え	103
スイッチ	101
積雪・寒冷時の取り扱い	269
ワックスがけ	257

A	I
ABS(アンチロックブレーキシステム)	INT(間欠ワイパー) 101
運転のしかた 148	
ABSのしくみ 148	P
警告灯 92・149	PGM-FI警告灯 89
取り扱いについて 149	PRESS(シートベルトバックル) 72
A/C(エアコン)	
使いかた 160・166	
吹き出し風の調節 157	
ベルト 284	
AM/FMラジオ体式	
カセットステレオ 178・187	
AT(オートマチックトランスミッション)	
運転のしかた 114	
オイル 287	
セレクトレバー 110	
E	
ELR付三点式シートベルト 68	
ELR・ALR付三点式シートベルト 68	
H	
HFC-134a(エアコン冷媒) 280	

S

SRSエアバッグシステム

- SRSエアバッグシステムのしくみ 128
- お子さまを乗せるときは 133
- 警告灯 91・135
- 作動しないとき 131
- 作動するとき 130
- 取り扱いについて 134

T

- TRIP(トリップメーター) 80

V

VSA(ビークルスタビリティアシスト)

- 運転のしかた 151
- 警告灯 92・153
- 作動表示灯 85
- 取り扱いについて 152
- VSAのしくみ 150

W

- W数(ライト類の電球のワット数) 285



お問い合わせ、ご相談は、お買い求めのクリオ店もしくは全国共通のフリーダイヤルで下記のお客様相談センターがお受け致します。

フリーダイヤル

0120-112010

本田技研工業株式会社 お客様相談センター

受付時間 9:00～12:00 13:00～17:00

〒107-8556 東京都港区南青山2-1-1

・所在地、電話番号が変更になることがありますのでご了承ください。

こんなことでお困りのとき

●キーが回せない

“0”から“1”に回らないとき

- ・ハンドルを左右に動かしながらキーを回してください。

エンジンスイッチ →94ページ

“1”から“0”に回らないとき

- ・セレクトレバーがPに入っていますか。

キーを抜くとき →94ページ

●エンジンがかからない

- ・セレクトレバーがPかNに入っていますか。
- ・ガソリンが入っていますか。(メーター内の燃料計で確認してください。)
- ・バッテリーがあがっていませんか。

バッテリーあがりのとき →234ページ

●セレクトレバーがPから動かせない

- ・ブレーキペダルを踏んでから操作していますか。
(操作できないときは、キーをシフトロック解除穴に差し込み、押しながらセレクトレバーを動かしてください。)

セレクトレバーが動かないとき →117ページ

- ・エンジンスイッチを“II”にしてから操作していますか。

シフトロック装置の正しい理解を →23ページ

●ドアを開けるとブザーが鳴る

- ・キーをエンジンスイッチに差し込んだままになっていませんか。

キー抜き忘れ警告ブザー →95ページ

- ・ライトを消し忘れたままになっていませんか。

ライト消し忘れ警告ブザー →97ページ

●キーを閉じ込めてしまった

- ・Honda販売店またはJAFへご連絡ください。

●水温計の針が“H”の目盛に入った

●エンジンルームから蒸気が立ちのぼっている

- ・オーバーヒートのおそれがあります。
(安全な場所に停車して、エンジンを冷やしてください。)

オーバーヒートしたとき →232ページ

●走行中にブレーキを踏むと金属的な摩擦音がある

- ・ブレーキパッドが摩耗して使用限界になっているおそれがあります。
(ホンダクリオ店で点検を行ってください。)